

木場潟公園東園地体験施設建設工事(建築)

番号	図面名	番号	図面名
A-00	表紙・図面リスト	S-01	構造特記仕様書
A-01	建築工事仕様書 その1	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [1]
A-02	建築工事仕様書 その2	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [2]
A-03	建築工事仕様書 その3	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [3]
A-04	建築工事仕様書 その4	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [4]
A-05	建築工事仕様書 その5	S-06	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [5]
A-06	建築工事仕様書 その6	S-07	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 [6]
A-07	建築工事仕様書 その7	S-08	鉄骨構造標準図 [1]
A-08	全体 配置図	S-09	鉄骨構造標準図 [2]
A-09	配置図・指定仮設図	S-10	鉄骨構造標準図 [3]
A-10	仕上表、面積求積図	S-11	基礎伏図
A-11	平面図	S-12	基礎・地中梁リスト
A-12	立面図、断面図	S-13	ソイルメントコラム地業特記仕様書
A-13	矩計図 1	S-14	梁伏図・部材リスト
A-14	矩計図 2	S-15	軸組図
A-15	平面詳細図	S-16	架構図 1
A-16	展開図 1	S-17	架構図 2
A-17	展開図 2	S-18	柱脚仕様書 1
A-18	展開図 3	S-19	デッキ合成スラブ設計・施工標準
A-19	天井伏図		
A-20	建具図		
A-21	家具・サイン図		
A-22	各部詳細図		
A-23	法規チェック図		

質疑のある者は、
指定日時までに営繕課へ提出する事。
現場説明 ナシ

監 修					
石川県土木部営繕課					
課 長	担当課長	課参事	課長補佐	G	L 担 当

26	排出ガス対策型建設機械 <input checked="" type="checkbox"/>	次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。 1) バックホウ 2) トラクターショベル 3) 発動発電機 4) 空気圧縮機 5) ローラ類 6) ホイールクレーン						
27	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時まで(に所定の様式により提出することができる。						
28	保険の付与及び事故の補償	1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。(法定外の労災保険を含む) 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。						
29	電子納品	※行う (「電子納品仕様書」による。) ・行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th colspan="2">名 称</th></tr> <tr><td colspan="2">営繕工事電子納品要領 (令和3年版)</td></tr> <tr><td colspan="2">官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (令和3年版)</td></tr> </table> 基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-R又はBR-Dで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。工事関係書類内の、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うCALS/E-C電子納品に関する調査について協力を行うものとする。	名 称		営繕工事電子納品要領 (令和3年版)		官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (令和3年版)	
名 称								
営繕工事電子納品要領 (令和3年版)								
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (令和3年版)								
30	騒音振動の防止	低騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 、低振動型建設機械を使用する。						
31	隣接建物又は工作物の調査	※行う <input type="checkbox"/> 行わない						
32	敷地の状況確認	着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がない関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。						
33	ダンプトラック等による過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き差しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(昭和42年8月2日法律第131号。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 7) 1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。						
34	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。						
35	住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置	本建物の住宅瑕疵担保履行法に基づく資力確保措置は、本工事に含める。						

7	足場	1) 足場の種類 ※枠組本足場 (手すり先行足場) (2. 2. 4) ・くさび緊結式足場 (手すり先行足場) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)発布に規定する。「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり掘置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 2) 建枠・布枠の寸法等 (単位: mm) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>建 枠</td><td>・1, 200枠</td><td>○900枠</td><td>・600枠</td></tr> <tr><td>布 枠</td><td>500布枠×2枚</td><td>※500+240布枠</td><td>500布枠×1枚</td></tr> </table> 3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する 設置しない ロ) 防護シート種類有無 ※ネット状養生シート又は養生シート (なお、出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。)センサー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。(2. 3. 2)	建 枠	・1, 200枠	○900枠	・600枠	布 枠	500布枠×2枚	※500+240布枠	500布枠×1枚
建 枠	・1, 200枠	○900枠	・600枠							
布 枠	500布枠×2枚	※500+240布枠	500布枠×1枚							
8	危険物貯蔵所									

4 章 地 業 工 事																								
項 目		特 記 事 項																						
1	既製コンクリート杭地業	1) 種類 ※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 ・ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td></td><td>杭径 (mm)</td><td>杭長 (m) 及び種別</td><td>継手数</td><td>セット数</td><td>備考</td></tr> <tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>本 杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> イ) 杭頭の処理 ※切断しない ロ) 先端部形状 ※開放形 ハ) 杭の継手 ・アーク溶接 2) 施 工 法 ・特定埋込杭工法 (杭材料条件に適合するもの)		杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考	試験杭						本 杭						(4. 3. 1)(4. 3. 3)			
	杭径 (mm)	杭長 (m) 及び種別	継手数	セット数	備考																			
試験杭																								
本 杭																								
2	場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度 () 種かつ () N/mm ² 以上 イ) 鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4. 5. 4) ロ) 掘削工法 ・アースドリル工法 (安定液使用 ・無水掘削) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張 ・行う ・行わない) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 () ・拡底杭工法 (安定液使用 ・) ハ) セメントの種類 ※高炉セメントB種 <input checked="" type="checkbox"/> (4. 5. 4) ニ) 孔壁測定 ・行う () ・行わない (4. 5. 5)	(4. 5. 4)(表4. 5. 1)																					
3	砂利地業	※再生クラッシャー <input checked="" type="checkbox"/> 切込み砂利及び切込み砕石 (4. 6. 3)																						
4	床下防湿層	施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) (4. 6. 5)																						

5 章 鉄 筋 工 事			
項 目		特 記 事 項	
1	鉄筋の種類	種類(記号) 呼び名 (mm) ○SD295 ※D16以下 ○SD345 ※D19以上 ・ ・	(5. 2. 1)(表5. 2. 1)
2	溶接金網	網目の形状、寸法等 (5. 2. 2) 形状、寸法等(縦×横) (mm) 鉄線の径又は呼び名 (mm) 規 格 ※100×100 ※6. 0 ・ JIS G 3551による ・	
3	鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 (5. 3. 4) ※ガス圧接継手 ・重ね継手 ・機械式継手 ・溶接継手	
4	鉄筋の最小かぶり厚さ	1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 (5. 3. 5) 2) 塩害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。	
5	帯筋	※H形 ・SP形 (別図2. 2)	
6	最上階柱頭補強	※行う ・行わない (別図2. 1)	
7	壁開口部の補強	一般壁 ※A形 ・B形 ・図示 (別図4. 3)(別表4. 3)(別表4. 4) 耐震壁 ※図示	
8	梁貫通孔の補強形式	※H形 ・MH形 ・M形 (別図7. 1)(別表7. 1~別表7. 3)	
9	圧接完了後の試験	※超音波探傷試験 ・引張試験 (5. 4. 10)	

6 章 コ ン ク リ ー ト 工 事			
項 目		特 記 事 項	
1	コンクリートの種類及び強度等	普通コンクリートの設計基準強度 (6. 2. 1)(6. 2. 2)(6. 14. 1) 設計基準強度Fc (N/mm ²) スランプ (cm) 施工箇所 ○18 ・15 ○18 ・無筋コンクリート適用箇所 ○218 ・ ・ ※18 ・ ※18	
		軽量コンクリートの設計基準強度 (6. 2. 1)(6. 2. 2)(表6. 10. 1)(6. 10. 1) 設計基準強度Fc (N/mm ²) 種 別 施工箇所 ・21 ・ 1種・2種 ・	
2	寒中コンクリートマスコンクリート無筋コンクリート流動化コンクリート	(6. 11. 1~6. 15. 4) 種 類 適用箇所 備考 (適用期間) ・寒中コンクリート ・マスコンクリート ・高炉セメントB種 <input checked="" type="checkbox"/> ・中熱ポルトランドセメント ・無筋コンクリート ・流動化コンクリート	
3	レディーミクストコンクリートの類別	※I類 ・II類 (6. 2. 1)(6. 4. 1)(6. 4. 2)(表6. 2. 1) JIS表示認定工場で生産されたものとする。(改正工業標準化法(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により認定を受けたプラントを含む。)	
4	セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (マスコンクリートを除く) (6. 3. 1)(表6. 3. 1) ・高炉セメントB種 <input checked="" type="checkbox"/> 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。	
5	骨材の品質	アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1)(6. 5. 4) ※A ・B (※コンクリート中のアルカリ総量Rt<3.0kg/m3以下)	
6	混和材料の種類	※混和剤 ・混和材 (6. 3. 1)(6. 3. 2)	
7	構造体強度補正值	構造体強度補正值の決定に用いる「予想平均気温θ」は、気象庁気況地方気象発表の過去の平均値より決定する。(6. 3. 2)(監理指針 表6. 11. 2)	
8	型枠(せき板)の種別	塗装の有無 ※無 ○有 2) 打放し仕上げの種別 (表6. 2. 4) 種 別 (表面の仕上げ程度) 材 料 (せき板) 塗装 施工箇所	
9	コンクリートの打増し	仕上げその他の納まりによる打増しは下記による。 打増し (mm) ・ 施工箇所 外断熱取合い (図示)	
10	断熱材兼用型枠	適用箇所及び品質等は19章9断熱材による (6. 8. 3)	

11	コンクリート躯体の表面処理	外装タイル後張り面の躯体表面の処理 (6. 8. 3)(11. 3. 7) MCR工法又は15. 3. 4(3)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、1. 2. 2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督職員の承諾を受ける。 適用範囲は11章タイル工事 コンクリート素地面の処理による コンクリートの増打ち厚さ ※20mm															
7 章 鉄 骨 工 事																	
項 目		特 記 事 項															
1	鉄骨の製作工場	・監督職員の承諾する製作工場 (7. 1. 3) ※建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた株式会社鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構により下記グレードとして国土交通省から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ・Sグレード以上 ・Hグレード以上 ・Mグレード以上 ○Rグレード以上															
2	施工管理技術者	※適用する (7. 1. 3)(7. 1. 4)(7. 6. 2)(7. 12. 2)															
3	鋼材の材質	鋼材の材質 (7. 2. 1)(7. 2. 10)(表7. 2. 1) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>種類の記号</th><th>使用箇所</th><th>規格等</th></tr> <tr><td></td><td>構造図参照</td><td>※JIS規格による</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>※JIS規格による</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>※JIS規格による</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>※JIS規格による</td></tr> </table>	種類の記号	使用箇所	規格等		構造図参照	※JIS規格による			※JIS規格による			※JIS規格による			※JIS規格による
種類の記号	使用箇所	規格等															
	構造図参照	※JIS規格による															
		※JIS規格による															
		※JIS規格による															
		※JIS規格による															
4	普通ボルト	ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7. 2. 3)(7. 3. 2)															
5	高力ボルト	1) ボルトの区分 (7. 2. 2)(7. 3. 2)(7. 4. 1~7. 4. 9) ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト 2) ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 3) すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等 ()															
6	溶融亜鉛めっき高力ボルト	(7. 2. 2)(7. 3. 2)(7. 12. 4) 1) ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 2) 摩擦面の処理 ※ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) ・ リン酸塩処理 3) すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力等の確認方法等 ※図示															
7	完全溶込み溶接部の試験	1) 現場溶接 ※全て (7. 6. 12) 2) 工場溶接 A O Q L ※4. 0% ・2. 5% 検査水準 ※第6水準 (7. 6. 12)(表7. 6. 2)(表7. 6. 3)(表7. 6. 4) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>検査の種類</th><th>試 験 箇 所</th><th>試験方法</th></tr> <tr><td>○超音波探傷試験</td><td>ゲイワ54溶接部、ベークレット溶接部</td><td>※「標仕」7. 6. 12(イ)による ・図示</td></tr> <tr><td>・放射線試験</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・マクロ試験</td><td></td><td></td></tr> </table>	検査の種類	試 験 箇 所	試験方法	○超音波探傷試験	ゲイワ54溶接部、ベークレット溶接部	※「標仕」7. 6. 12(イ)による ・図示	・放射線試験			・マクロ試験					
検査の種類	試 験 箇 所	試験方法															
○超音波探傷試験	ゲイワ54溶接部、ベークレット溶接部	※「標仕」7. 6. 12(イ)による ・図示															
・放射線試験																	
・マクロ試験																	
8	耐火被覆	(7. 9. 2~7. 9. 7) 種 別 所要性能及び適用構造区分 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材 吹付け <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>乾式吹付けロックウール</td></tr> <tr><td>半乾式吹付けロックウール</td></tr> <tr><td>湿式ロックウール</td></tr> </table> ・耐火材張り ・耐火材巻付け ・耐火塗料	乾式吹付けロックウール	半乾式吹付けロックウール	湿式ロックウール												
乾式吹付けロックウール																	
半乾式吹付けロックウール																	
湿式ロックウール																	
9	アンカーボルトの保持及び埋込み工法	・構造用アンカーボルト () (7. 10. 3)(表7. 10. 1) ○建方用アンカーボルト (・A種 ※B種 ・C種)															
10	柱底均しモルタル工法	※A種 ・B種 (7. 10. 3)(表7. 10. 2)															
11	溶融亜鉛めっき工法	(7. 12. 4)(表14. 2. 2) 亜鉛めっきの種類 材 料 適用部位 A種 最低板厚6. 0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最低板厚3. 2mm以上、6. 0mm未満の形鋼、鋼板 C種 最低板厚1. 6mm以上、3. 2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、アンカーボルト															
12	スカラップ	・改良型スカラップ ○ノンスカラップ (7. 6. 7)															
設 計		工事名 木場潟公園東園地体験施設 建設工事(建築) 図面名 建築工事仕様書 その2 図面番号 A-02															
石川県土木部営繕課																	

13	溶接条件	1) 入熱、パス間温度の溶接条件 適用箇所 ○柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	3	押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2~8.5.5) (表8.5.1) (表8.5.2)				
		2) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件							
		鋼材の種類			溶接材料の規格	溶接材料の種類	入熱	パス間温度	
		400N級炭素鋼			JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15 YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下 30kJ/cm以下	350℃以下 450℃以下	
					JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	
						T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	450℃以下	
					JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	
					JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。			
		JIS Z 3315			YGA-50W, YGA-50P				
		490N級炭素鋼			JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15 YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下 40kJ/cm以下	250℃以下 350℃以下	
					JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	
						T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	
					JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	
JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。								
JIS Z 3315	YGA-50W, YGA-50P								
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	250℃以下					
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U							
400N級炭素鋼 (STKR, BCR及びBCPに限る。)	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15 YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下 40kJ/cm以下	250℃以下 350℃以下					
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	250℃以下					
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下					
490N級炭素鋼 (STKR及びBCPに限る。)	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	250℃以下					
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U							

14	仮組	・行う ・行わない 耐火被覆材の接着する面の塗装 ○行う (※「標仕」18.3.2による)	(7.3.10) (7.8.2)

8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事						
項目	特記事項					
1	建築用コンクリートブロック	1) 補強コンクリートブロック造 断面形状及び圧縮強さによる区分 ※空洞ブロックC(16) ・空洞ブロックC(16)-W	(8.2.2)			
		2) コンクリートブロック帳壁及び塀 ※「標仕」表8.3.1及び下表による。	(8.3.2)			
		適用箇所	厚さ (mm)			
		・外壁	・			
		・間仕切壁	・			
		・地下二重壁	・			
		・塀	高さ	2m以下 2mを超える	・120 ・150	
		(8.4.2~8.4.6) (表8.4.2) (表8.4.3) (表8.4.4)				
		種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	取付け工法種別等	
		・外壁パネル ※平パネル ・意匠パネル	・1180・1960	・100 ・120	・A種・B種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する	
		・間仕切壁パネル ※平パネル		・80 ・100	・C種・D種・E種 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する	
		・屋根パネル	・960	・100	※F種 耐火性能・有り (・1時間・2時間)	
		・床パネル	・2350・3530	・100・150		
外壁と間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 ※20 図示による (mm)						

4	外壁パネル工法	(8.4.3) (8.5.3)					
		パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法 (建設省告示第109号による) を、1.2.2 (施工計画書) による品質計画で定める。					
		9章 防水工事					
		項目	特記事項				
		1	アスファルト防水	1) 種別及び施工箇所 (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~表9.2.9)			
				種別	施工箇所		
				※A1-2	・A-2		
				・D-2	・B1-2		
				・B1-2	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ		
				・	・		
				・	・		
				2) アスファルト ※3種・4種 (9.2.2)			
				3) 断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ※25 (9.2.2)			
ただし、オゾン層破壊物質を含まないもの。							
4) 立ち上り部の保護材 ・乾式保護材 ・れんが ※市販品れんが、又は市販品のれんが形コンクリートブロック (見え隠れ部分) 乾式保護材の種類 厚さ (mm) 適用							
・押出成形セメント板 (業系系パネル) ※I類・II類 ・約15×300 ・約26×600							
・金属複合板 ・約12×900							
製造所 JIS規格又は「評価名簿」による							

2	改質アスファルトシート防水	1) 種別及び施工箇所 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1~表9.3.3)				
		種別	施工箇所			
		・AS-T1	・AS-T2			
		・	・			
		1) 種別及び施工箇所 (9.4.2) (9.4.3) (表9.4.1~表9.4.2)				
		種別	厚さ (mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
		・S-F1	※1.2	・	・シルバークラ	※非歩行
		・S-F2	※2.0	・		・軽歩行
		・S-M1	※1.5	・	・シルバークラ	
		・S-M2	※1.5	・		
		2) PCコンクリート部材下地 (9.4.4)				
		目地処理 (接着工法) ※図示 入隅部の増張り (S-F1, SI-F1及びS-O1工法の場合) ※行わない・行う (幅 mm程度)				

4	塗膜防水	1) 種別及び施工箇所 (9.5.2) (9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)			
		種別	施工箇所		
		・X-1	・X-2		
		・Y-1	地下外壁防水		
		・Y-2	屋内防水		
		2) 種別X-1の脱気装置 ・設ける			
		種類	材料		設置数量
		・平面部脱気型	※製造所標準仕様 ・ステンレス製 ・アルミ製又はアルミ鍍物	・製造所指定数量 ・1箇所/約50㎡当たり	
		・立上がり部脱気型	※製造所標準仕様	・製造所指定数量 ・1箇所/約10m間隔	
		5) シーリング			
		1) 下表以外は、「標仕」表9.7.1による。 (9.7.2) (表9.7.1)			
		施工箇所	シーリング材の種類 (記号)		
		外部建具廻り	MS-2		
板金取り合い	MS-2				
2) 接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験 (施工部位)					
6) 防水工事保証年限					
施工箇所	種別	保証年限	備考		
		・10年			
		・10年			
		・10年			

10章 石工事						
項目	特記事項					
1	天然石張り	1) 石の品質 (10.2.1)				
		イ) 床用石材 ※2等品・1等品 (施工箇所)	(10.2.1)			
		ロ) 壁及びその他の石材 ※1等品・2等品 (施工箇所)	(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)			
		2) 石の種類・表面仕上げ (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)				
		施工箇所	種類	産地・名称	厚さ (m)	仕上げの種類
		2) テラゾ張り (10.2.1)(表10.2.2)				
		1) 種石の種類 ※大理石・本磨き (10.2.1)(表10.2.2)				
		3) 壁の石張り工法 (10.2.2)(10.3.2)(10.3.3)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)				
		①工法 ・外壁湿式工法 (※流し筋工法) ・乾式工法 (・スライド方式・ロッキング方式) ※乾式工法の場合は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を、1.2.2 (施工計画書) による品質計画で定める。 ②あと施工アンカー 材質 ※ステンレス (SUS304) ③石裏面処理 ※行う (・小口共) ・行わない ④裏打ち処理 ※行う ・行わない ⑤ドレインパイプ ※樹脂ネット製パイプ25~30φ (クロスメッシュ巻) ・ステンレス SUS304 (10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)(10.5.2)(10.5.3)				
		2) 内壁石張り ①工法 ・内壁空積工法 (※あと施工アンカー横筋流し工法・あと施工アンカー工法) ・乾式工法 (・スライド方式・ロッキング方式) ②あと施工アンカー 材質 ※ステンレス (SUS304) ③石裏面処理 ※行う (・小口共) ・行わない ④裏打ち処理 ※行う ・行わない				
		4) 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)(10.1.5)				
		1) 床石張りの石裏面処理 ※行う ・行わない (10.6.2)(10.6.3)				
		2) 階段石張りの裏面の処理 ※行う ・行わない (10.1.5)				
3) 屋内のワックス掛け ※行う ・行わない						

11章 タイル工事											
項目	特記事項										
①	セラミックス	1) タイルの種類 (11.2.2) (11.3.2)									
		施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の区分	吸水率による区分	釉薬	役物	色	備考		
		・床	300×300	適用G	I種 II種 III種	施釉	無釉	有	無	標準	特注
		備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。 役物・標準曲がり (小口、標準、二丁、厚風) の役物は一体成形とする 2) タイルの見本焼き ※行わない・行う (※外壁タイル) 3) 原料に再生材料を用いる再生材利用タイルの品質 イ) 20章 ユニット及びその他工事の「石川県リサイクル認定製品」を使用すると特記されている場合は、特記による。 ロ) イ) 以外は、再生材料を用い焼成されたタイルとし、再生材料利用率は総原材料の重量比で20%以上 (種数の再生材料を用いる場合は、その合計) 使用されているものとし、再生材料に用いる原料の種類及び焼成前処理方法は下表による。ただし、再生材料は通常製造している同一工場からの廃材は除くものとする。(グリーン購入法「特定調達品目」判断基準)									
		再生材に用いる原料の種類		焼成前処理方法							
		採石及び窯業廃土、無機珪砂、鐵鋼スラグ、非鉄スラグ、錳物砂、陶磁器屑、石灰塵、廃プラスチック、建設廃材 (汚泥を除く)、廃ゴム、廃ガラス、製紙スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑、上水道汚泥、湖沼等の汚泥		前処理によらず対象							
		都市ゴミの焼成灰		熔解スラグ化							
		下水道汚泥		焼成灰化又は熔融スラグ化							
		2) 壁タイル張りの工法 (11.2.7) (11.3.7) (表11.3.2) (表11.3.3) (表11.3.4) (表11.3.5) (表11.3.6) (表11.3.7) (表11.3.8) (表11.3.9) (表11.3.10) (表11.3.11) (表11.3.12) (表11.3.13) (表11.3.14) (表11.3.15) (表11.3.16) (表11.3.17) (表11.3.18) (表11.3.19) (表11.3.20) (表11.3.21) (表11.3.22) (表11.3.23) (表11.3.24) (表11.3.25) (表11.3.26) (表11.3.27) (表11.3.28) (表11.3.29) (表11.3.30) (表11.3.31) (表11.3.32) (表11.3.33) (表11.3.34) (表11.3.35) (表11.3.36) (表11.3.37) (表11.3.38) (表11.3.39) (表11.3.40) (表11.3.41) (表11.3.42) (表11.3.43) (表11.3.44) (表11.3.45) (表11.3.46) (表11.3.47) (表11.3.48) (表11.3.49) (表11.3.50) (表11.3.51) (表11.3.52) (表11.3.53) (表11.3.54) (表11.3.55) (表11.3.56) (表11.3.57) (表11.3.58) (表11.3.59) (表11.3.60) (表11.3.61) (表11.3.62) (表11.3.63) (表11.3.64) (表11.3.65) (表11.3.66) (表11.3.67) (表11.3.68) (表11.3.69) (表11.3.70) (表11.3.71) (表11.3.72) (表11.3.73) (表11.3.74) (表11.3.75) (表11.3.76) (表11.3.77) (表11.3.78) (表11.3.79) (表11.3.80) (表11.3.81) (表11.3.82) (表11.3.83) (表11.3.84) (表11.3.85) (表11.3.86) (表11.3.87) (表11.3.88) (表11.3.89) (表11.3.90) (表11.3.91) (表11.3.92) (表11.3.93) (表11.3.94) (表11.3.95) (表11.3.96) (表11.3.97) (表11.3.98) (表11.3.99) (表11.3.100) (表11.3.101) (表11.3.102) (表11.3.103) (表11.3.104) (表11.3.105) (表11.3.106) (表11.3.107) (表11.3.108) (表11.3.109) (表11.3.110) (表11.3.111) (表11.3.112) (表11.3.113) (表11.3.114) (表11.3.115) (表11.3.116) (表11.3.117) (表11.3.118) (表11.3.119) (表11.3.120) (表11.3.121) (表11.3.122) (表11.3.123) (表11.3.124) (表11.3.125) (表11.3.126) (表11.3.127) (表11.3.128) (表11.3.129) (表11.3.130) (表11.3.131) (表11.3.132) (表11.3.133) (表11.3.134) (表11.3.135) (表11.3.136) (表11.3.137) (表11.3.138) (表11.3.139) (表11.3.140) (表11.3.141) (表11.3.142) (表11.3.143) (表11.3.144) (表11.3.145) (表11.3.146) (表11.3.147) (表11.3.148) (表11.3.149) (表11.3.150) (表11.3.151) (表11.3.152) (表11.3.153) (表11.3.154) (表11.3.155) (表11.3.156) (表11.3.157) (表11.3.158) (表11.3.159) (表11.3.160) (表11.3.161) (表11.3.162) (表11.3.163) (表11.3.164) (表11.3.165) (表11.3.166) (表11.3.167) (表11.3.168) (表11.3.169) (表11.3.170) (表11.3.171) (表11.3.172) (表11.3.173) (表11.3.174) (表11.3.175) (表11.3.176) (表11.3.177) (表11.3.178) (表11.3.179) (表11.3.180) (表11.3.181) (表11.3.182) (表11.3.183) (表11.3.184) (表11.3.185) (表11.3.186) (表11.3.187) (表11.3.188) (表11.3.189) (表11.3.190) (表11.3.191) (表11.3.192) (表11.3.193) (表11.3.194) (表11.3.195) (表11.3.196) (表11.3.197) (表11.3.198) (表11.3.199) (表11.3.200) (表11.3.201) (表11.3.202) (表11.3.203) (表11.3.204) (表11.3.205) (表11.3.206) (表11.3.207) (表11.3.208) (表11.3.209) (表11.3.210) (表11.3.211) (表11.3.212) (表11.3.213) (表11.3.214) (表11.3.215) (表11.3.216) (表11.3.217) (表11.3.218) (表11.3.219) (表11.3.220) (表11.3.221) (表11.3.222) (表11.3.223) (表11.3.224) (表11.3.225) (表11.3.226) (表11.3.227) (表11.3.228) (表11.3.229) (表11.3.230) (表11.3.231) (表11.3.232) (表11.3.233) (表11.3.234) (表11.3.235) (表11.3.236) (表11.3.237) (表11.3.238) (表11.3.239) (表11.3.240) (表11.3.241) (表11.3.242) (表11.3.243) (表11.3.244) (表11.3.245) (表11.3.246) (表11.3.247) (表11.3.248) (表11.3.249) (表11.3.250) (表11.3.251) (表11.3.252) (表11.3.253) (表11.3.254) (表11.3.255) (表11.3.256) (表11.3.257) (表11.3.258) (表11.3.259) (表11.3.260) (表11.3.261) (表11.3.262) (表11.3.263) (表11.3.264) (表11.3.265) (表11.3.266) (表11.3.267) (表11.3.268) (表11.3.269) (表11.3.270) (表11.3.271) (表11.3.272) (表11.3.273) (表11.3.274) (表11.3.275) (表11.3.276) (表11.3.277) (表11.3.278) (表11.3.279) (表11.3.280) (表11.3.281) (表11.3.282) (表11.3.283) (表11.3.284) (表11.3.285) (表11.3.286) (表11.3.287) (表11.3.288) (表11.3.289) (表11.3.290) (表11.3.291) (表11.3.292) (表11.3.293) (表11.3.294) (表11.3.295) (表11.3.296) (表11.3.297) (表11.3.298) (表11.3.299) (表11.3.300) (表11.3.301) (表11.3.302) (表11.3.303) (表11.3.304) (表11.3.305) (表11.3.306) (表11.3.307) (表11.3.308) (表11.3.309) (表11.3.310) (表11.3.311) (表11.3.312) (表11.3.313) (表11.3.314) (表11.3.315) (表11.3.316) (表11.3.317) (表11.3.318) (表11.3.319) (表11.3.320) (表11.3.321) (表11.3.322) (表11.3.323) (表11.3.324) (表11.3.325) (表11.3.326) (表11.3.327) (表11.3.328) (表11.3.329) (表11.3.330) (表11.3.331) (表11.3.332) (表11.3.333) (表11.3.334) (表11.3.335) (表11.3.336) (表11.3.337) (表11.3.338) (表11.3.339) (表11.3.340) (表11.3.341) (表11.3.342) (表11.3.343) (表11.3.344) (表11.3.345) (表11.3.346) (表11.3.347) (表11.3.348) (表11.3.349) (表11.3.350) (表11.3.351) (表11.3.352) (表11.3.353) (表11.3.354) (表11.3.355) (表11.3.356) (表11.3.357) (表11.3.358) (表11.3.359) (表11.3.360) (表11.3.361) (表11.3.362) (表11.3.363) (表11.3.364) (表11.3.365) (表11.3.366) (表11.3.367) (表11.3.368) (表11.3.369) (表11.3.370) (表11.3.371) (表11.3.372) (表11.3.373) (表11.3.374) (表11.3.375) (表11.3.376) (表11.3.377) (表11.3.378) (表11.3.379) (表11.3.380) (表11.3.381) (表11.3.382) (表11.3.383) (表11.3.384) (表11.3.385) (表11.3.386) (表11.3.387) (表11.3.388) (表11.3.389) (表11.3.390) (表11.3.391) (表11.3.392) (表11.3.393) (表11.3.394) (表11.3.395) (表11.3.396) (表11.3.397) (表11.3.398) (表11.3.399) (表11.3.400) (表11.3.401) (表11.3.402) (表11.3.403) (表11.3.404) (表11.3.405) (表11.3.406) (表11.3.407) (表11.3.408) (表11.3.409) (表11.3.410) (表11.3.411) (表11.3.412) (表11.3.413) (表11.3.414) (表11.3.415) (表11.3.416) (表11.3.417) (表11.3.418) (表11.3.419) (表11.3.420) (表11.3.421) (表11.3.422) (表11.3.423) (表11.3.424) (表11.3.425) (表11.3.426) (表11.3.427) (表11.3.428) (表11.3.429) (表11.3.430) (表11.3.431) (表11.3.432) (表11.3.433) (表11.3.434) (表11.3.435) (表11.3.436) (表11.3.437) (表11.3.438) (表11.3.439) (表11.3.440) (表11.3.441) (表11.3.442) (表11.3.443) (表11.3.444) (表11.3.445) (表11.3.446) (表11.3.447) (表11.3.448) (表11.3.449) (表11.3.450) (表11.3.451) (表11.3.452) (表11.3.453) (表11.3.454) (表11.3.455) (表11.3.456) (表11.3.457) (表11.3.458) (表11.3.459) (表11.3.460) (表11.3.461) (表11.3.462) (表11.3.463) (表11.3.464) (表11.3.465) (表11.3.466) (表11.3.467) (表11.3.468) (表11.3.469) (表11.3.470) (表11.3.471) (表11.3.472) (表11.3.473) (表11.3.474) (表11.3.475) (表11.3.476) (表11.3.477) (表11.3.478) (表11.3.479) (表11.3.480) (表11.3.481) (表11.3.482) (表11.3.483) (表11.3.484) (表11.3.485) (表11.3.486) (表11.3.487) (表11.3.488) (表11.3.489) (表11.3.490) (表11.3.491) (表11.3.492) (表11.3.493) (表11.3.494) (表11.3.495) (表11.3.496) (表11.3.497) (表11.3.498) (表11.3.499) (表11.3.500) (表11.3.501) (表11.3.502) (表11.3.503) (表11.3.504) (表11.3.505) (表11.3.506) (表11.3.507) (表11.3.508) (表11.3.509) (表11.3.510) (表11.3.511) (表11.3.512) (表11.3.513) (表11.3.514) (表11.3.515) (表11.3.516) (表11.3.517) (表11.3.518) (表11.3.519) (表11.3.520) (表11.3.521) (表11.3.522) (表11.3.523) (表11.3.524) (表11.3.525) (表11.3.526) (表11.3.527) (表11.3.528) (表11.3.529) (表11.3.530) (表11.3.531) (表11.3.532) (表11.3.533) (表11.3.534) (表11.3.535) (表11.3.536) (表11.3.537) (表11.3.538) (表11.3.539) (表11.3.540) (表11.3.541) (表11.3.542) (表11.3.543) (表11.3.544) (表11.3.545) (表11.3.546) (表11.3.547) (表11.3.548) (表11.3.549) (表11.3.550) (表11.3.551) (表11.3.552) (表11.3.553) (表11.3.554) (表11.3.555) (表11.3.556) (表11.3.557) (表11.3.558) (表11.3.559) (表11.3.560) (表11.3.561) (表11.3.562) (表11.3.563) (表11.3.564) (表11.3.565) (表11.3.566) (表11.3.567) (表11.3.568) (表11.3.569) (表11.3.570) (表11.3.571) (表11.3.572) (表11.3.573) (表11.3.574) (表11.3.575) (表11.3.576) (表11.3.577) (表11.3.578) (表11.3.579) (表11.3.580) (表11.3.581) (表11.3.582) (表11.3.583) (表11.3.584) (表11.3.585) (表11.3.586) (表11.3.587) (表11.3.588) (表11.3.589) (表11.3.590) (表11.3.591) (表11.3.592) (表11.3.593) (表11.3.594) (表11.3.595) (表11.3.596) (表11.3.597) (表11.3.598) (表11.3.599) (表11.3.600) (表11.3.601) (表11.3.602) (表11.3.603) (表11.3.604) (表11.3.605) (表11.3.606) (表11.3.607) (表11.3.608) (表11.3.609) (表11.3.610) (表									

3	粘土瓦	(13. 4. 2)		15章 左 官 工 事		⑥	鋼製建具	1) 簡易気密型ドアセット性能値 ※適用する (適用箇所は建具表による) (16. 4. 2) (表16. 4. 1)	④	複層ガラス	種類	断熱性・日射遮へい性による区分 (J I S R 3 2 0 9)			
		※J形	※53A	・ゆう葉がわら	色調 ()			※断熱複層ガラス			※U3-1 ・ U3-2 ・ U1 ・ U2				
4	とい	1) 材 種 (13. 5. 2) (表13. 5. 1)		1) モルタル塗り材料 (15. 3. 2)		⑦	標準型鋼製建具	2) 外部に面する建具の耐風圧性 ◎S-4 ・ S-5 ・ S-6 ※施工箇所は建具表による (16. 4. 2) (表16. 2. 1)	5) 熱線反射板ガラス	品 質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整		
		・配管用鋼管	◎硬質ポリ塩化ビニル管	◎G	2) 鋼管製といの防露 ※「標仕」表13. 5. 4による (13. 5. 2) (表13. 5. 3) (表13. 5. 4)			3) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種			2) 床コンクリートの直均し仕上げ (15. 3. 2)	2) 鋼管製といの防露 ※「標仕」表13. 5. 4による (13. 5. 2) (表13. 5. 3) (表13. 5. 4)	3) 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種	4) 掃除口 ※有り ◎無し	1) 簡易気密型ドアセット性能値 ※適用する (適用箇所は建具表による) (16. 4. 2) (表16. 4. 1)
14章 金 属 工 事		特 記 事 項		1) 仕上げ塗材の種類等 (15. 6. 2) (表15. 6. 1)		8	鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による (16. 5. 2)	6) 倍強度ガラス	材料板ガラスによる種類の名称	色 調				
1) あと施工アンカーの引抜き耐力試験 (14. 1. 3)		※適用する ・ 適用しない		種 類		9	標準型鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による (16. 5. 2) (16. 5. 6)	7) ガラス留め材及び溝 (16. 14. 2) (表9. 7. 1)	建具の種類	材 種				
2) ステンレスの表面仕上げ (14. 2. 1)		種 類		呼 び 名		10	ステンレス製建具	1) 簡易気密型ドアセット性能値 ※適用する (適用箇所は建具表による) (16. 4. 2) (16. 6. 2) (表16. 4. 1)	8) ガラス留め材及び溝 (16. 14. 2) (表9. 7. 1)	アルミニウム製	※シーリング材 ・ ガasket (F I X部はシーリング材)				
3) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14. 2. 2) (表14. 2. 1)		※H L程度		・外装薄塗材 S i		11	木製建具	2) 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ※施工箇所は建具表による (16. 6. 4)	9) ガラスブロック積み (16. 14. 5)	鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材				
4) 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 3) (表14. 2. 2)		・No2 B程度		・可とう形外装薄塗材 S				1) 建物内部の木製建具に使用する表面剤及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 第三種 (16. 6. 4)		2) フラッシュ戸の表面材の種類 (16. 7. 2) (表16. 7. 2) (表16. 7. 6)	3) 表面仕上げ ※H L仕上げ ・ No8鏡面仕上げ (16. 6. 4)	4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) (16. 6. 5)	ステンレス製	※シーリング材	
5) 軽量鉄骨天井下地 (14. 4. 2) (表14. 2. 2)		表面処理方法		・外装薄塗材 E		12	建具用金物	3) 仕上げ塗材の種類等 (15. 6. 2) (表15. 6. 1)	10) ガラスブロック積み (16. 14. 5)	樹脂製	※シーリング材 ・ ガasket (F I X部はシーリング材)				
6) 金属成形板張り (14. 6. 2)		種 別		・可とう形外装薄塗材 E				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) (16. 6. 5)	5) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	呼び目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 3) (表9. 7. 1)	
7) アルミニウム製笠木 (14. 7. 1) (表14. 7. 1)		野縁受、吊りボルト、インサート		・内装薄塗材 C		13	自動ドア開閉装置	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	11) ガラス用フィルム (16. 13. 2) (表16. 13. 1)	電線(反射)センサー	電波センサー	タッチスイッチ			
8) 手すり及びタラップ (14. 8. 2) (表14. 2. 2)		野 緑		・内装薄塗材 L				※スライディングドア ・ スイングドア		※光線(反射)センサー	※熱線センサー	※音波センサー	※押しボタンスイッチ	※多機能トイレスイッチ	※光電センサー
9) フッ素樹脂焼付塗装鋼板 (14. 8. 3) (表14. 2. 2)		中央部		・内装薄塗材 S i		14	自閉式上吊り引戸装置	2) 凍結防止措置 ※行わない ・ 行う () (16. 9. 3)	12) ガラス用フィルム (16. 13. 2) (表16. 13. 1)	熱線センサー	音波センサー	押しボタンスイッチ			
10) 体育館の鋼製床下地 (14. 8. 3) (表14. 2. 2)		周辺部		・内装薄塗材 E				3) 製造所 大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による (16. 9. 3)		1) 自閉式上吊り引戸装置 (16. 10. 2)	2) 凍結防止措置 ※行わない ・ 行う () (16. 9. 3)	3) 製造所 大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による (16. 9. 3)	多機能トイレスイッチ	光電センサー	※無し
		900mm		・内装薄塗材 W		15	重量シャッター	4) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	13) 自動ドア開閉装置 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	呼び目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 3) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 C E				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	4) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 E		16	軽量シャッター	5) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	14) 自閉式上吊り引戸装置 (16. 10. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	5) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		17	オーバーヘッドドア	6) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	15) 重量シャッター (16. 11. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	6) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		18	ガラス	7) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	16) 軽量シャッター (16. 12. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	7) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		19	網戸	8) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	17) オーバーヘッドドア (16. 13. 2) (表16. 13. 1)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	8) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		20	網戸	9) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	18) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	9) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		21	網戸	10) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	19) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	10) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		22	網戸	11) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	20) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	11) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		23	網戸	12) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	21) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	12) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		24	網戸	13) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	22) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	13) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		25	網戸	14) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	23) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	14) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		26	網戸	15) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	24) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	15) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		27	網戸	16) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	25) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	16) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		28	網戸	17) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	26) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	17) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		29	網戸	18) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	27) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	18) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		30	網戸	19) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	28) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	19) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		31	網戸	20) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	29) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	20) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		32	網戸	21) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	30) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	21) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	1) 自動ドアの開閉機構 (16. 9. 2) (16. 9. 3) (表16. 9. 1~6)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による
		360mm		・複層薄塗材 W		33	網戸	22) 枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 木製 靴ずり ※ステンレス	31) ガラス (16. 14. 2)	シリンダー箱錠	シリンダー本締まり錠	「評価名簿」による	化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料	下記以外は「標仕」表9. 7. 1による。 (16. 14. 5) (表9. 7. 1)	
		360mm		・複層薄塗材 W				1) マスターキー ※製作する ◎製作しない(既存マスター合わせ) (16. 8. 4)		2) 建具用金物 (表16. 8. 1)	22				

21	誘導用及び注意喚起用床材	視覚障害者用タイル (19. 2. 2)			
		適用箇所	種 類	寸法 (mm)	
		屋 内	・塩化ビニル系 ・磁器又はせつ器タイル	※300×300	ブロックパターンはJIS T 9251による
		屋 外	・コンクリート系 ・レジンコンクリート系 ・磁器又はせつ器タイル	※300×300×60 ※300×300	・300×300×30

20 章 ユニット及びその他工事

項 目	特 記 事 項		
1	耐震スリット		
	方 向	タイプ	耐火性能
	・垂直方向	※完全 (全貫通型) スリット	・耐火型
	・水平方向	・部分スリット	・非耐火型
	目 地	内壁 (幅×深さ)	外壁 (幅×深さ)
	目地材	シーリング材 (見え掛かりのみ)	シーリング材 (内外とも)
	目地寸法 (mm)	※20×10	※20×10

2	天井・ウォンジョイント金物	材 質	クリアランス	防火性能	防水性能
		・アルミ ・ステンレス	・50 ・100 ・150	・あり ・なし	・あり ・なし

3	止水板	形 状	・差込式 ・据置式 ・壁張り式
		施工箇所	※図示

4	フリーアクセスフロア	(20. 2. 2)				
	施工箇所	構 法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力	耐荷重性能 (注1)	表面仕上げ材 (注2)
		・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
		・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
		・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

注1 耐荷重性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする。
注2 表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。

5	可動間仕切	(20. 2. 3)			
	構成材の材質	・アルミニウム ・鋼製 ・スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 (ただし、構成材は「構仕」による) ・図示			
	配線用取り出しパネル	※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) ・図示			
	空調用吹き出しパネル	※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) ・図示			

6	移動間仕切	(20. 2. 4)				
	構造形式	パネル部の 総厚さ (mm)	表面材種 厚さ (mm)	仕上げ	遮音性 (透過損失)	不燃材料 の認定
	※パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 (※0.5)	※メラミン樹脂 又はアクリル樹脂焼付け	・15dB程度 ・30dB程度 ・36dB以上	・あり

製造所等 JIS A 6512によるもの又は「評価名簿」によるもの

7	トイレブース	(20. 2. 5)			
	表面仕上げ材	脚部の形状・材質		ドアエッジの形状・材質	
	※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱タイプ	・アルミニウム ・ステンレス	・フラット形 ・曲面形	※アルミニウム製 ・ステンレス製

注1 JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。
注2 表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事 14壁紙張りによる。

8	階段滑止め	(20. 2. 6)			
	材種	ステンレス SUS304			
	形状	ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し			
	幅 (mm)	約35			
	取付け工法	※接着工法 ・埋込み工法			

9	階段手すり	(20. 2. 5)			
	種 別	仕上げ等	手すり径等 (mm)	施工箇所	
	・集成材 (市販品)	※クリアラッカー	・45		
	○ビニル製ハンドレール ※アルミ製 塩ビ被覆	・耐候性タイプ ・	・50 (幅) ○34 ・40	講師控室兼休憩室階段	
	・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ	・HL ・	・40 ・		

10	黒板及びホワイトボード	(20. 2. 8)		
	種 類	寸法 (mm)	備 考	
	・黒板	・焼付け	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	
	・ホワイトボード	・ほうろう	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	

11	表示標識	(20. 2. 10)		
	衝突防止表示 ※図示	(市販品 ※ステンレス製 径 約30mm ○ホテイングシート) ・無し		
	法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。	製造所 監督職員の承諾する製造所		

12	煙突用成形ライニング材	(20. 2. 11)		
	適用安全使用温度	※400℃ ・650℃		
	製造所	「評価名簿」による。		

13	ブラインド	(20. 2. 12)		
	形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
	※横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
	・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

14	ブラインドボックス及びカーテンボックス	(20. 2. 14)		
	※市販品 (アルミニウム製 押し出し型材)			
	使用区分	溝幅×深さ (mm)		
	・横型ブラインド	※90×150 ・120×150		
	・縦型ブラインド	※120×80 ・150×80		
	・カーテン (又はレース共)	※150×80 ・180×80		
	・カーテン+横型ブラインド	※180×150		
	色彩	※B-1 ・B-2 (※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示		

15	ロールスクリーン	(20. 2. 13)		
	操作方法	スクリーンの種類		品質等
	・ブルコード式 (ストッパー付)	・無地		
	・ファンタッチチェーン式	・柄物		
	・チェーン式	・遮光タイプ		
	・電動式			
	製造所			

16	カーテン及びカーテンレール	(20. 2. 14)			
	種 別	形 式	装 置		
	施工箇所	片引 引分	電動 ひも引 手引	名称・品質	ひだの種類
		・	・	・	・
		・	・	・	・
		・	・	・	・
		・	・	・	・
		・	・	・	・

17	ビクチャーレールランナー	(20. 2. 14)			
	材 質	アルミニウム製 (シルバー)			
	形 式	先付け天井埋込型 (見切縁兼用)			
	材 質	本体：真鍮性 フック：ステンレス製 (可動式)			
	耐荷重	2.5kg程度/個			
	個 数	2個/レール1m			

18	天井点検口	(20. 2. 1)		
	目地形状	運用箇所	寸法 (mm)	
	額縁タイプ	下記以外全て	※450×450	
	目地タイプ	※図示	・600×600	
		・天井仕上げ材がDRの範囲	・	

27	敷地境界石標	(表14. 2. 1)		
	項 目	材料の品質・規格及び性能		
	内外枠の材質	アルミニウム合金押出型材 (表面処理：C-1種又はC-2種による) (JIS H 4100 A6063S-T5による)		

28	旗竿	(20. 2. 5)		
	内外の仕上げ材	アルミニウム合金押出型材、垂鉛めっき鋼板類及び同等の性能を有するもの		
	留付け金具	鋼材に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの		
	コーナービス及び取付け金物等	鋼材に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの		
	寸法許容差	枠の許容差	±0.5mm以内	
		外枠と内枠のクリアランス	2.0mm以内	

29	旗竿受金物	(20. 2. 1)		
	材 種	ステンレス製 SUS304		

30	フェンス	(20. 2. 1)		
	・耐害型	・一般型		
	・ビニル被覆エキスパンドフェンス	・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス		

31	屋外掲示板	(20. 2. 1)		
	照明器具	※有り ・無し		
	施 錠	※有り ・無し		
	製造所			

32	車止め支柱	(20. 2. 1)		
	・ステンレス製 (上下式鎖内蔵型、反射テープ付き) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm	※スプリング付 ・スプリング無し		
	・図示			

19	床点検口	(20. 2. 1)		
	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)
	※アルミ製	※アルミ ・ステンレス ・黄銅	下記以外全て	※600×600
	・ステンレス製			・
	品質及び性能等			
	材 質	品質・規格及び性能		
	アルミ合金押出型材	JIS H 4100 A6063Sによる		
	アルミニウム板	JIS H 4000 A1100PH24による		
	ステンレス製	JIS G 4305 (目地材はG 4308も含む) のSUS304による		
	寸法許容差 (mm)	受け枠寸法の許容差	±0.5	
		蓋枠寸法の許容差	±0.5	
		受け枠と蓋枠のクリアランス (片側)	2.0以内	
	耐荷重性能	荷重 Pn = 1,000N における蓋中央部の残留たわみ	点検口有効径の0.08%以内	
		耐破壊荷重	荷重値 Pn の2倍以上	

20	収納家具・書架・物品棚	(20. 2. 1)		
	種 別	品質	形状 部材の材料	寸法 (mm)
	・収納家具	JIS S1033 (家具用 収納家具) による	・鋼製 ・木製	・図示
	・書架	JIS S1039 (書架 物品棚) による	・鋼製 ・木製	・図示
	・移動式 書架・物品棚		・鋼製 ・木製	・図示
			・鋼製 ・木製	・図示

21	かざ箱	(20. 2. 1)		
	市販品	形式 ○30組用 ・60組用 ・120組用		

22	くつふきマット	(20. 2. 1)		
	材 質	・塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製受枠) ・ビニル製 (ステンレス製受枠) ・硬質アルミニウム製 (受枠とも) ・ステンレス製 (受枠とも)		

23	流し台ユニット	(20. 2. 1)		
	種 類	寸法 (L=mm)	適用内容	規格・品質等
	・流し台	※1200 ・1500 ・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
	・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※有り	(セキオホ特許I型)
	・つり戸棚	※1200 ・900 ・800		・
	・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品
	○ニキチ	※1200 ・900	IH炉、電気温水器付き	※市販品

24	屋外掲示板	(20. 2. 1)		
	枠の材質	※アルミニウム製		
	表面の材質	※塩ビ発泡シート張り		

25	洗面カウンター	(20. 2. 1)		
	材 種	・メラミン樹脂化粧板 (心材：集成材) ・人工大理石 (仕様は図示)		
	奥行き (mm)	・約450 ・約600		

26	防煙垂れ壁	(20. 2. 1)		
	・固定式			
	材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
	・網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き
	・線入り磨板ガラス	・	・	

27	排水管	(21. 2. 1) (表21. 2. 1)		
	種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
	・垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)
	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

28	旗竿	(20. 2. 5)		
	降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型) 品質、規格 (財)日本建築センターの防災性能評定品		
	・かこう岩 (文字記号等入り)	※コンクリートブロック製の市販品程度		
	材 質	※アルミニウム合金製		
	形 式	※テーパ型 ・同一断面型		
	地上高さ (m)	・6 ・8 ・10 ・12		
	操作方法	※ハンドル式 ・ロープ式		
	固定方法	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		

29	旗竿受金物	(20. 2. 1)		
	材 種	ステンレス製 SUS304		

30	フェンス	(20. 2. 1)		
	・耐害型	・一般型		
	・ビニル被覆エキスパンドフェンス	・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス		

31	屋外掲示板	(20. 2. 1)		
	照明器具	※有り ・無し		
	施 錠	※有り ・無し		
	製造所			

32	車止め支柱	(20. 2. 1)		
	・ステンレス製 (上下式鎖内蔵型、反射テープ付き) 径114.3mm t=2.5mm H=GL+700mm	※スプリング付 ・スプリング無し		
	・図示			

33	建築銘板	(20. 2. 1)		
	建築銘板の設置等は、下記による。	・設置しない		
	(イ) 設置	○設置する		
	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ○アクリル樹脂板 (450×600×10)		
	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)		

34	リサイクル製品の 使用	(20. 2. 1)		
	(1) リサイクル製品は、「石川県リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。石川県リサイクル認定製品 ・使用する			
	(2) その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。			
	(3) 建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの) 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。			

35	伝統産業工芸品の 使用	(20. 2. 1)		
	使用箇所	製 品	備 考	
	・			
	・			
	・			

36	排水工 事	(20. 2. 1)		
	項 目	特 記 事 項		
	1	排水管	排水管用材料 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)	
		材 種	管の種類	管形状 (接合方法)
		※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管 (※1種 ・2種)	B形 (ゴム接合)
		○硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・VU	
		・野付硬質ポリ塩化ビニル3層管	※RS-VU	

37	排水樹及びふた	(21. 2. 1)		
	種 類	適用荷重	鍵	
	・水封形	・密閉形 (テーパ・パッキン式)	・T-2用	・あり
	・簡易気密形 (パッキン式)		・T-6用	・なし
	・中ふた付密閉形 (テーパ・パッキン式)		・T-20用	

38	グレーチングふた	(21. 2. 1)		
	材 質	形 式	種 類	適用荷重
	○鋼製	※受枠付き (横断)	○溝ふた用	※歩行用
	・ステンレス製	・	・溝ふた用	※細目
		ボルト固定	・樹ふた用	※普通目
		※無し	・樹ふた用	・細目
		・図示	・かさ上げ用	・凹凸形
			・U字溝用	・T-20用

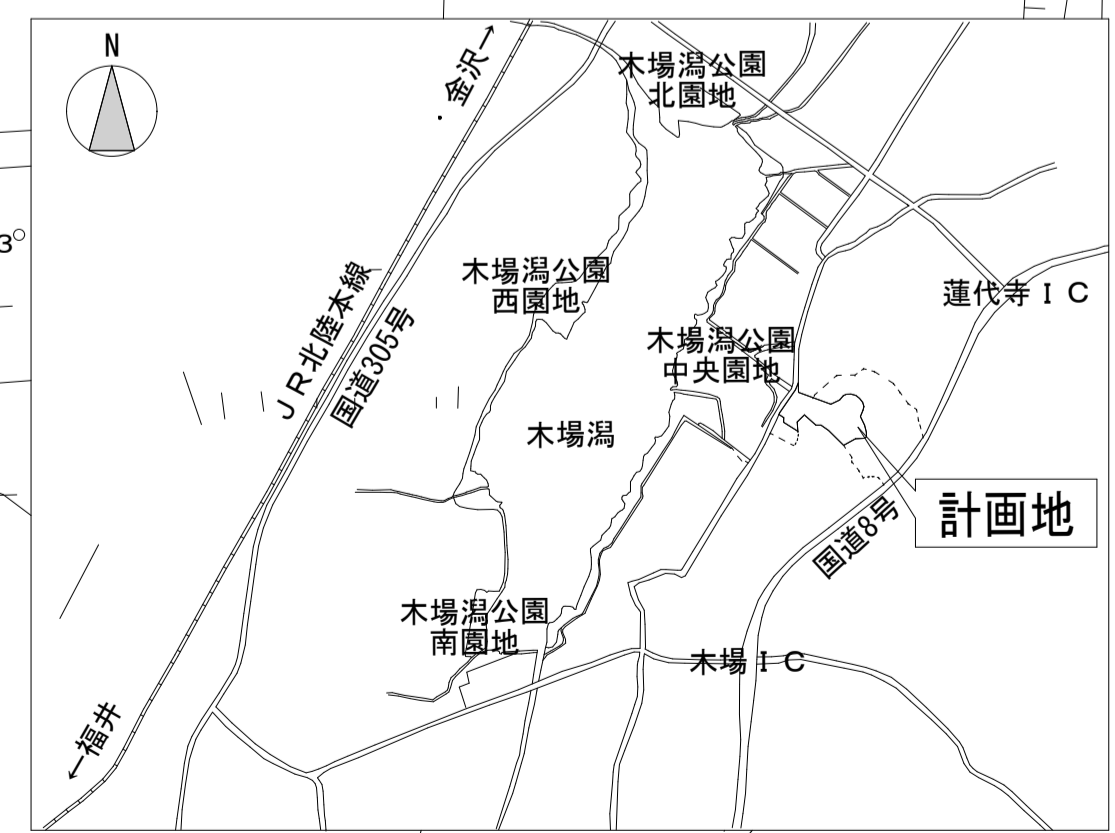
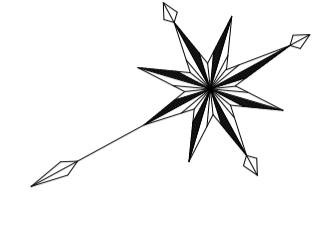
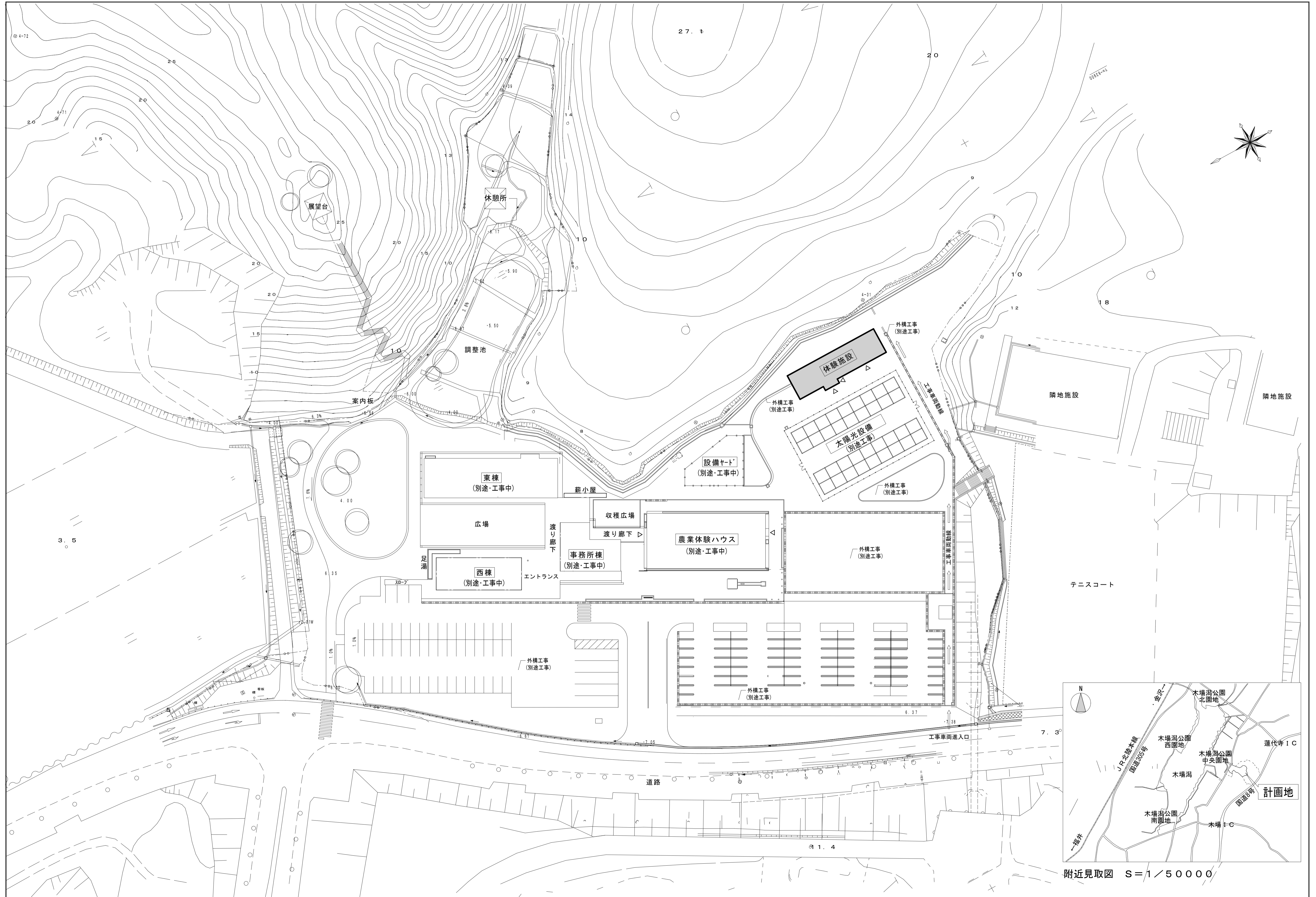
39	埋戻し土	(21. 2. 1)		
	※B種			

22 章 舗 装 工 事																																			
特 記 事 項																																			
1 盛土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G (22. 2. 3) (表3. 2. 1)																																		
2 凍上抑制層の材料	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 (22. 2. 3)																																		
3 路床	1) 路床安定処理 ※添加材料による安定処理 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 G ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m ³ (目標CBR ※5以上) ・ジオテキスタイルによる安定処理 ジオテキスタイルの品質 単位面積質量 60g/m ² 以上 厚さ(mm) 0. 5~1. 0 引張り強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水計数 1. 5×10cm ³ /sec以上 2) 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22. 2. 2) 車道部 ※150mm ・ () 歩道部 ※50mm ・ () 3) 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・乱さない土) (22. 2. 5) 4) 路床締固め度の試験 ※行う (22. 2. 5) 5) 砂の粒度試験 ※行う (22. 2. 5)																																		
4 路盤	1) 材料 G ※再生クラッシュラン (RC-40) (22. 3. 3) (表22. 3. 1) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) 2) 路盤の厚さ (22. 3. 3)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="4">路盤の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">車道部</th> <th colspan="2">歩道部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・300</td> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装</td> <td>・150</td> <td></td> <td></td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>カラー舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・300</td> </tr> <tr> <td>透水性アスファルト舗装</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・100</td> </tr> <tr> <td>インターロッキングブロック舗装</td> <td>・100</td> <td>・150</td> <td>・250</td> <td>・100</td> </tr> </tbody> </table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm)				車道部		歩道部		アスファルト舗装	・100	・150	・250	・300	コンクリート舗装	・150			・100	カラー舗装	・100	・150	・250	・300	透水性アスファルト舗装				・100	インターロッキングブロック舗装	・100	・150	・250	・100
舗装の種類	路盤の厚さ (mm)																																		
	車道部		歩道部																																
アスファルト舗装	・100	・150	・250	・300																															
コンクリート舗装	・150			・100																															
カラー舗装	・100	・150	・250	・300																															
透水性アスファルト舗装				・100																															
インターロッキングブロック舗装	・100	・150	・250	・100																															
	3) 路盤の締固め度試験 ※行う (22. 3. 5)																																		
5 アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ (22. 4. 2)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">部位</th> <th colspan="2">舗装の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <th>基層</th> <th>表層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車道部 (基層なし)</td> <td></td> <td>・50</td> </tr> <tr> <td>車道部 (基層あり)</td> <td>・50</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td></td> <td>・30</td> </tr> </tbody> </table>	部位	舗装の厚さ (mm)		基層	表層	車道部 (基層なし)		・50	車道部 (基層あり)	・50	・30	歩道部		・30																				
部位	舗装の厚さ (mm)																																		
	基層	表層																																	
車道部 (基層なし)		・50																																	
車道部 (基層あり)	・50	・30																																	
歩道部		・30																																	
	アスファルト ※再生アスファルト G ・ストレートアスファルト (22. 4. 3) 再生加熱アスファルト混合物の種類 (22. 4. 4) (表22. 4. 4)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>※寒冷地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表層</td> <td>※密粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>※密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・細粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	一般地域	※寒冷地域	表層	※密粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)		・細粒度アスファルト混合物 (13)																										
区分	一般地域	※寒冷地域																																	
表層	※密粒度アスファルト混合物 (13)	※密粒度アスファルト混合物 (13F)																																	
	・細粒度アスファルト混合物 (13)																																		
	シールコート ※行わない ・行う (施工範囲:) (22. 4. 5) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22. 4. 6)																																		
6 コンクリート舗装	早強セメント ※使用しない ・使用する (22. 5. 3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22. 5. 3) (表22. 5. 2) 溶接金網 ※有り ・無し (22. 5. 3) (22. 5. 4) 厚さ試験 ※行う ・行わない (22. 5. 6)																																		
7 カラー舗装	カラー舗装の種類 (22. 6. 2~4) (表22. 6. 1~2)																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">車道部の基層</th> <th rowspan="2">着色骨材等</th> <th colspan="2">カラー舗装の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <th>顔料の添加量等</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※アスファルト混合物</td> <td>※なし</td> <td>・有色骨材 (焼成)</td> <td>・5~7%</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・あり</td> <td>・着色骨材 (樹脂被覆)</td> <td>・ %</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・樹脂系混合物</td> <td></td> <td>・自然石</td> <td></td> <td>5~10</td> </tr> <tr> <td>・ニート工法</td> <td></td> <td>・エメリー</td> <td></td> <td>3~5</td> </tr> <tr> <td>・塗布工法</td> <td></td> <td>・着色磁器質骨材</td> <td></td> <td>1程度以下</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	車道部の基層	着色骨材等	カラー舗装の厚さ (mm)		顔料の添加量等	厚さ	※アスファルト混合物	※なし	・有色骨材 (焼成)	・5~7%	※50	・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材 (樹脂被覆)	・ %	・30	・樹脂系混合物		・自然石		5~10	・ニート工法		・エメリー		3~5	・塗布工法		・着色磁器質骨材		1程度以下		
種 類	車道部の基層				着色骨材等	カラー舗装の厚さ (mm)																													
		顔料の添加量等	厚さ																																
※アスファルト混合物	※なし	・有色骨材 (焼成)	・5~7%	※50																															
・石油樹脂系混合物	・あり	・着色骨材 (樹脂被覆)	・ %	・30																															
・樹脂系混合物		・自然石		5~10																															
・ニート工法		・エメリー		3~5																															
・塗布工法		・着色磁器質骨材		1程度以下																															
8 透水性アスファルト舗装	アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22. 7. 6)																																		

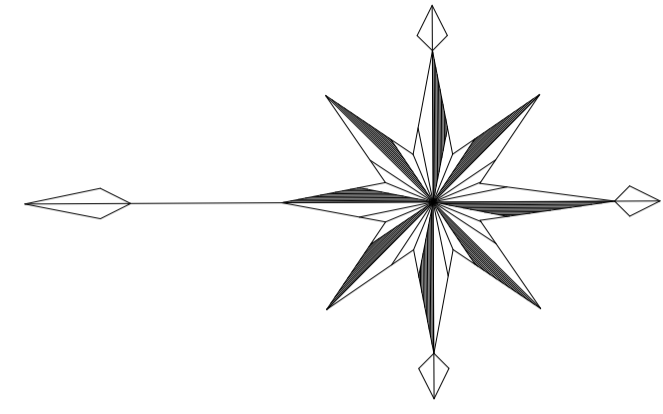
9 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>表面加工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通平板 (N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>・研ぎ出し ・洗い出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・モルタル</td> <td>・たたき出し</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	表面加工	※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	・研ぎ出し ・洗い出し	・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・たたき出し									
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	表面加工																					
※普通平板 (N)	※300角	※60	※砂	・研ぎ出し ・洗い出し																					
・透水平板 (P)	・	・	・モルタル	・たたき出し																					
	・インターロッキングブロック舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>曲げ強度</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面加工及び色彩等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通タイプ</td> <td>5N/mm²以上</td> <td>車道部 ※80</td> <td>※標準タイプ</td> </tr> <tr> <td>・誘導、注意喚起用タイプ</td> <td></td> <td>歩道部 ※60</td> <td>・表面化粧タイプ</td> </tr> <tr> <td>・透水性タイプ</td> <td>3N/mm²以上</td> <td></td> <td>誘導、注意喚起用は</td> </tr> <tr> <td>・植生タイプ</td> <td>4N/mm²以上</td> <td>※100</td> <td>・80</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>黄色とする</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	曲げ強度	厚さ (mm)	表面加工及び色彩等	※普通タイプ	5N/mm ² 以上	車道部 ※80	※標準タイプ	・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 ※60	・表面化粧タイプ	・透水性タイプ	3N/mm ² 以上		誘導、注意喚起用は	・植生タイプ	4N/mm ² 以上	※100	・80				黄色とする
種 類	曲げ強度	厚さ (mm)	表面加工及び色彩等																						
※普通タイプ	5N/mm ² 以上	車道部 ※80	※標準タイプ																						
・誘導、注意喚起用タイプ		歩道部 ※60	・表面化粧タイプ																						
・透水性タイプ	3N/mm ² 以上		誘導、注意喚起用は																						
・植生タイプ	4N/mm ² 以上	※100	・80																						
			黄色とする																						
	製造所 JIS A 5371Iによる。																								
	・舗石舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基 層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※小舗石 (花こう岩)</td> <td>※80~100</td> <td>※うろこ張り</td> <td>※コンクリート舗装</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アスファルト舗装</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層	※小舗石 (花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装	・	・	・	・アスファルト舗装												
種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層																						
※小舗石 (花こう岩)	※80~100	※うろこ張り	※コンクリート舗装																						
・	・	・	・アスファルト舗装																						
	路面表示用塗料																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>種 類</th> <th>施工時の条件</th> <th>適 用</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>色 彩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">JIS K 5665</td> <td>・1種 G</td> <td>常 温</td> <td>液 状</td> <td>幅 ※150</td> <td>※ 白</td> </tr> <tr> <td>・2種 G</td> <td>加 熱</td> <td></td> <td>厚さ ※1. 0</td> <td>・ 黄</td> </tr> <tr> <td>・3種 1号</td> <td>溶 融</td> <td>粉 体 状</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規格番号	種 類	施工時の条件	適 用	寸法 (mm)	色 彩	JIS K 5665	・1種 G	常 温	液 状	幅 ※150	※ 白	・2種 G	加 熱		厚さ ※1. 0	・ 黄	・3種 1号	溶 融	粉 体 状				
規格番号	種 類	施工時の条件	適 用	寸法 (mm)	色 彩																				
JIS K 5665	・1種 G	常 温	液 状	幅 ※150	※ 白																				
	・2種 G	加 熱		厚さ ※1. 0	・ 黄																				
	・3種 1号	溶 融	粉 体 状																						
	揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。																								
	23 章 植 栽 工 事																								
	特 記 事 項																								
1 土壌の酸度、塩分量試験	※行う (23. 1. 3)																								
2 樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>適 用</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※行う ・行わない</td> <td>※20</td> <td>※B種</td> <td>※植栽範囲 ・図示</td> </tr> </tbody> </table>	適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示																
適 用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲																						
※行う ・行わない	※20	※B種	※植栽範囲 ・図示																						
	樹木 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>樹木の樹高 (m)</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>※A種</td> <td>※葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>・B種</td> <td>ただし、低木は植栽範囲</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>・C種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲	・12以上	※100	※A種	※葉張りの範囲	・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲	・3以上~7未満	※60	・C種	・図示	・3未満	※50	・D種					
樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲																						
・12以上	※100	※A種	※葉張りの範囲																						
・7以上~12未満	※80	・B種	ただし、低木は植栽範囲																						
・3以上~7未満	※60	・C種	・図示																						
・3未満	※50	・D種																							
	工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。																								
3 植込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土 (※畑土 ・黒土) (23. 2. 3)																								
4 土壌改良材 G	※適用する (23. 2. 3) (23. 2. 4)																								
	施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 ・パークたい肥 有機物の含有量 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5. 5~7. 5 水分 : 55~65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常が認められない 窒素全量 (現物) : 0. 5%以上 リン酸全量 (現物) : 0. 2%以下 カリ全量 (現物) : 0. 1%以上 ・発酵下水汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。 ひ素 : 0. 005%以下 カドミウム : 0. 0005%以下 水銀 : 0. 0002%以下 ニッケル : 0. 03%以下 クロム : 0. 05%以下 鉛 : 0. 01%以下 有機物の含有量 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8. 5以下 水分 : 50%以下 窒素全量 (現物) : 0. 8%以上 リン酸全量 (現物) : 1. 0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下																								
5 支柱材	※丸太又は間伐材 G ・竹 (23. 3. 2)																								
6 幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23. 3. 2)																								
7 芝張り種類	※こらい芝 ・野芝 (23. 4. 2)																								
8 枯補償	提出すること。																								
9 吹付けは種	種子の種類 ※洋芝類又はクローバー (採取後2年以内) (23. 4. 2) 種子の量 ※発芽率80%以上																								
10 屋上緑化 G	植栽基盤及び材料 (23. 5. 2) (23. 5. 3)																								
	・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 保水・排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数、寸法等 ※図示 ・屋上緑化軽量システム (23. 5. 3) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 (23. 5. 4) 固定方法は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を1. 2. 2 (施工計画書) による品質計画で定める。 支柱 ・設置する (種類 ・図示) かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)																								

24 章 そ の 他	
特 記 事 項	
① いしかわ週休2日工事	1) 適用 工事現場において週休2日に取り組み「いしかわ週休2日工事」(以下、「週休2日工事」という。)の適用については、次のとおりとする。 ※ 対象 ・ 対象外 2) 週休2日工事の内容 (1) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組みことを記載した工事看板を設置すること。 (2) 受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を工事工程表(様式2を標準とする)に記入し、監督員に提出・共有すること。 (3) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は工事工程表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工期最終日までに、工事工程表に実施工程を記入し、監督員に提出すること。 (5) 週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室HPの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 (6) 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 (7) 受注者は、発注者が必要と認めた場合、別に定めるアンケート調査に協力すること。 (8) 当初設計において、週休2日(4週8休以上、現場閉所率28. 5%(8日/28日)以上)を前提に補正係数1. 05により労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を補正している。 (9) 発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、4週8休に満たない場合は、(8)の補正分を減額する。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。 1) 余裕期間制度対象工事の内容 (1) 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式) 試行要領に基づき実施するものとする。 (2) 受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 (3) 受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 (4) 工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 (5) 受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 (6) 受注者は、着工日までの余裕期間内に工事(工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。)に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 (7) 受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任(監理)技術者の配置を要しない。 (8) 受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 (9) 余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 (10) その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式) 試行要領によるものとする。 (着工日の期限) 契約締結日から起算して〇ヶ月以内 (完成日の期限) 令和〇年〇月〇日以内
2 余裕期間制度試行工事	

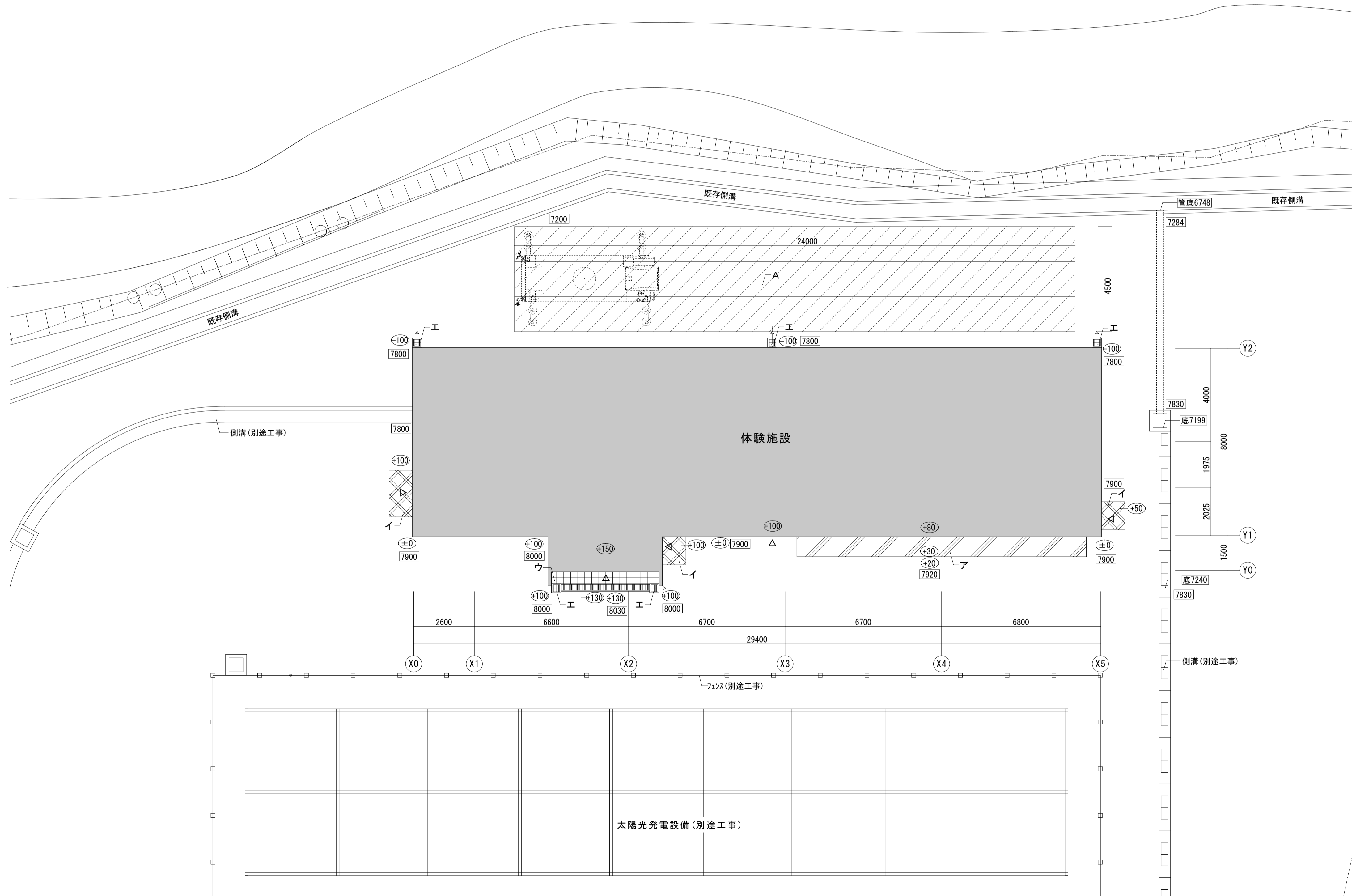
設計	工事名 木場潟公園東園地体験施設建設工事(建築)
石川県土木部営繕課	図面名 建築工事仕様書 その7
	図面番号 A-07



附近見取図 S=1/50000



総括表		
地名・地番	小松市三谷町 地内	
用途地域	指定なし (市街化調整区域)	
防火指定	未指定	
主要用途	車庫、事務所	
敷地面積	166,801.65m ²	50,457.49坪
建築面積	245.28m ²	74.19坪
床面積	1階	238.89m ² 72.26坪
	2階	26.80m ² 8.11坪
	合計	265.69m ² 80.37坪
延べ面積	265.69m ²	80.27坪
駐車場面積	108.00m ²	32.67坪
容積率算定床面積	212.55m ²	64.30坪

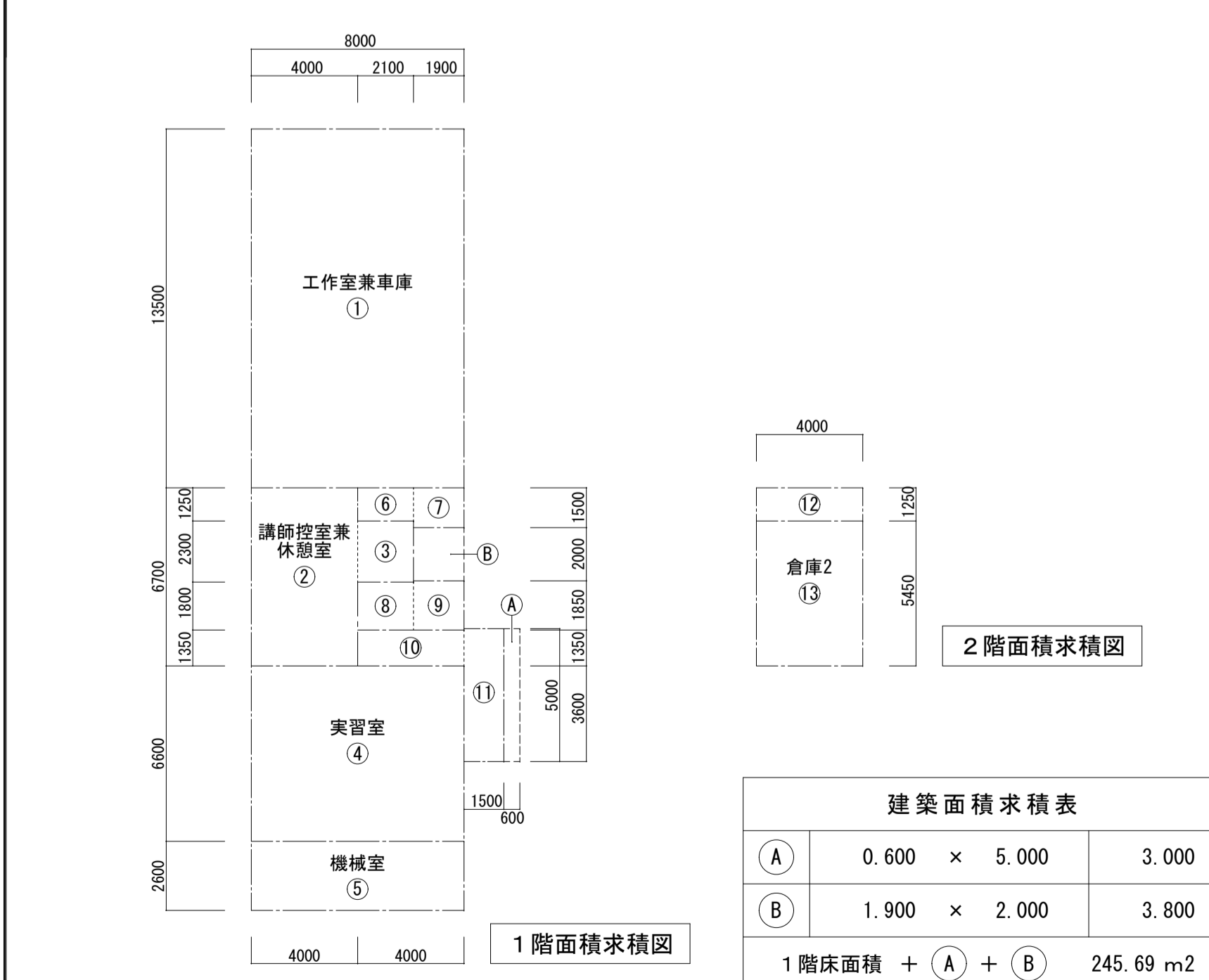


指定仮設 凡例	
A	仮設敷鉄板 5×20 t22 敷き範囲 108.00㎡

外構工事 凡例	
ア	車庫前: t150土間コンクリート刷毛引き仕上 (部分詳細参照)
イ	出入口口前: t120土間コンクリート刷毛引き仕上 (部分詳細参照)
ウ	風除室前: t120土間コンクリート下地300角タイル貼 (部分詳細参照)
エ	排水樹 300×300 B種
オ	設備用コンクリート基礎: t120土間コンクリート刷毛引き仕上 (部分詳細参照)
	排水管VP100埋設(端部キャップ止)
	コンクリートU字溝W240: U字溝用亜鉛メッキ細目グレーチング W240用
	別途土木工事仕上り高さ 標高高さ
	設計GL、本工事仕上り高さ 設計GL=標高7900 [7900]

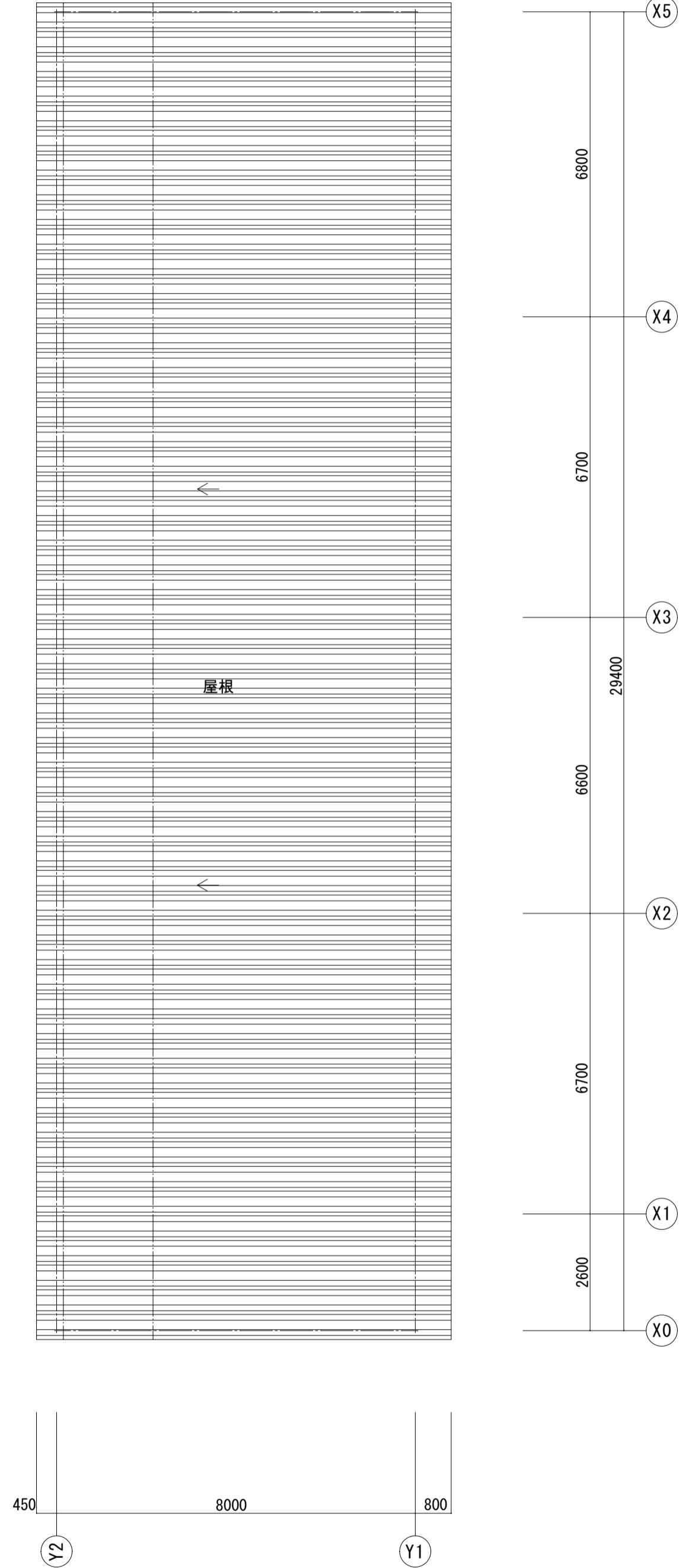
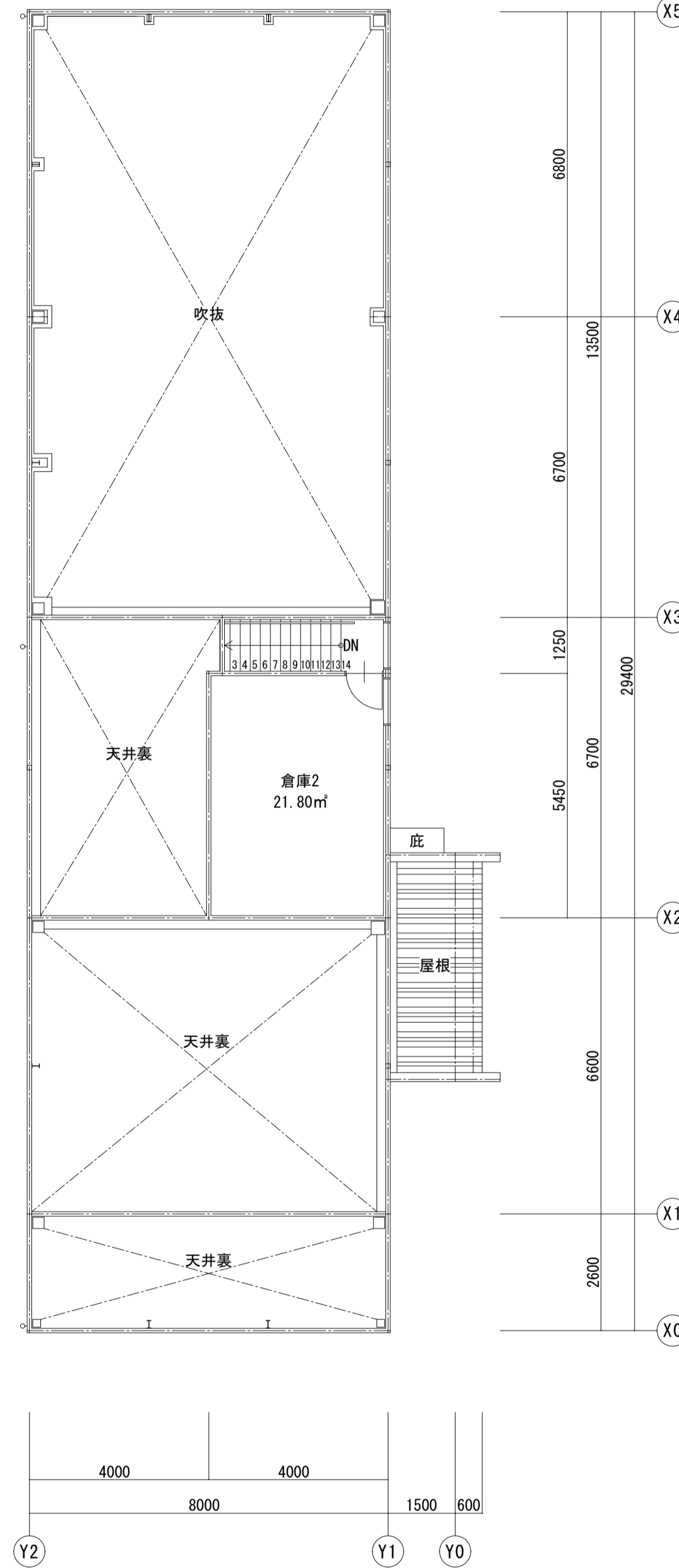
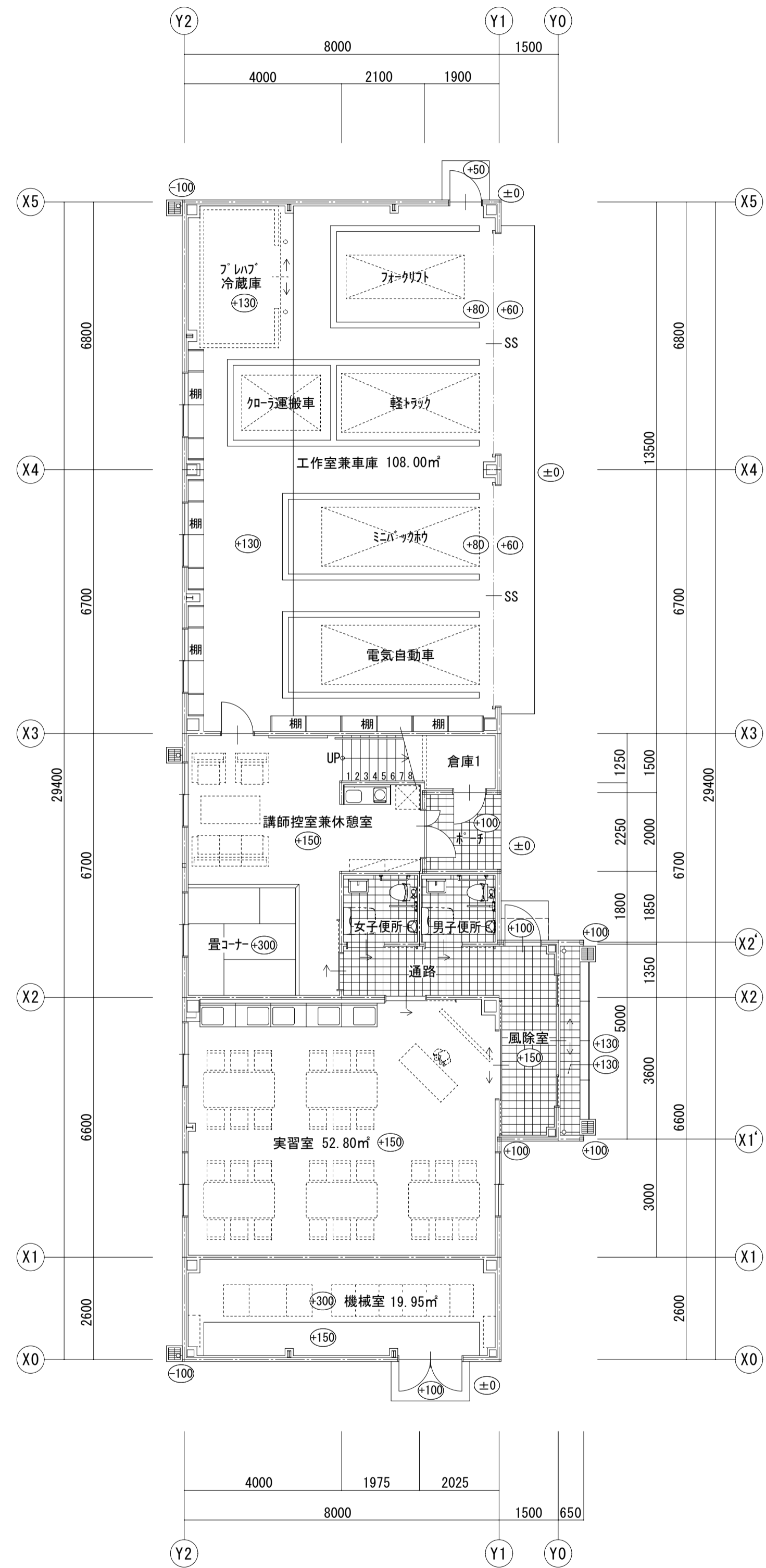
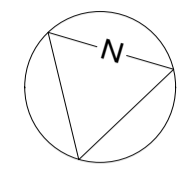
外部仕上表								
名称	仕上	品名	備考	名称	仕上	品名	備考	内装仕様
屋根	t 0.8カラーガルバリューム鋼板丸馳折版Ⅱ型葺 (裏面 t 0.4不燃ヘフ貼)		雪止金物(L-50×50×6亜鉛メッキ品)2段	水切	t 0.4 カラーガルバリューム鋼板曲げ加工			不燃・準不燃番号 t 6.8 ケイカル板 — 不燃 NM-8578 CD登載
屋根 (風除室)	t 0.8カラーガルバリューム鋼板丸馳折版Ⅱ型葺 (裏面 t 0.4不燃ヘフ貼)		雪止金物(L-50×50×6亜鉛メッキ品)1段	軒先見切縁	7ℓ≒70×35			t 12.5シーリングボード (防水PB) — 不燃 NM-9639 CD登載
外壁	t 12.5石膏ボード下地透湿防水シート貼 t 0.4カラーガルバリューム鋼板スハントレール(6山)貼			庇	7ℓ≒既製品D=600			t 12.5石膏ボード (GB-R) — 不燃 NM-8619 CD登載
外壁 (風除室)	透湿防水シート貼木胴縁18×45@455下地 堅羽目板貼 県産ヒバ t 18×巾150(上小節)木材保護塗料塗			断熱	講師控室、実習室床下 : t 50 ㊦スチレンフォーム敷 講師控室、実習室外壁面、2階倉庫内壁面 : t 50 グラスウール充填 (24kg品) 講師控室、実習室天井裏 : t 100 グラスウール敷き (24kg品)			t 9.5化粧石膏ボード (GB-D) — 準不燃 QM-9824 CD登載 t 9.5化粧石膏吸音ボード (GB-P) — 準不燃 QM-9822 CD登載
根廻	t 12塗装合板コンクリート打放し 撥水材塗布			外構 出入り口前床 車庫前床 風除室前	t 120土間コンクリート刷毛引き仕上目地切			t 12.5強化石膏ボード (GB-F) — 不燃 NM-8615 CD登載
軒樋	折版用カラー塩ビ樋樋 W=120(亜鉛メッキ摺り金物)				t 150土間コンクリート刷毛引き仕上目地切			ビニルクロス全て SG-5729不燃品 — 不燃NM-1096 CD登載
縦樋	カラー塩ビ縦樋φ60(亜鉛メッキ摺り金物)				t 120土間コンクリート下地300角磁器質タイル貼			不燃 t 9.5化粧石膏ボード (GB-NC) — 不燃 NM-1864 CD登載 t 0.8カラーガルバリューム鋼板に t 0.4不燃ヘフ貼 — NM-8673
笠木	7ℓ≒笠木W=250							
ケラバ	t 0.8カラーガルバリューム鋼板曲げ加工							

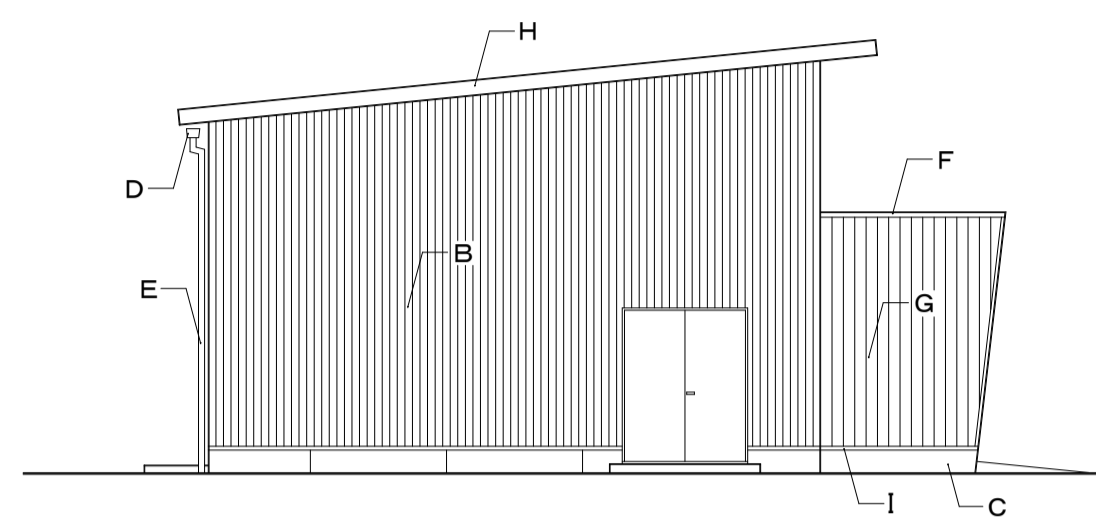
内部仕上表																		
室名	床			巾木		腰壁			上壁		廻縁		天井			備考	室名	
	仕上	下地	設計図からの仕上高さ	仕上	高さ	仕上	下地	高さ	仕上	下地	仕上	寸法	仕上	下地	天井高			
風除室 通路	300角磁器質タイル貼	土間コンクリート	+150	磁器質タイル貼	100	▷			t 12.5石膏ボード下地 EP-G塗	LGS	塩ビ廻縁		t 9.5化粧吸音石膏ボード貼	LGS	2350		風除室 通路	
男子便所 女子便所	△	△	+150	△	△	t 12.5シーリングボード下地 t 6化粧ケイカル板貼		FL+1000	t 12.5シーリングボード下地 EP-G塗	△	△		△	△	2350	手摺、跳上手摺 ペビシート、ペビシート、鏡	男子便所 女子便所	
倉庫1	防塵塗装仕上	土間コンクリート金罫押え	+150	コンクリート打放し	100	▷			t 8.0ケイカル板貼 EP-G塗	△	△		t 9.5化粧石膏ボード貼	△			階段下倉庫	
工作室兼車庫	防塵塗装仕上	土間コンクリート金罫押え	+130~+80	△	100~150	▷			△	△	△		天井777㉿	—			工作室兼車庫	
講師控室兼 休憩室	t 2.5長尺塩ビシート貼 一部木軸の上t12㉿合板下地 t 55㉿畳敷	△	+150 +300	ビニル巾木	60	▷			t 12.5石膏ボード下地ビニルクロス貼	△	△		t 9.5化粧吸音石膏ボード貼 (一部ビニルクロス貼)	LGS	2350, 2600	ミニキッチン、ホワイトボード	講師控室兼 休憩室	
実習室	t 2.5長尺塩ビシート貼	土間コンクリート金罫押え	+150	△	△	▷			t 12.5石膏ボード下地ビニルクロス貼	△	△		t 9.5化粧吸音石膏ボード貼	△	2600	ライニング	実習室	
機械室	防塵塗装仕上	△	+150 +300	ビニル巾木 コンクリート打放し	60 150	▷			t 8.0ケイカル板貼 EP-G塗	△	△		不燃 t 9.5化粧石膏ボード貼	△	2950, 3100		機械室	
階段	t 2.5長尺塩ビシート貼	コンクリート金罫押え		ビニル巾木	60	▷			t 12.5石膏ボード下地ビニルクロス貼	△	△		t 9.5化粧石膏ボード貼	△			階段	
倉庫2	防塵塗装仕上	△	2FL±0	ビニル巾木	60	▷			t 12.5石膏ボード下地 EP-G塗	△	塩ビジョイナー		△	△	1850~2200		2階倉庫	



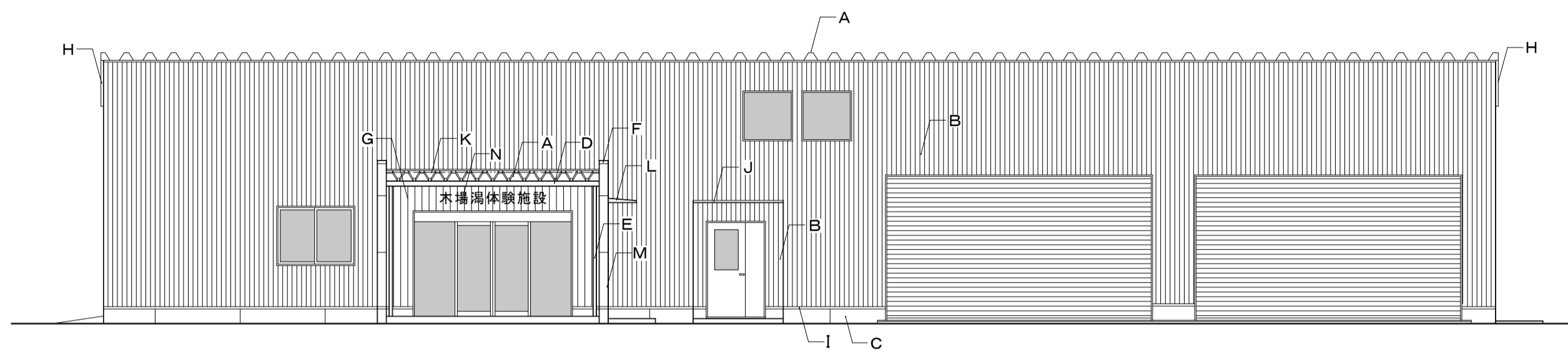
室名	符号	計算式	面積	室面積
工作室兼車庫	①	8.000 × 13.500	108.00	108.00
講師控室兼 休憩室	②	4.000 × 6.700	26.800	31.63
	③	2.100 × 2.300	4.830	
	④	8.000 × 6.600	52.800	
実習室	④	8.000 × 6.600	52.800	52.80
機械室	⑤	8.000 × 2.600	20.800	20.80
倉庫1	⑥	2.100 × 1.250	2.625	5.47
	⑦	1.900 × 1.500	2.850	
便所	⑧	2.100 × 1.800	3.780	7.29
	⑨	1.900 × 1.850	3.515	
通路	⑩	4.000 × 1.350	5.400	5.40
風除室	⑪	1.500 × 5.000	7.500	7.50
1階床面積			238.89 m ²	
階段	⑫	1.250 × 4.000	5.000	5.00
倉庫2	⑬	5.450 × 4.000	21.800	21.80
2階床面積			26.80 m ²	
延べ床面積			265.69 m ²	

符号	計算式	面積
A	0.600 × 5.000	3.000
B	1.900 × 2.000	3.800
1階床面積 + A + B		245.69 m ²

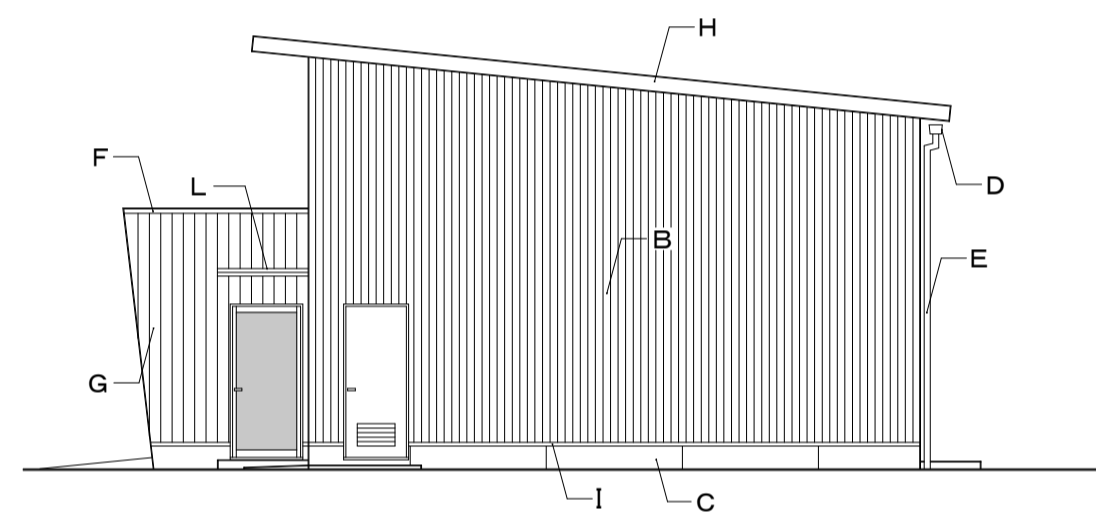




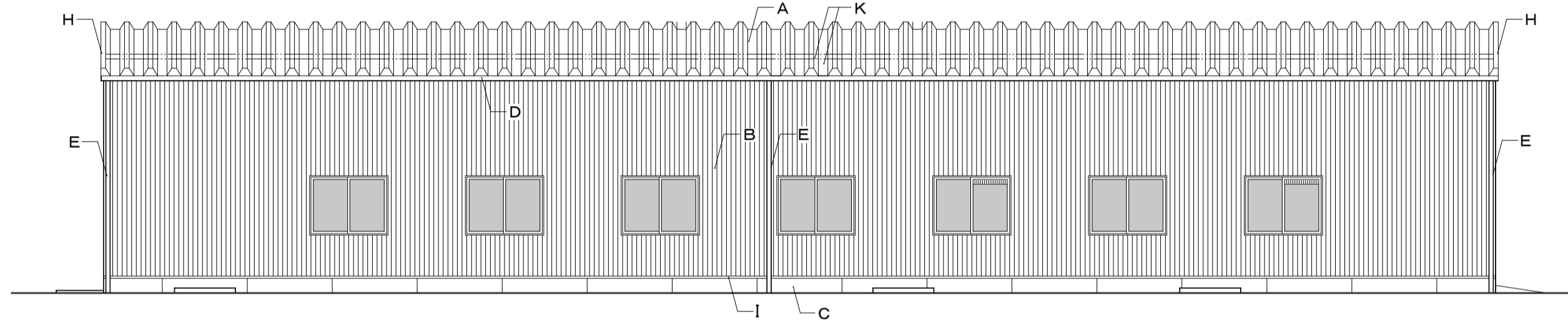
北立面図



西立面図

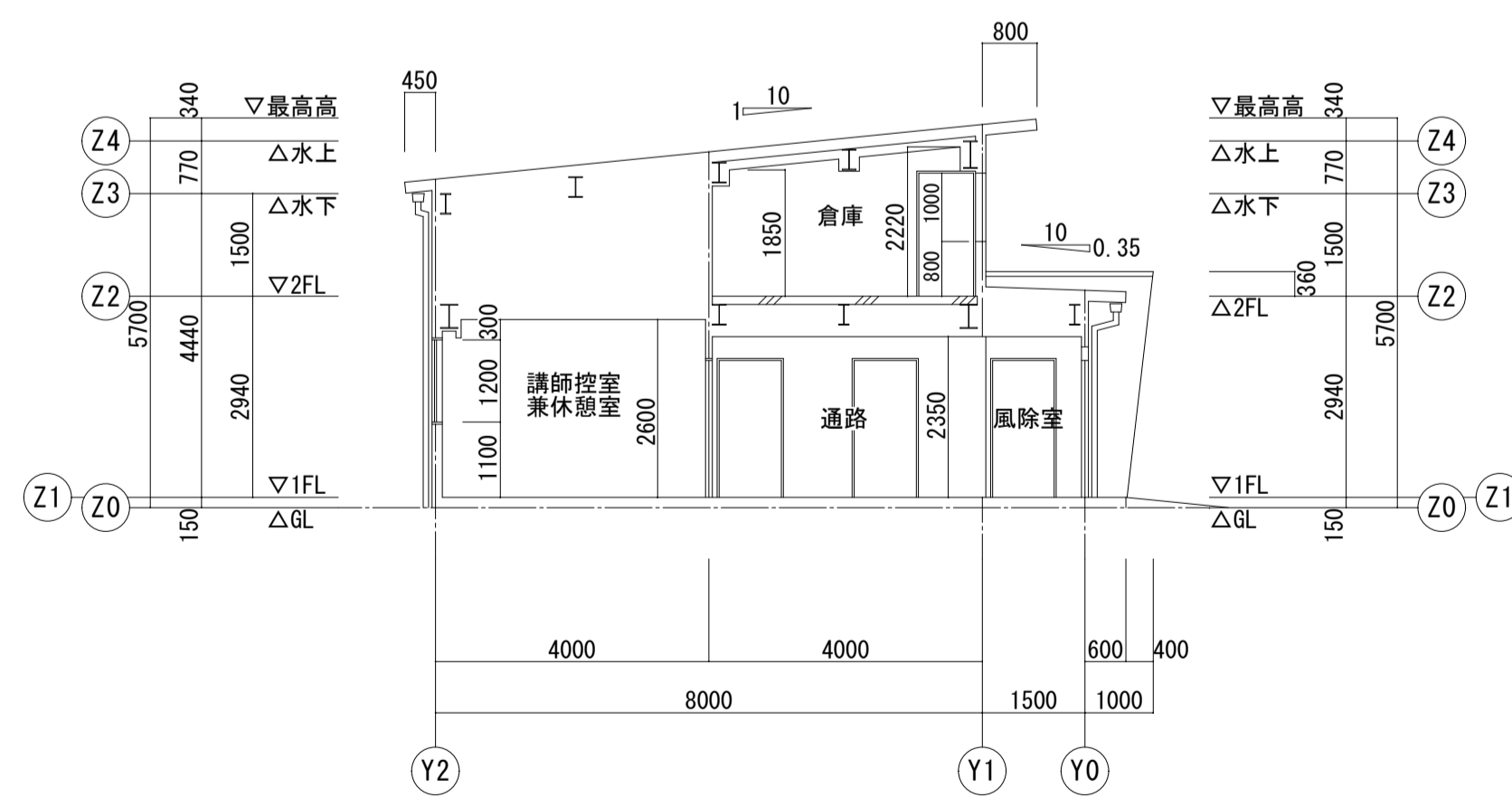


南立面図

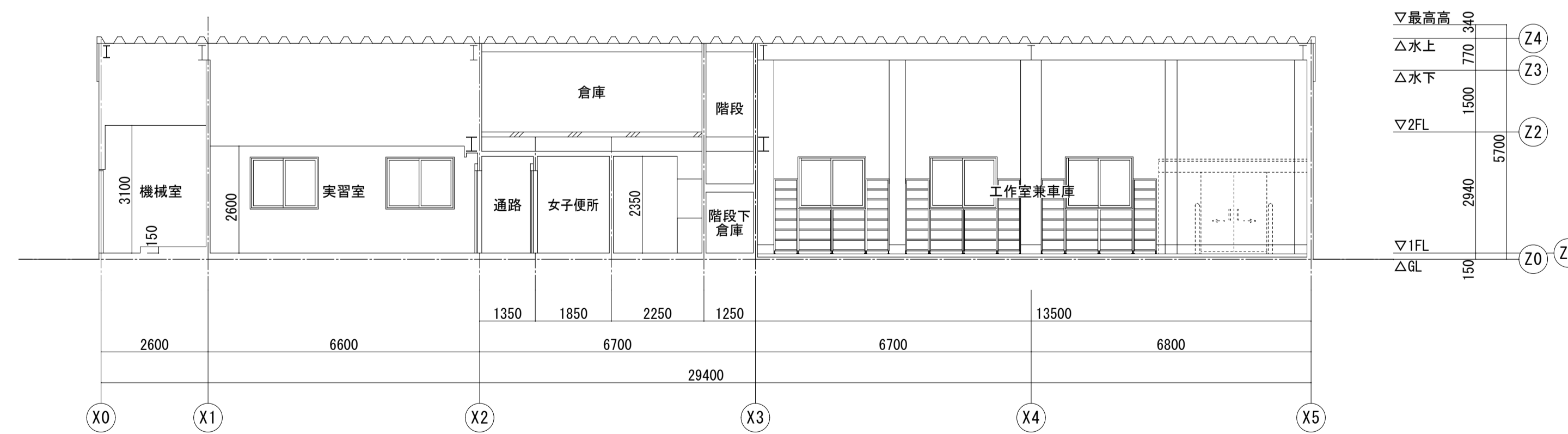


東立面図

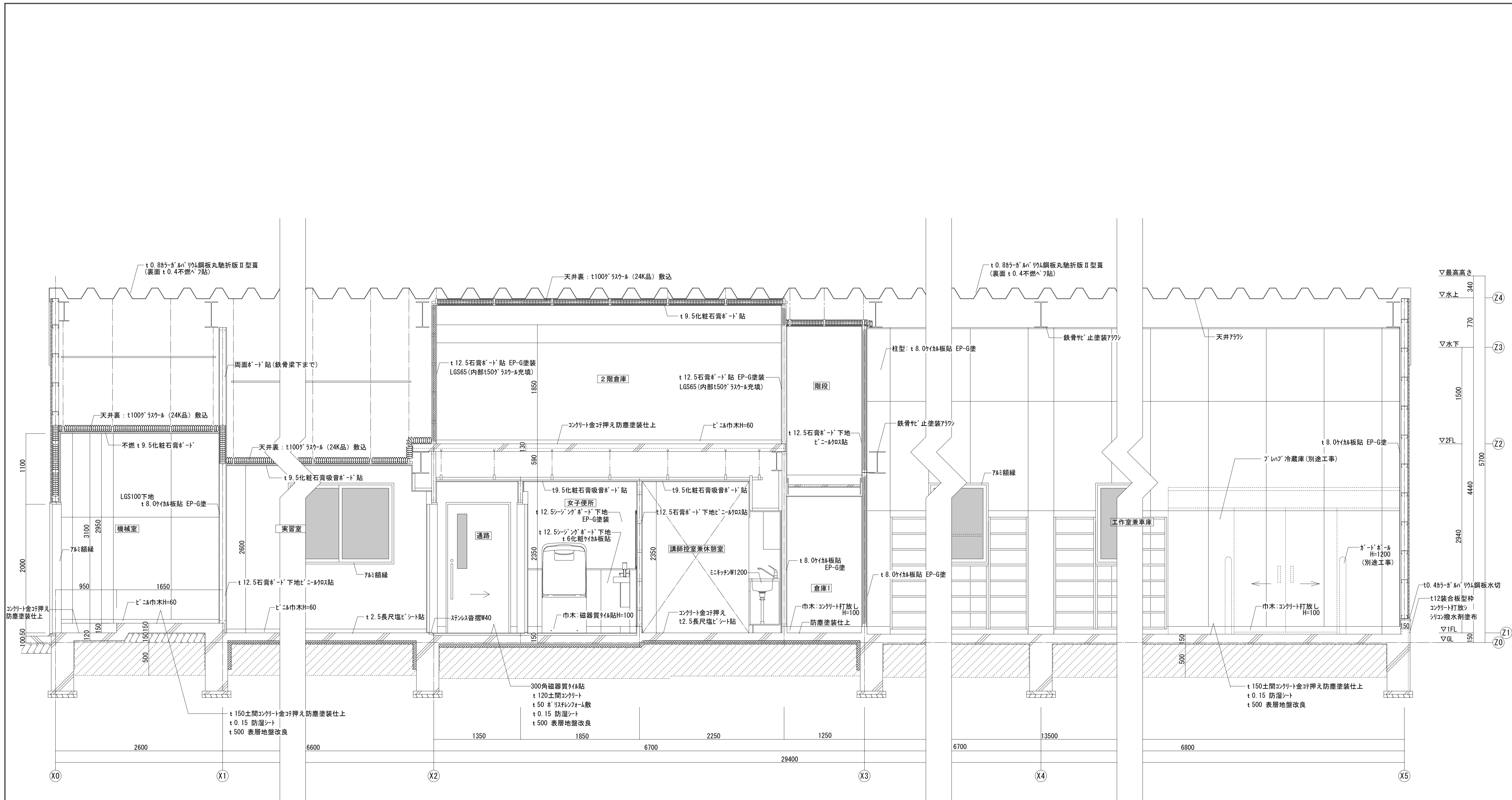
外部仕上げ 凡例	
A	屋根：t0.8 ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘﾝｸﾞ鋼板丸馳折版II型葺
B	外壁：t0.4ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘﾝｸﾞ鋼板ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾙ貼（6山）
C	根廻：塗装合板ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 撥水材吹付
D	折版用ｶﾞｰﾝﾄﾞ 箱樋 W=120（亜鉛メッキ摺り金物）
E	ｶﾞｰﾝﾄﾞ 縦樋 φ60（亜鉛メッキ摺り金物）
F	笠木：7x3 笠木W=250
G	豎羽目板貼 県産ﾄﾊﾞ ﾄ18x巾150（上小節） 木材保護塗料塗
H	ｸﾗﾊﾞ：t0.8ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘﾝｸﾞ鋼板曲げ加工
I	水切：t0.4 ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘﾝｸﾞ鋼板曲げ加工
J	軒先見切縁：7x370x35
K	雪止金物：L-50x50x6 亜鉛メッキ
L	庇：7x3既製品D=600
M	小口：t0.8ｶﾞﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘﾝｸﾞ鋼板曲げ加工ﾊﾞｯﾄﾙW=180
N	館名ﾀｲﾌﾟ（ﾀｲﾌﾟ図参照）

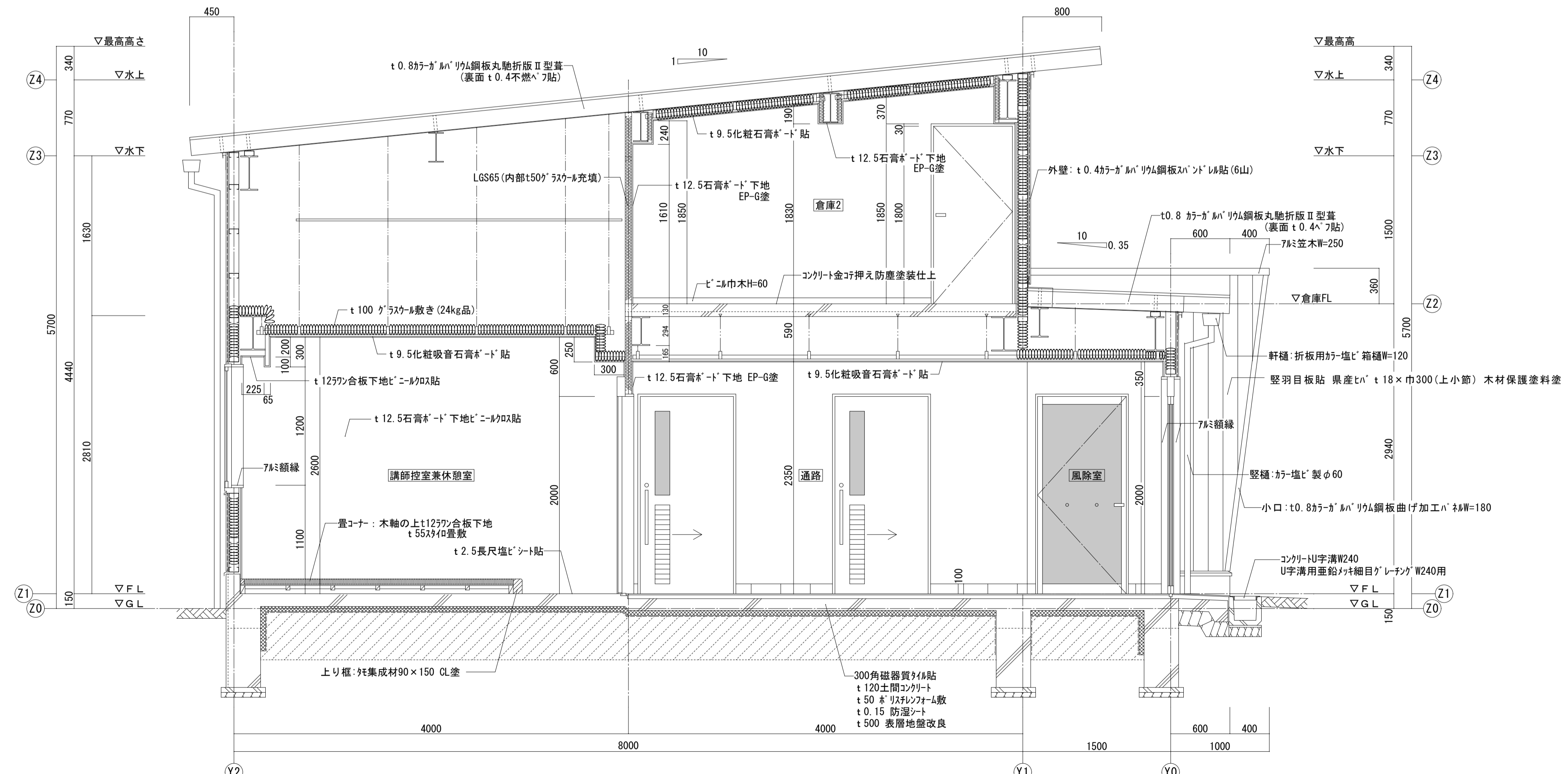
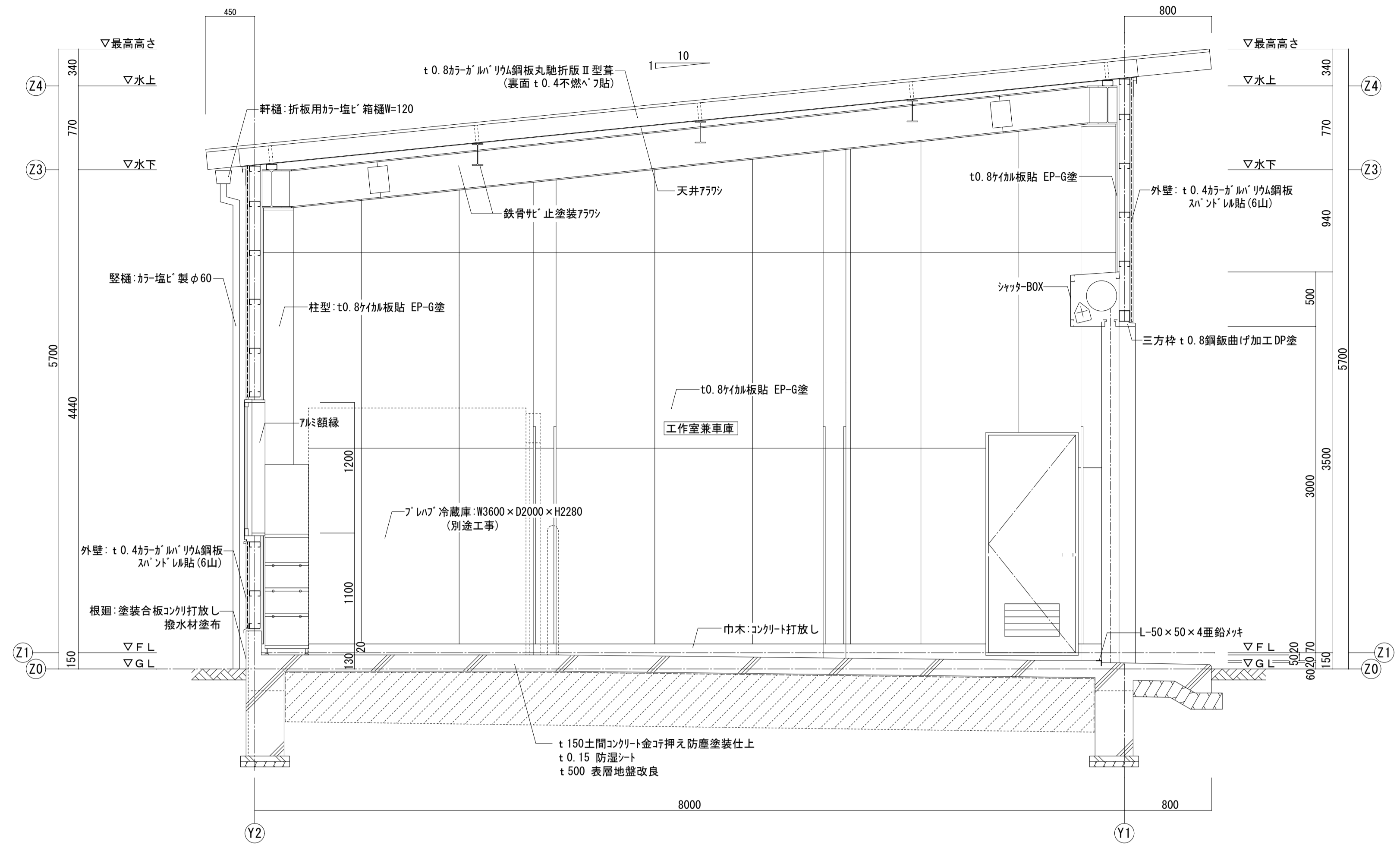


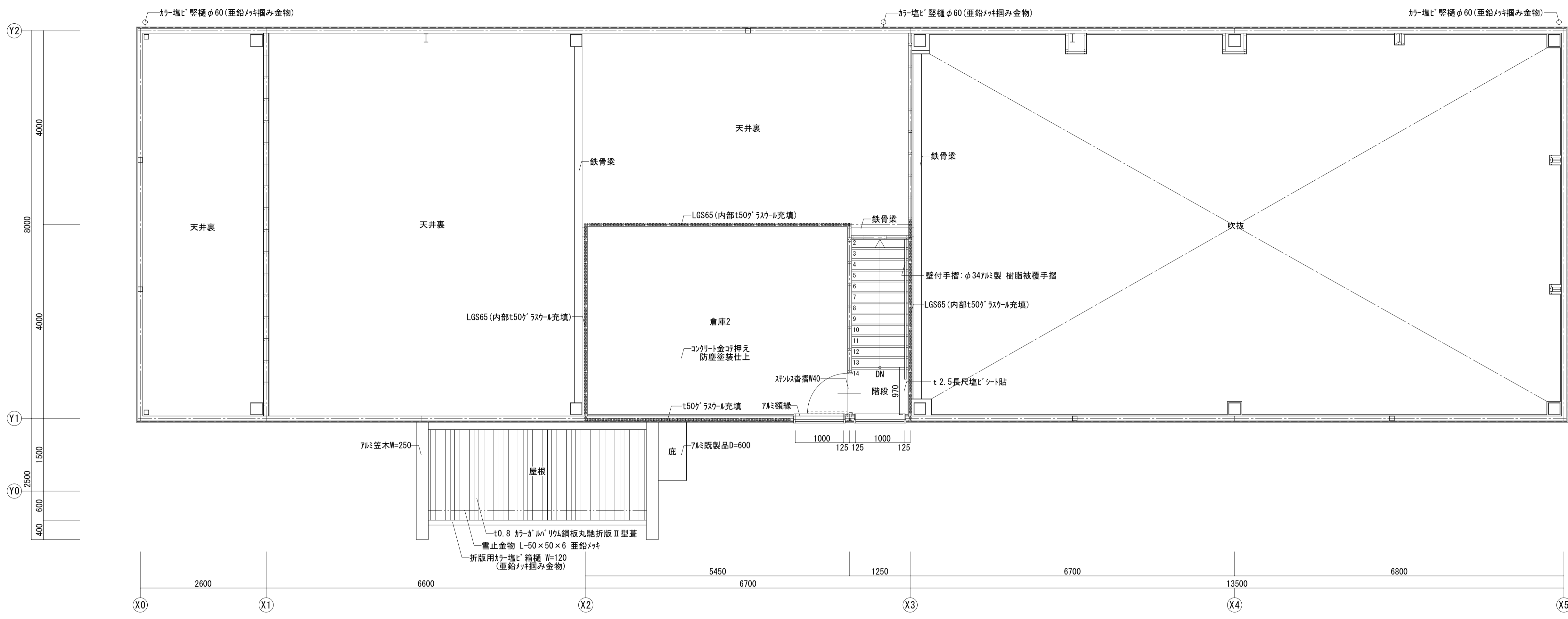
断面図 1



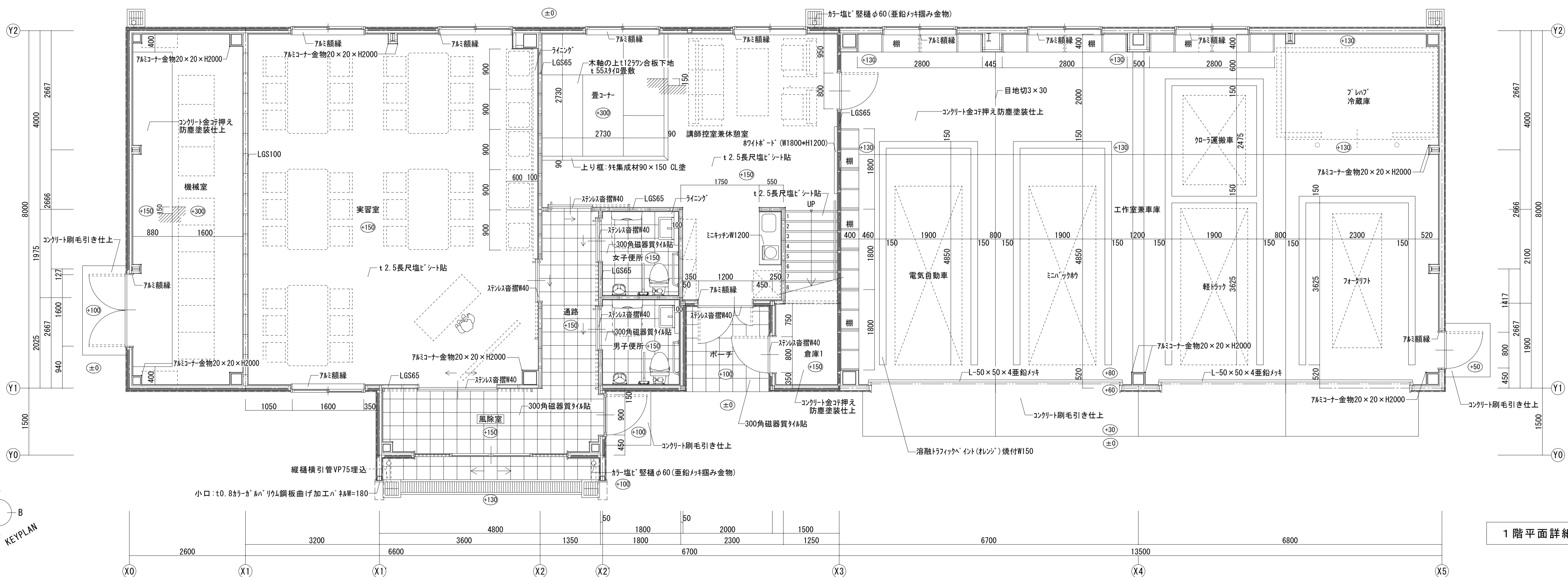
断面図 2



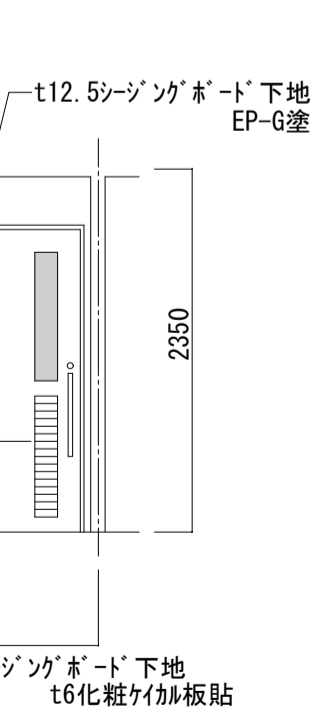
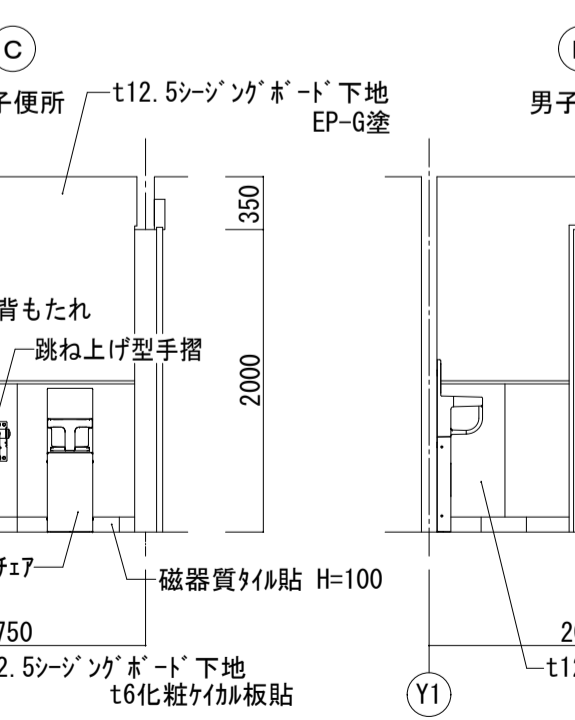
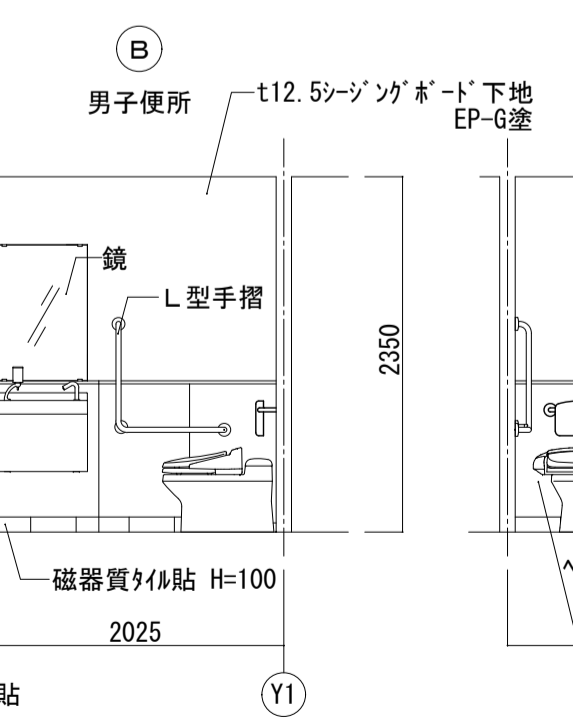
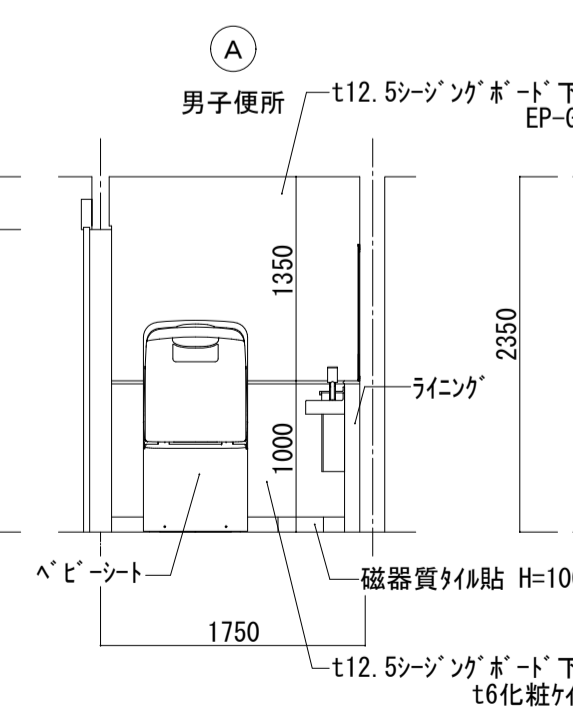
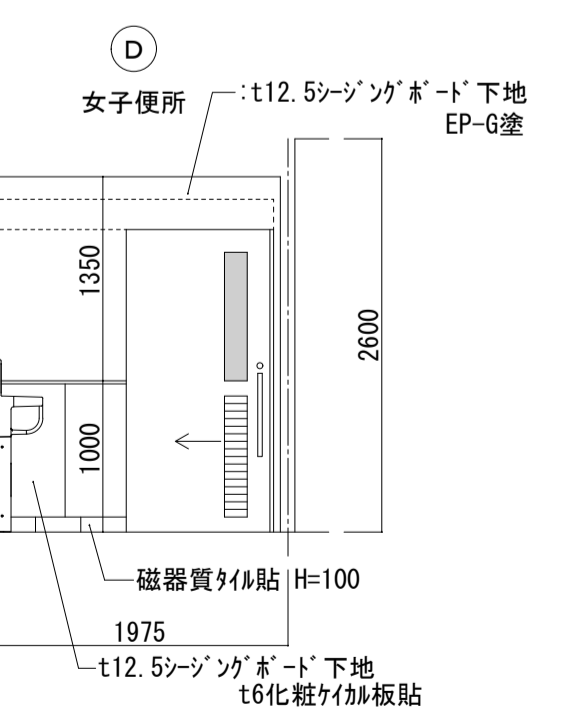
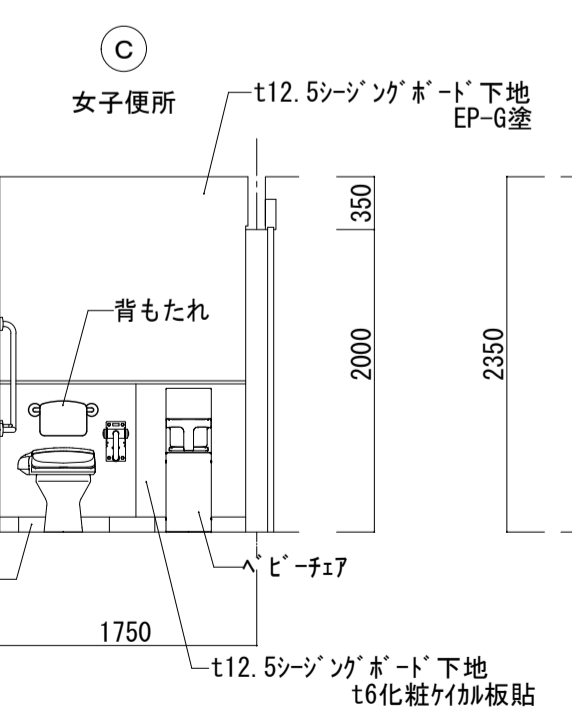
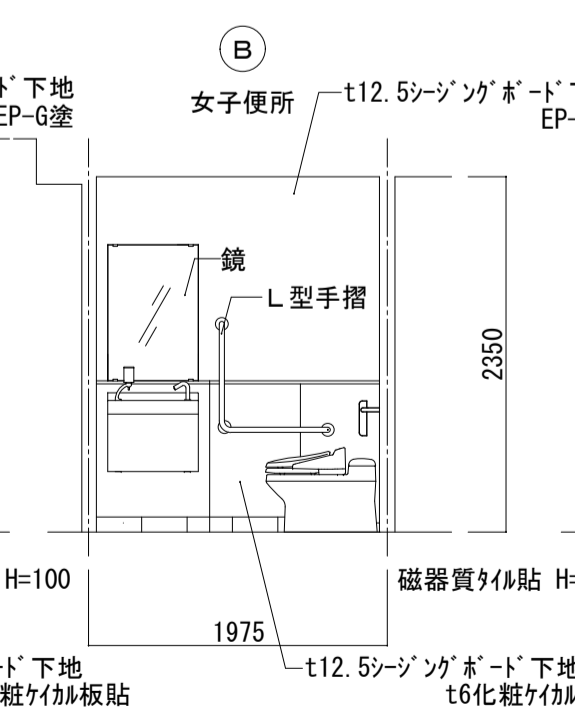
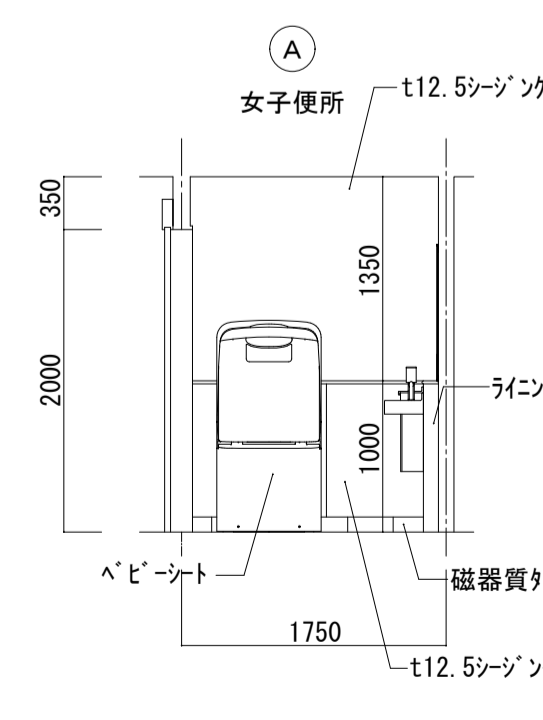
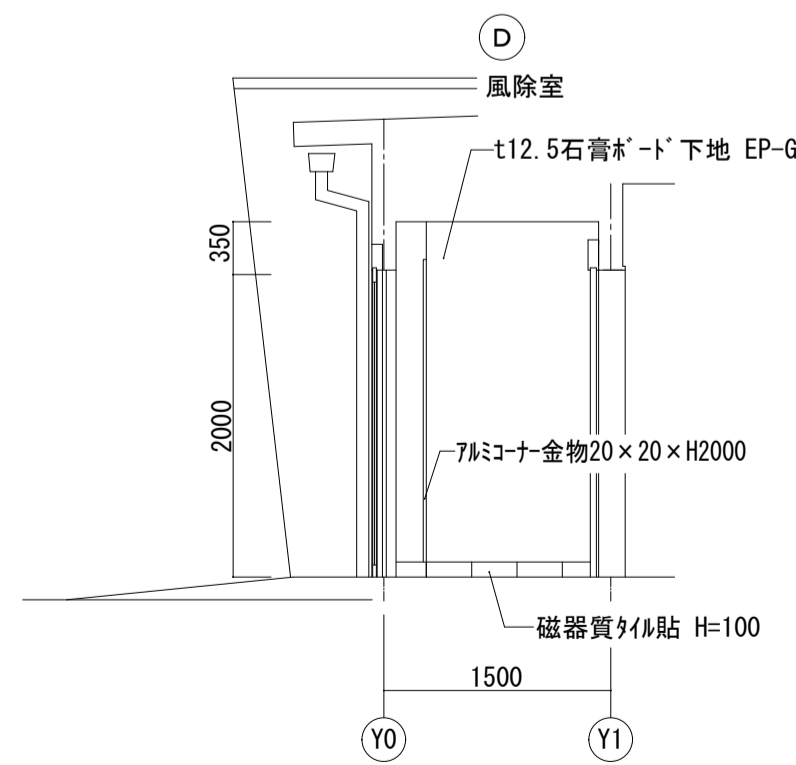
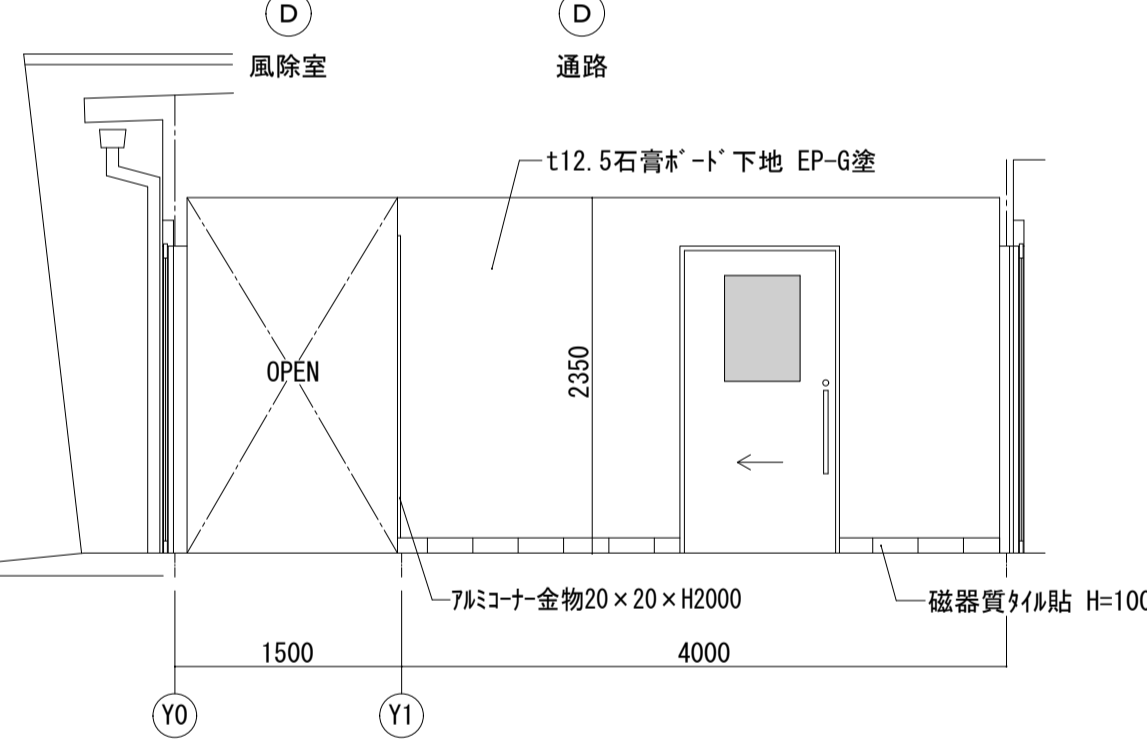
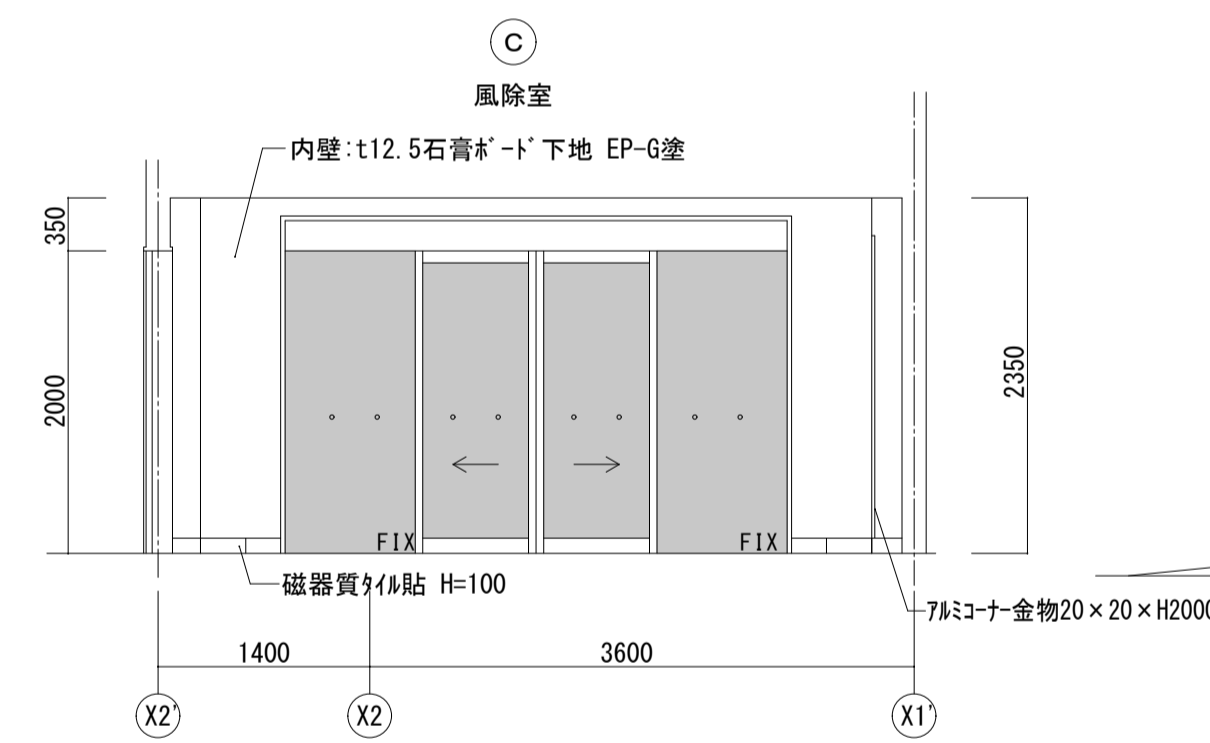
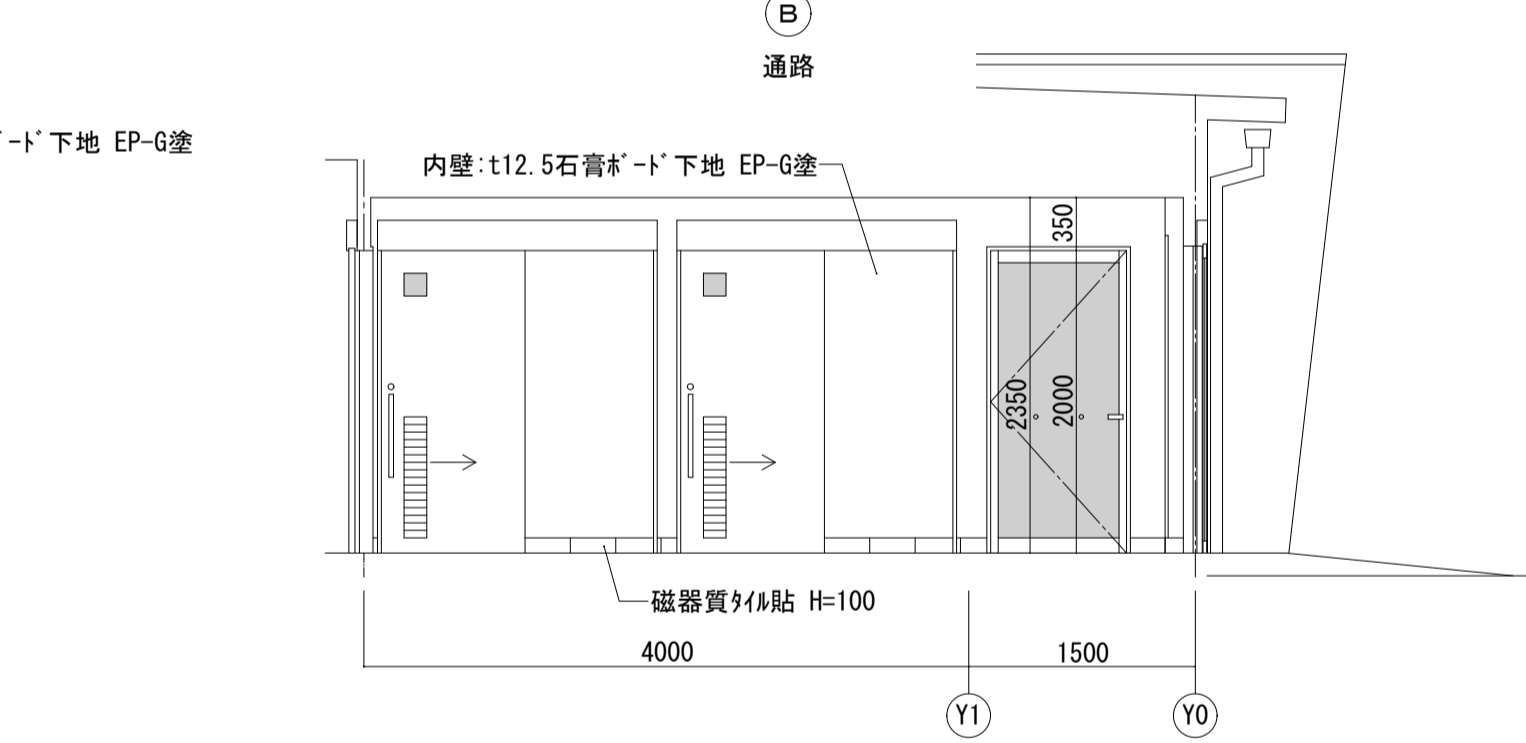
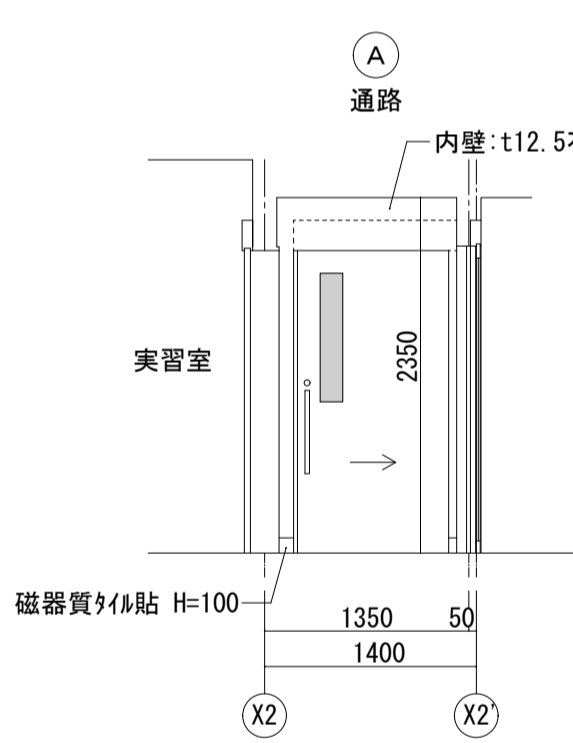
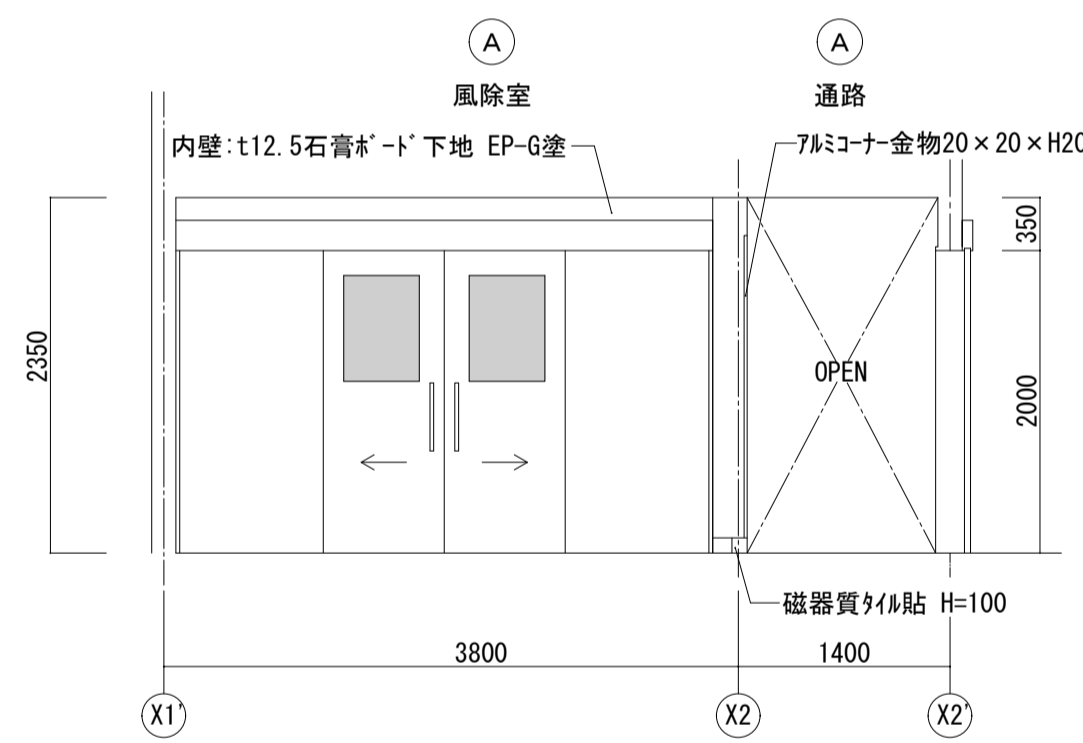
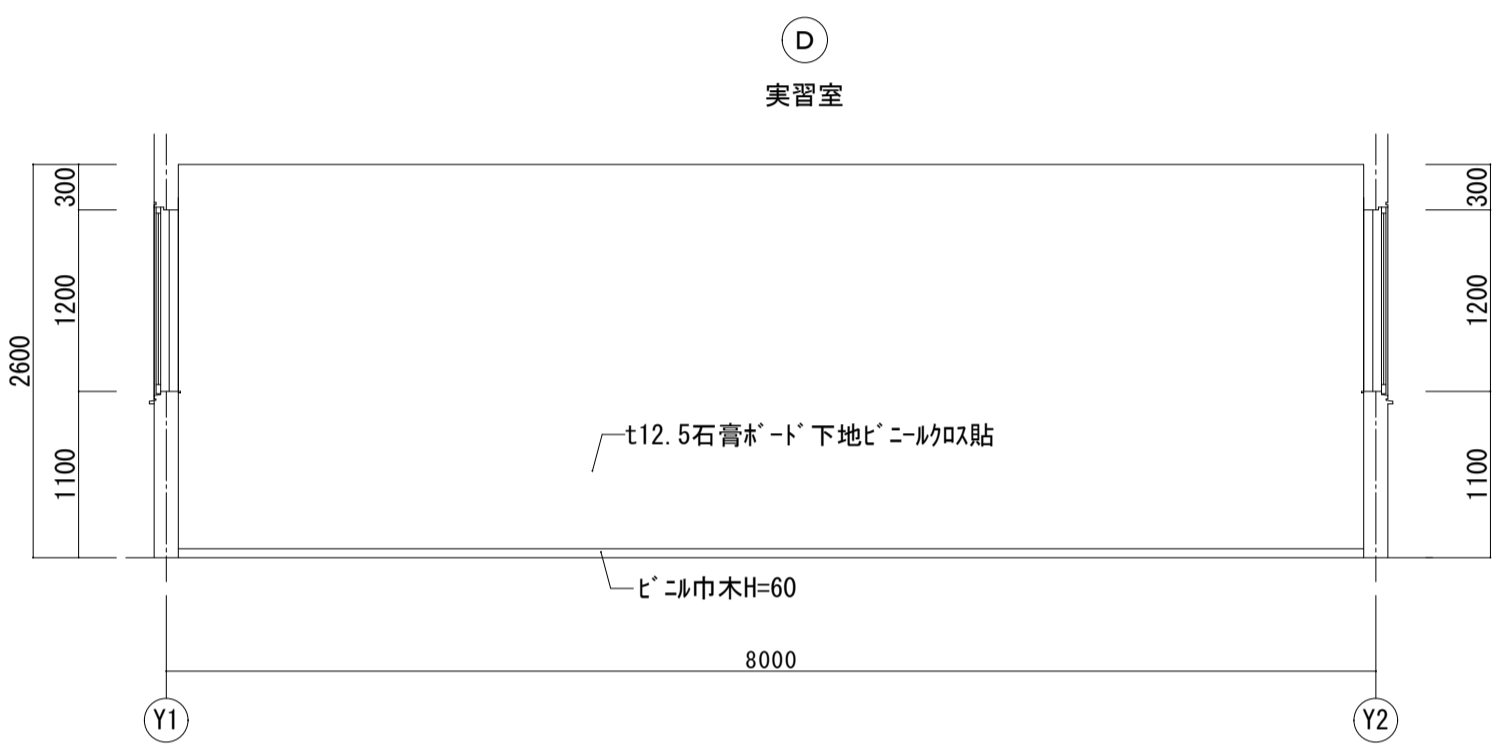
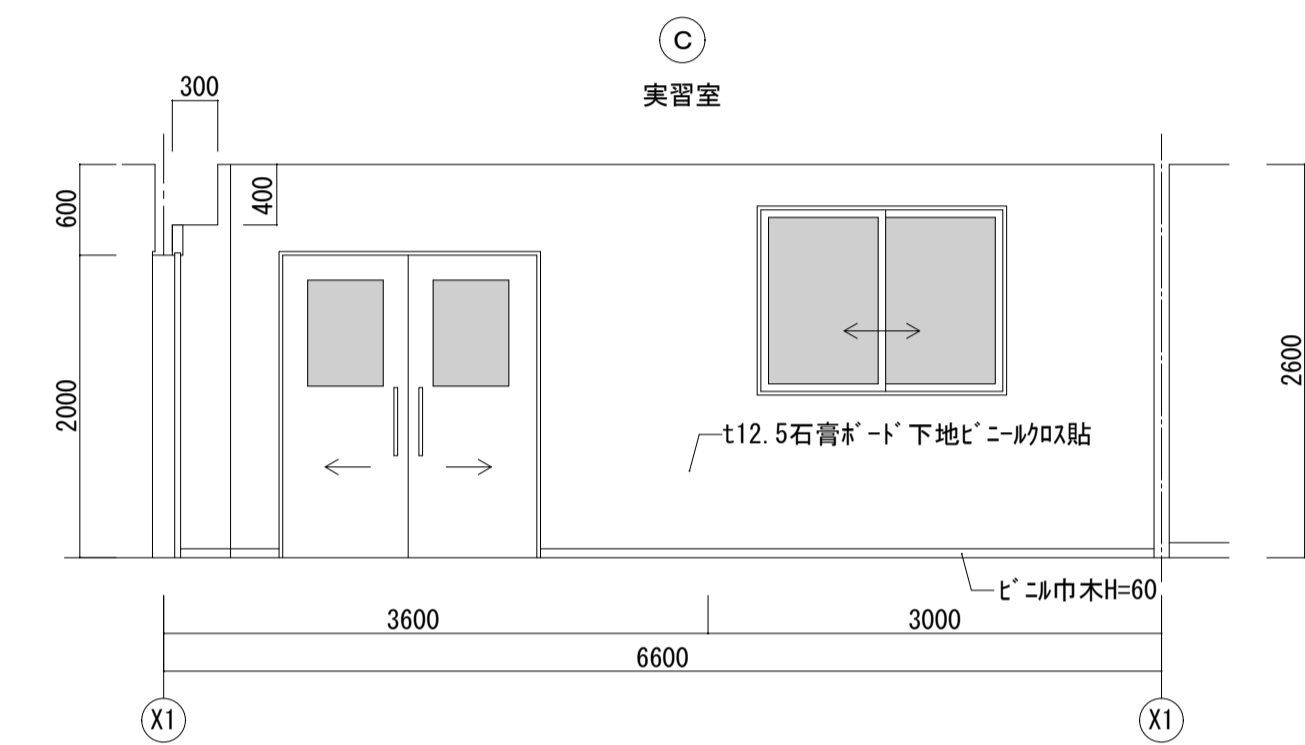
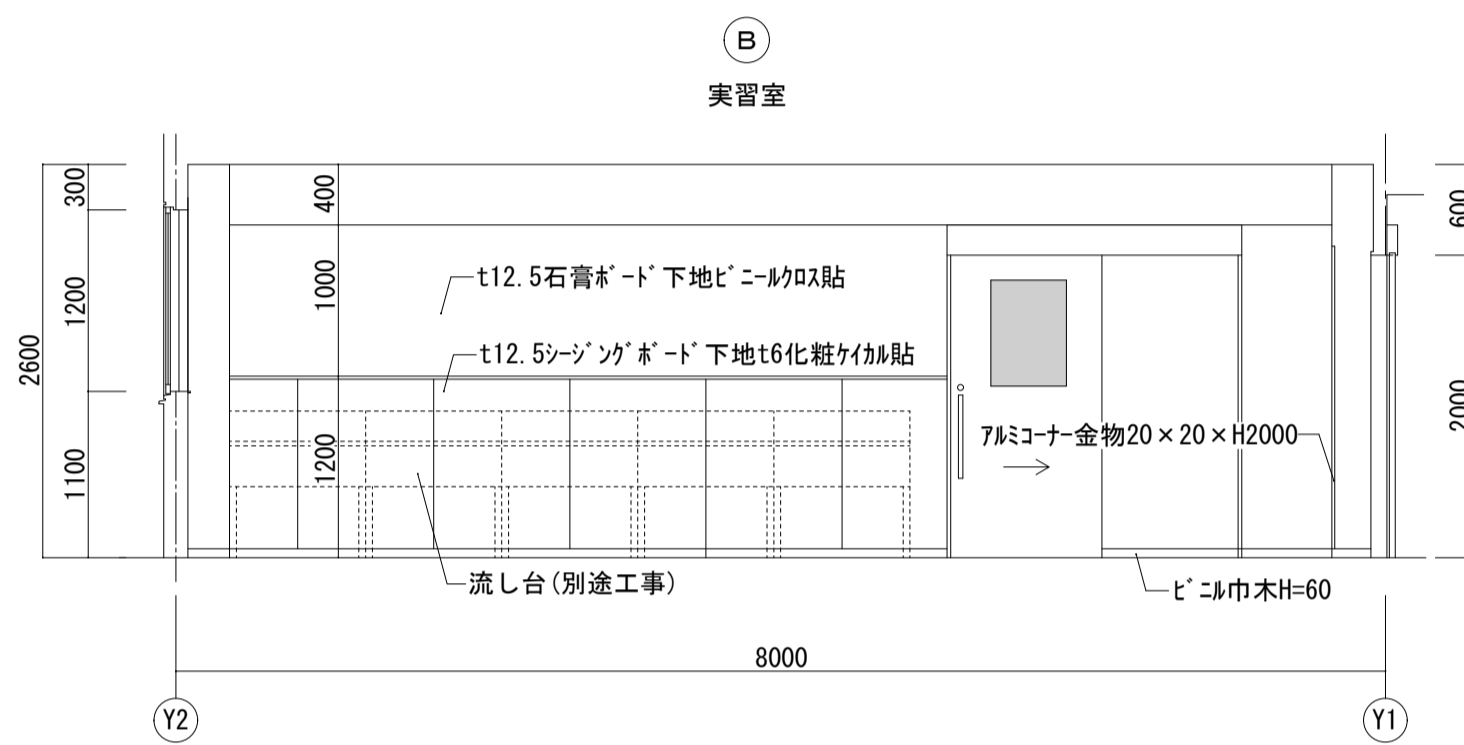
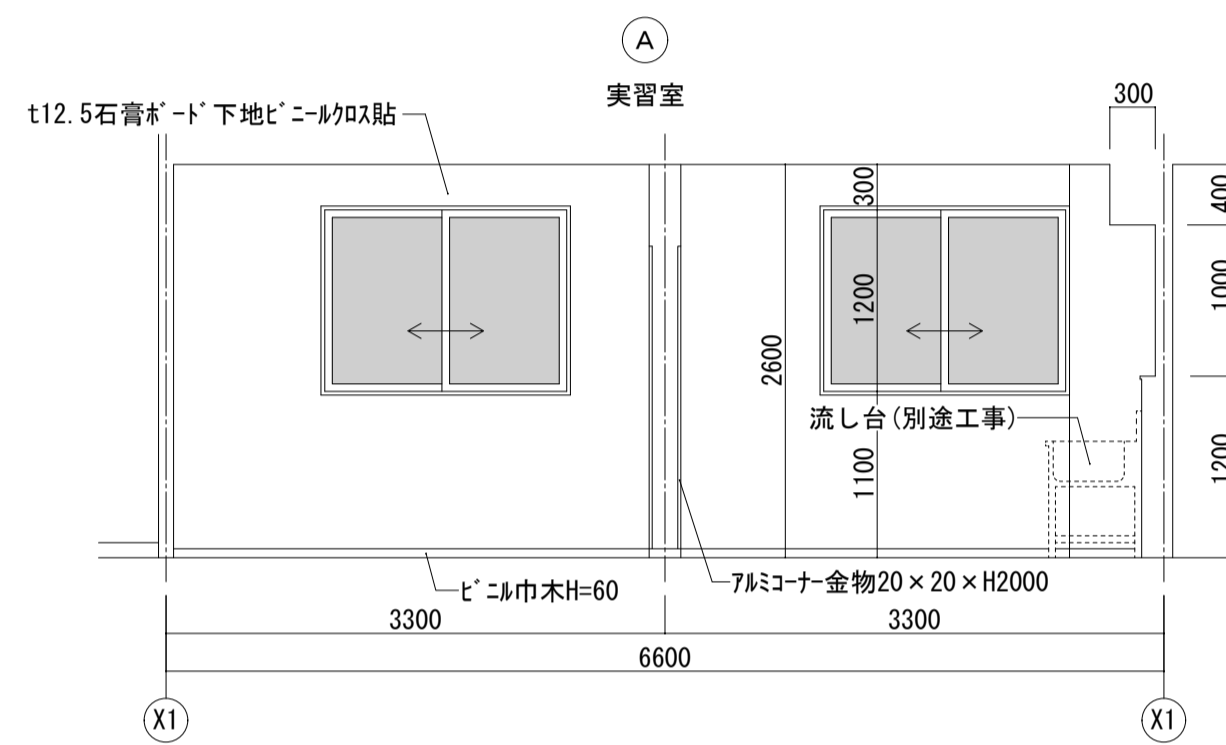
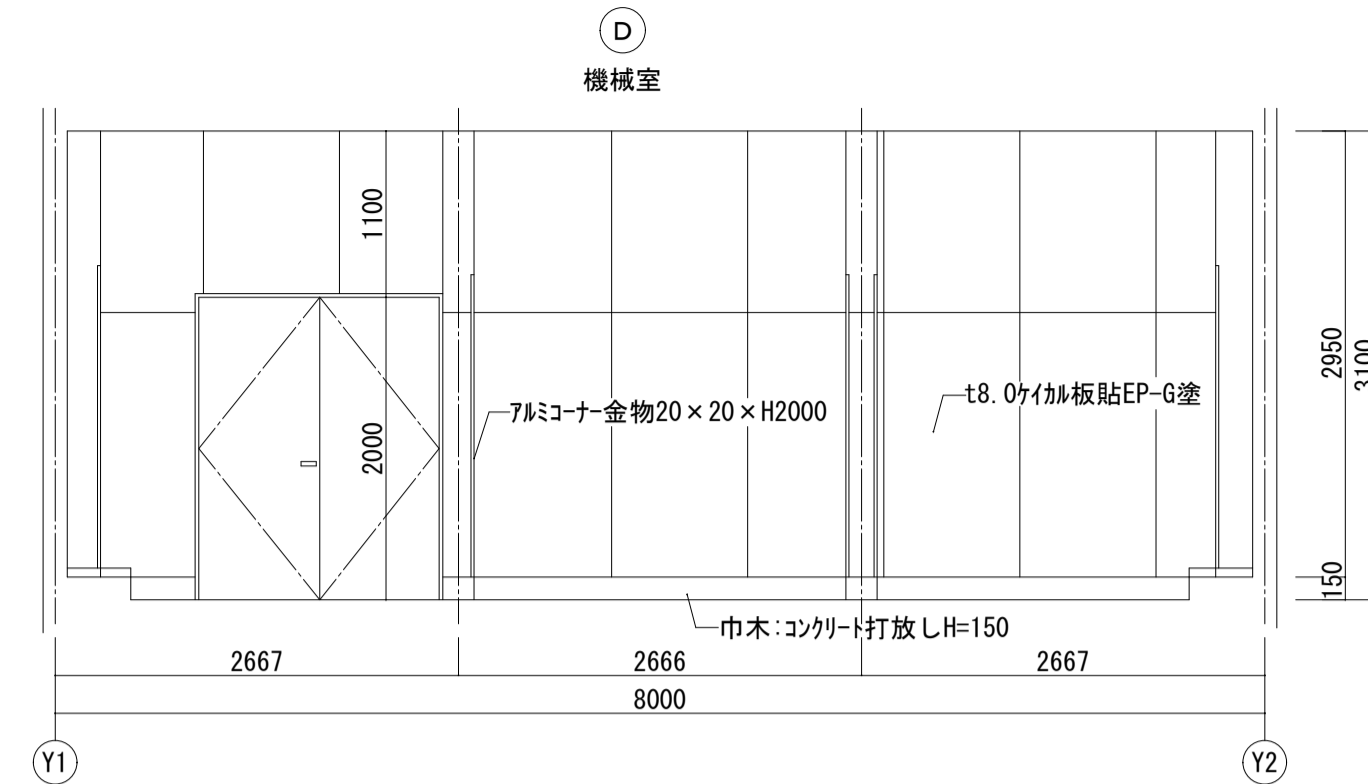
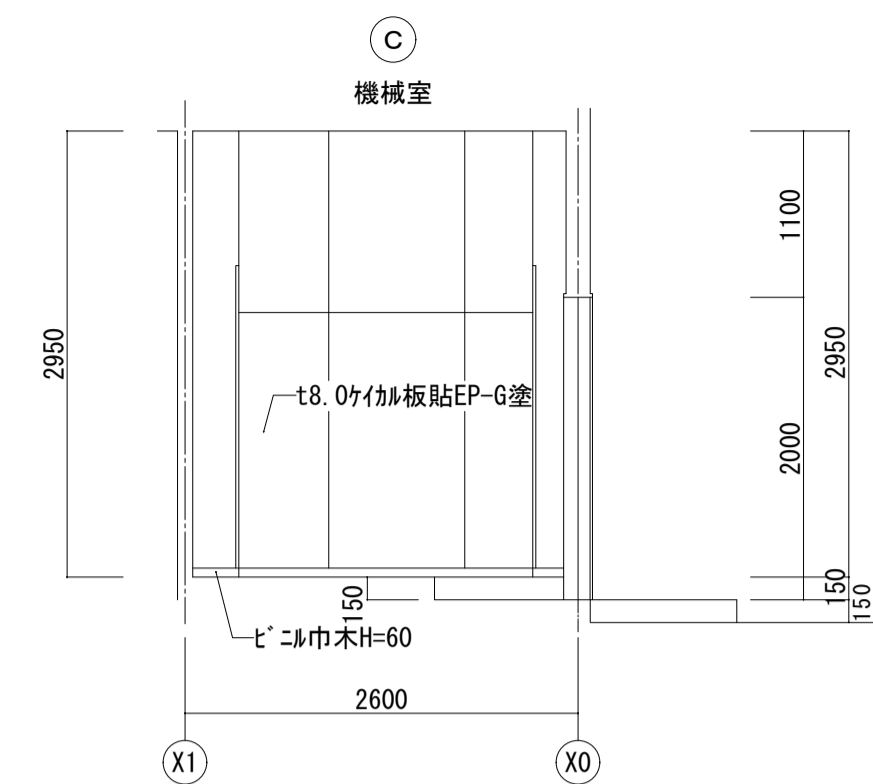
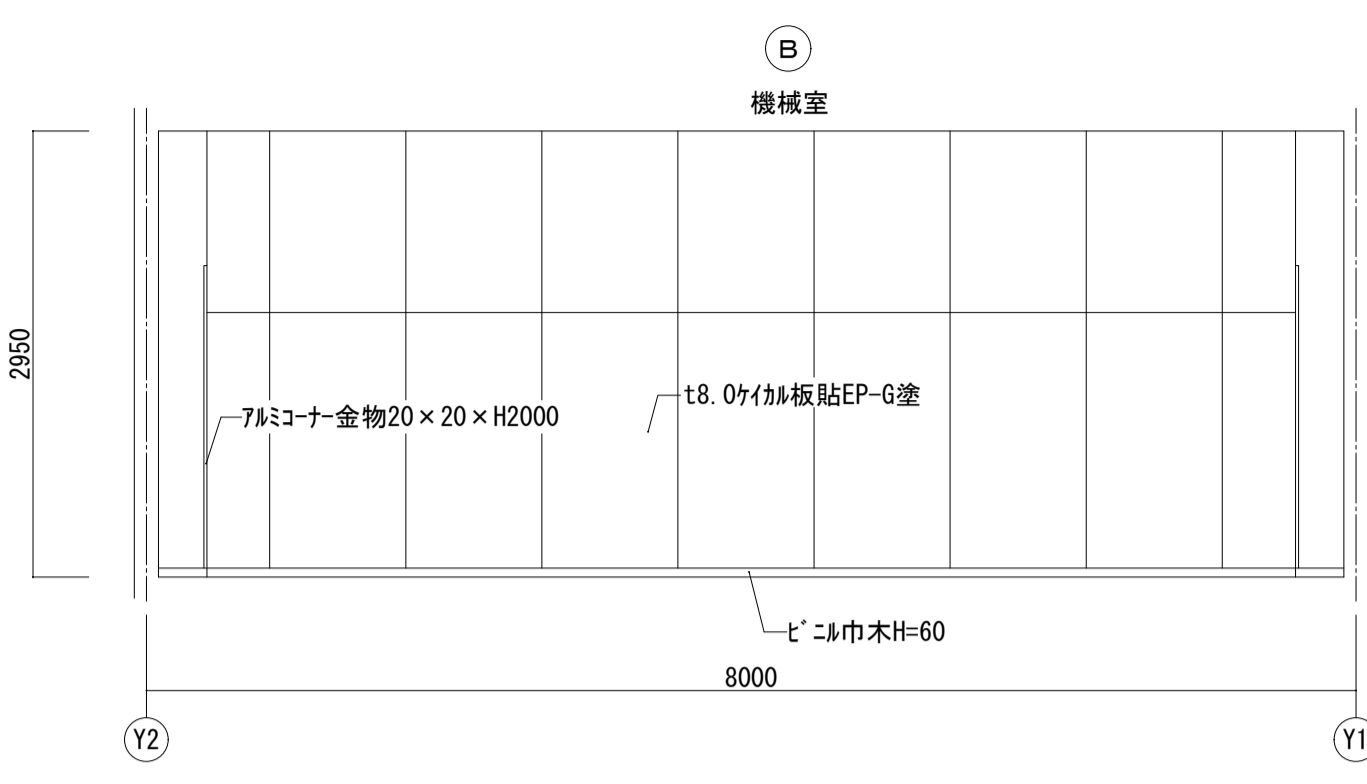
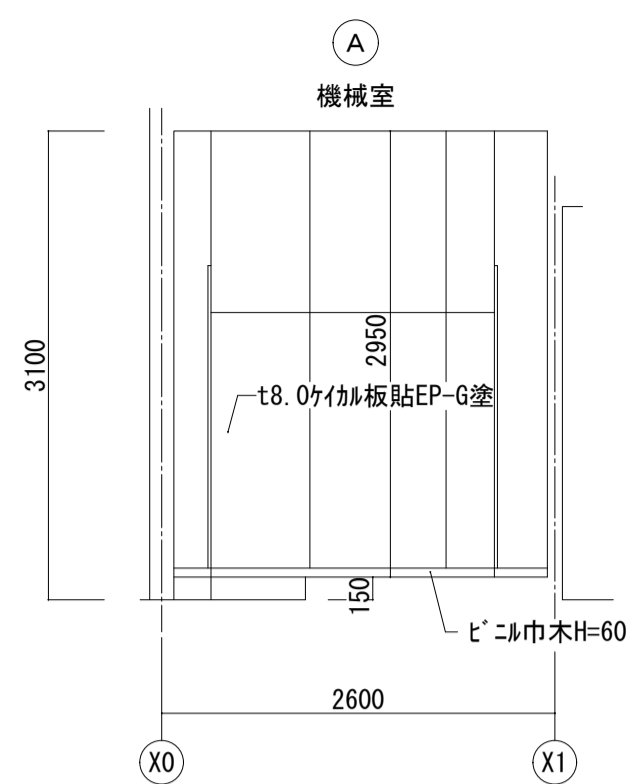


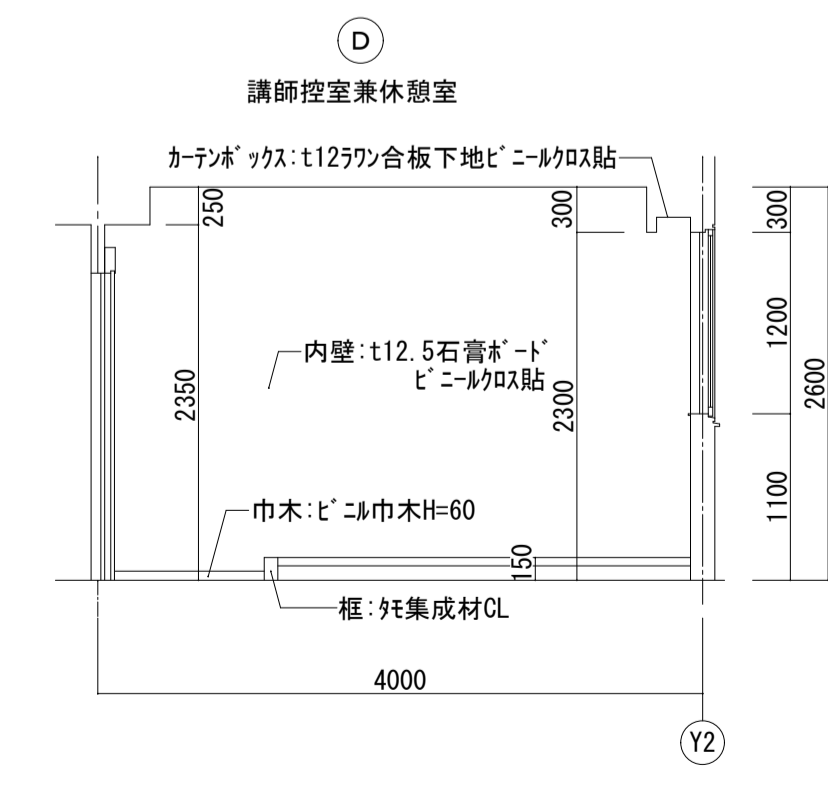
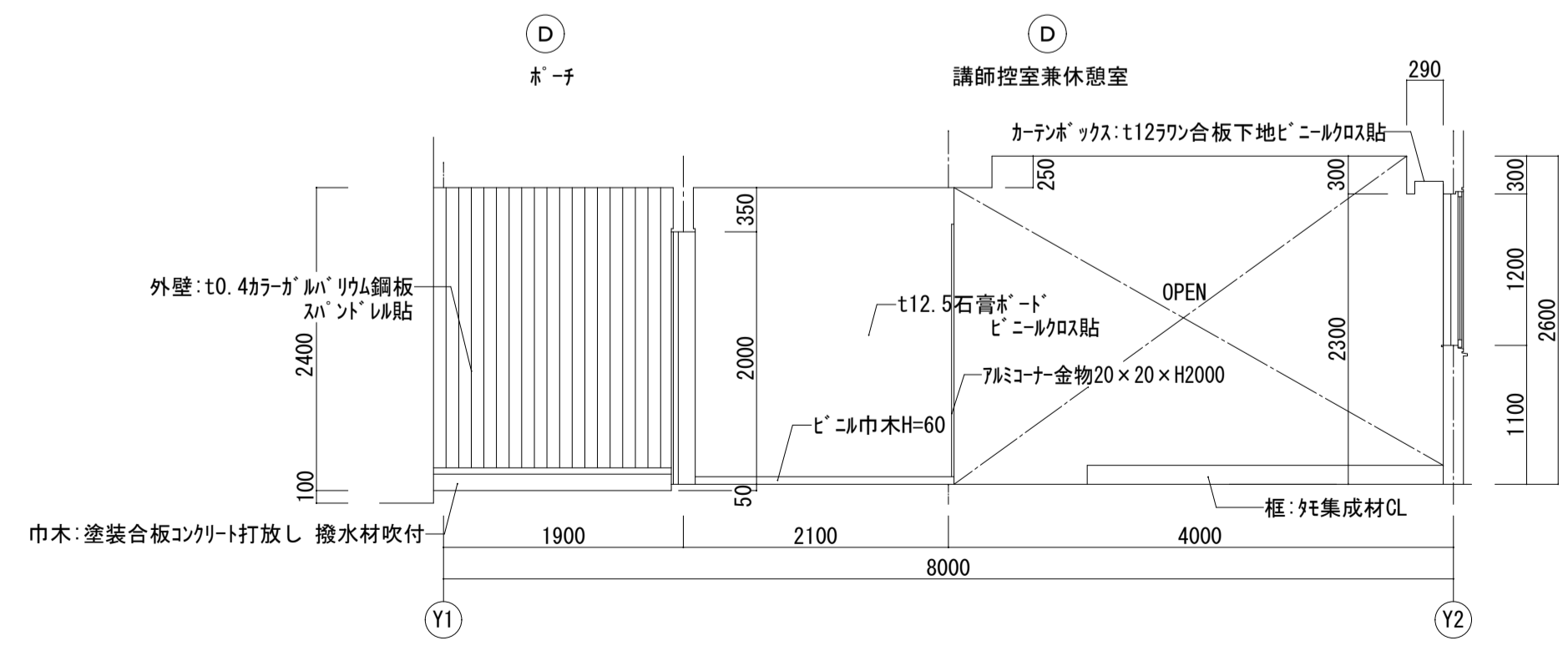
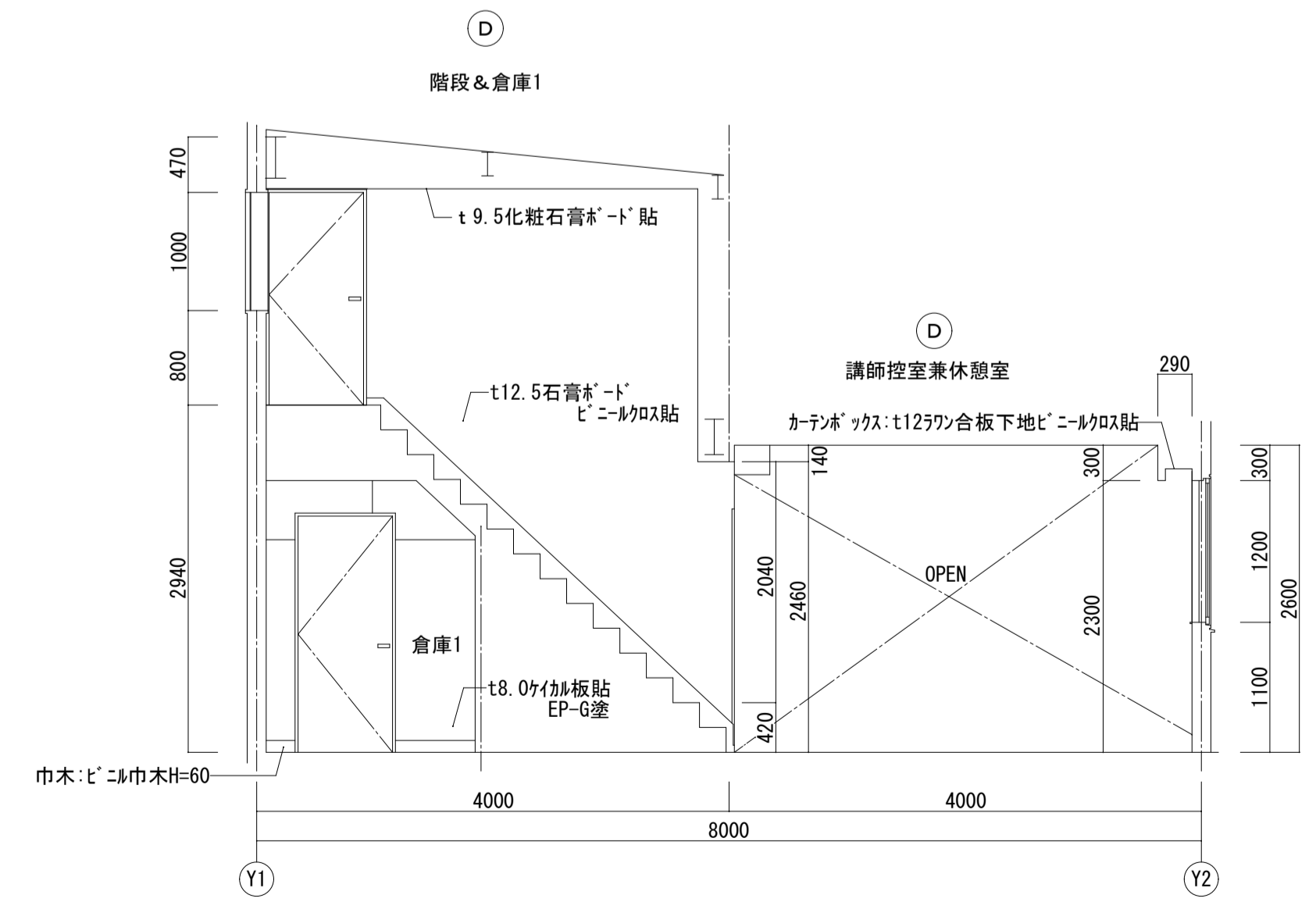
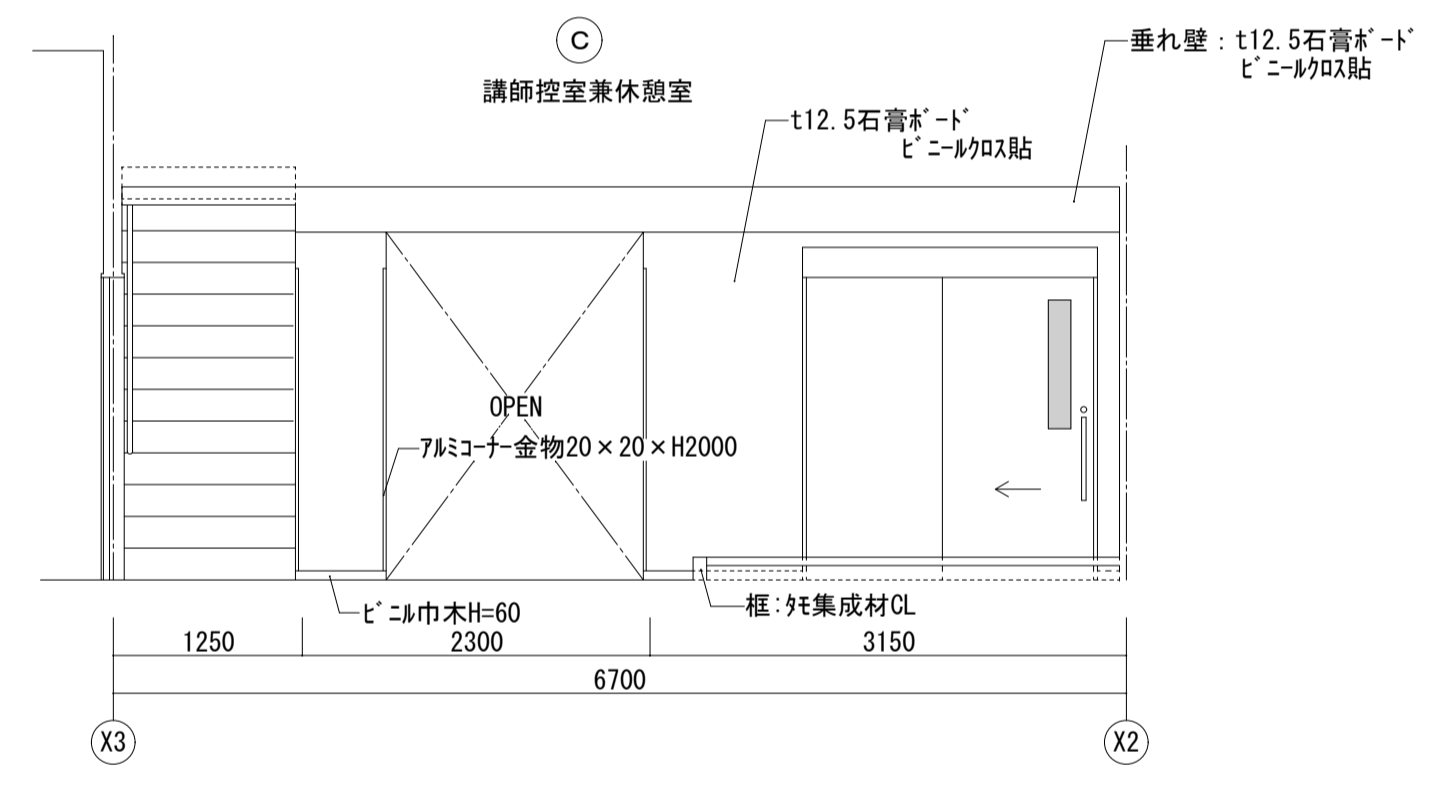
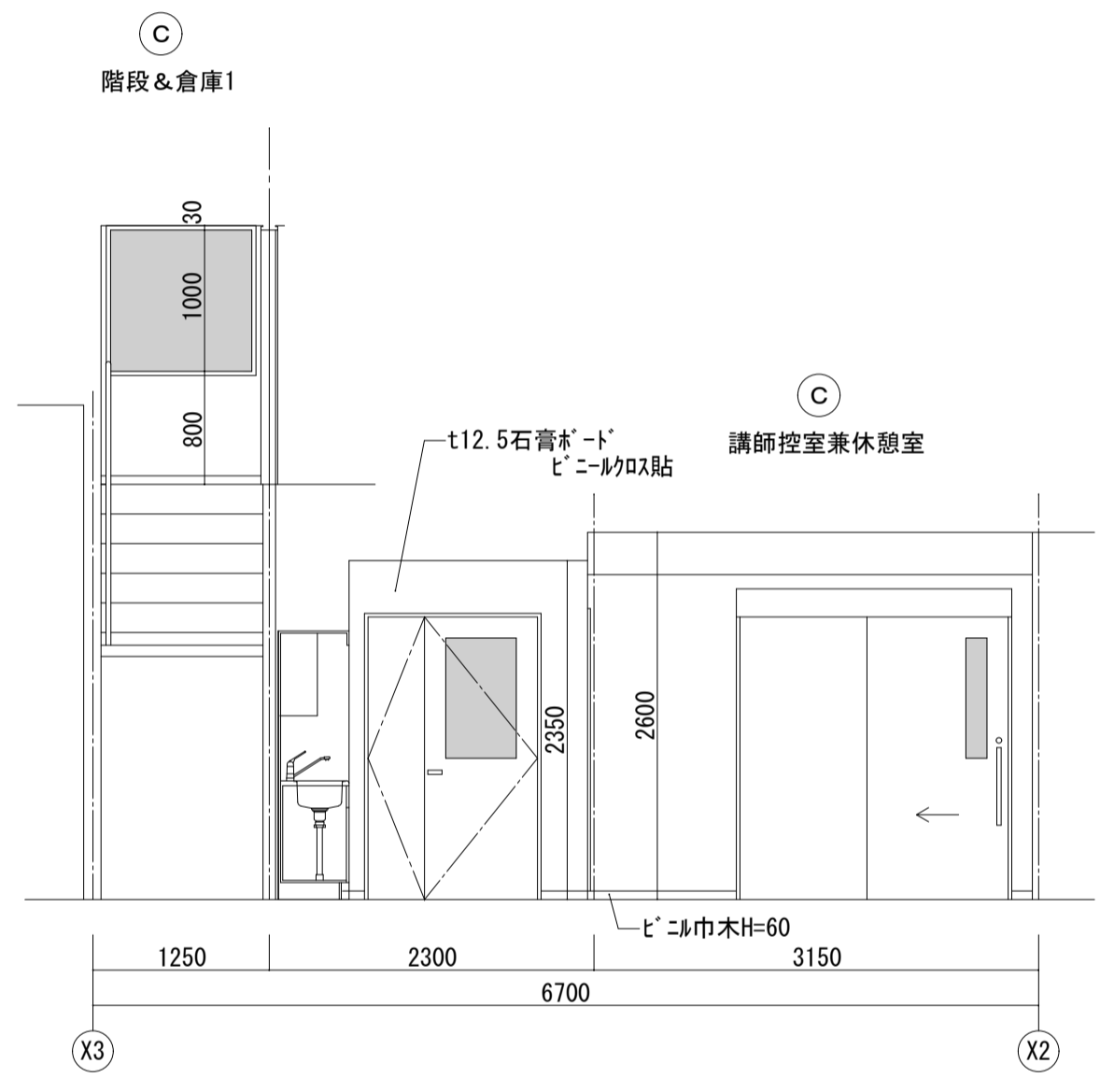
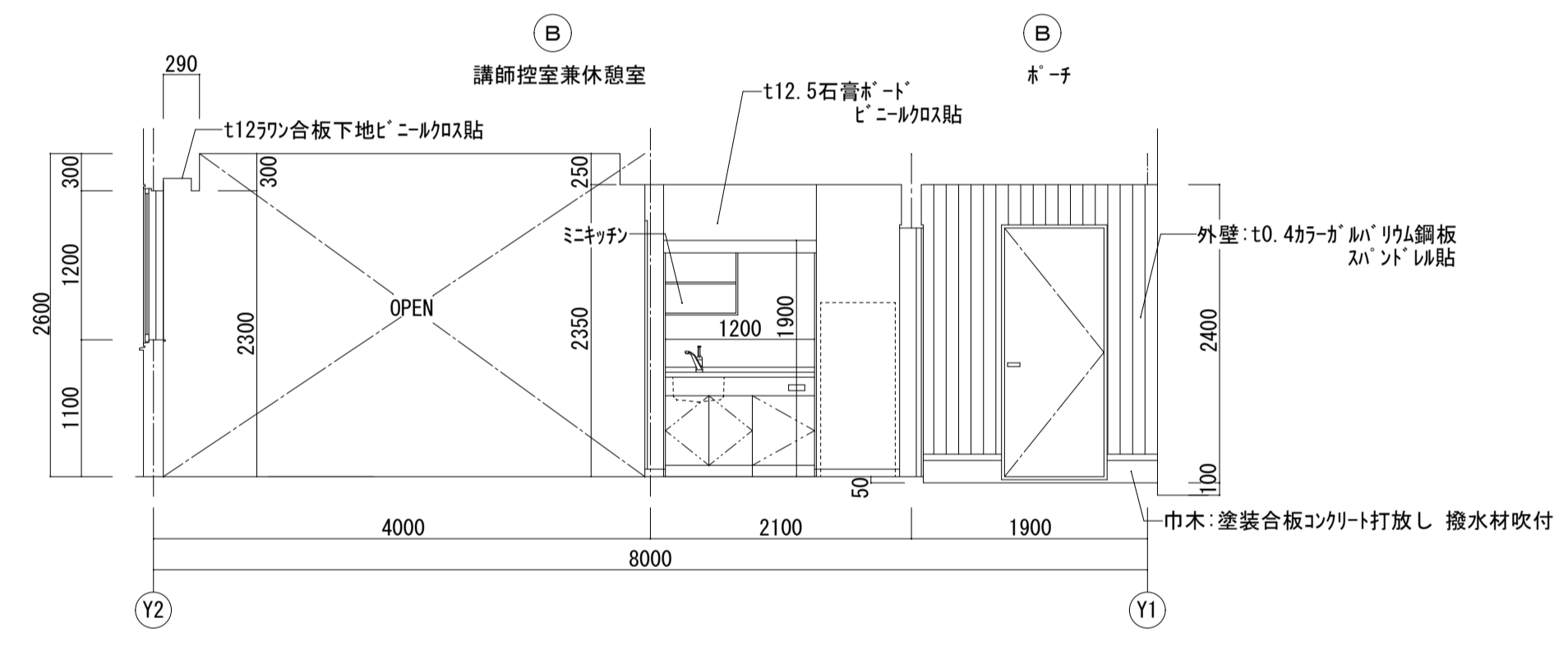
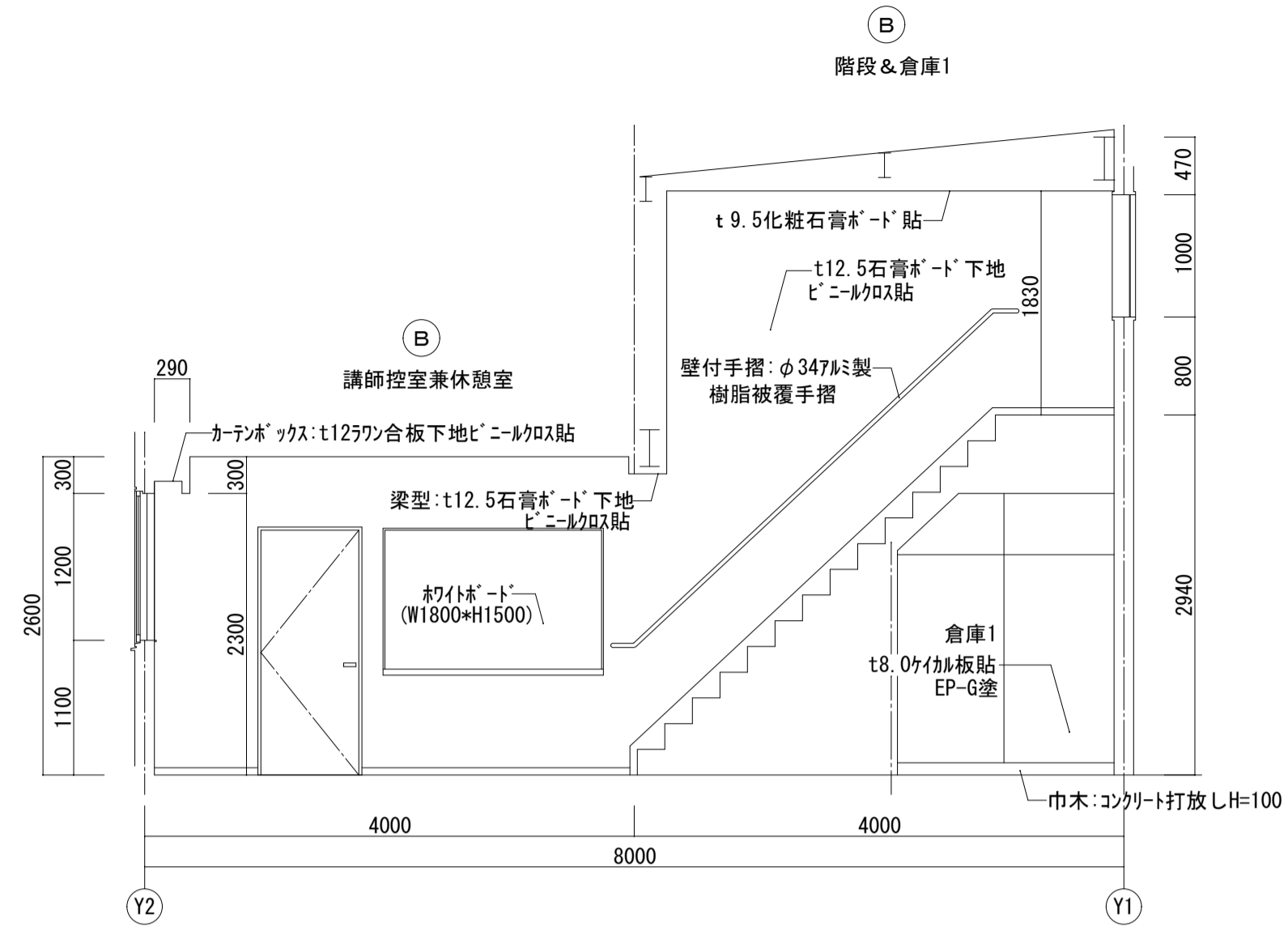
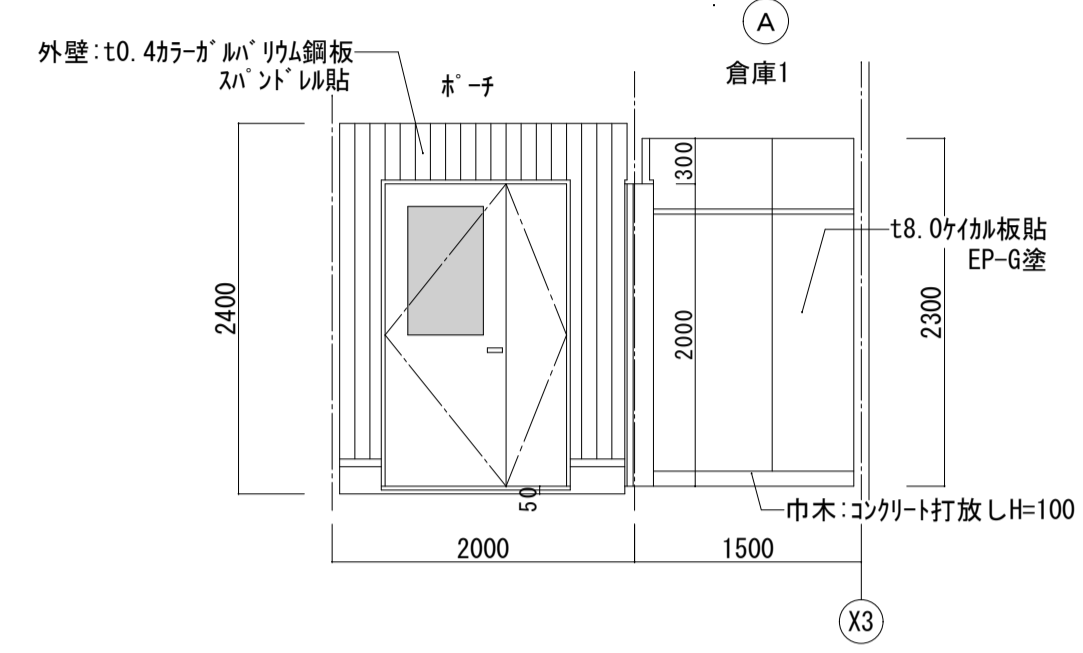
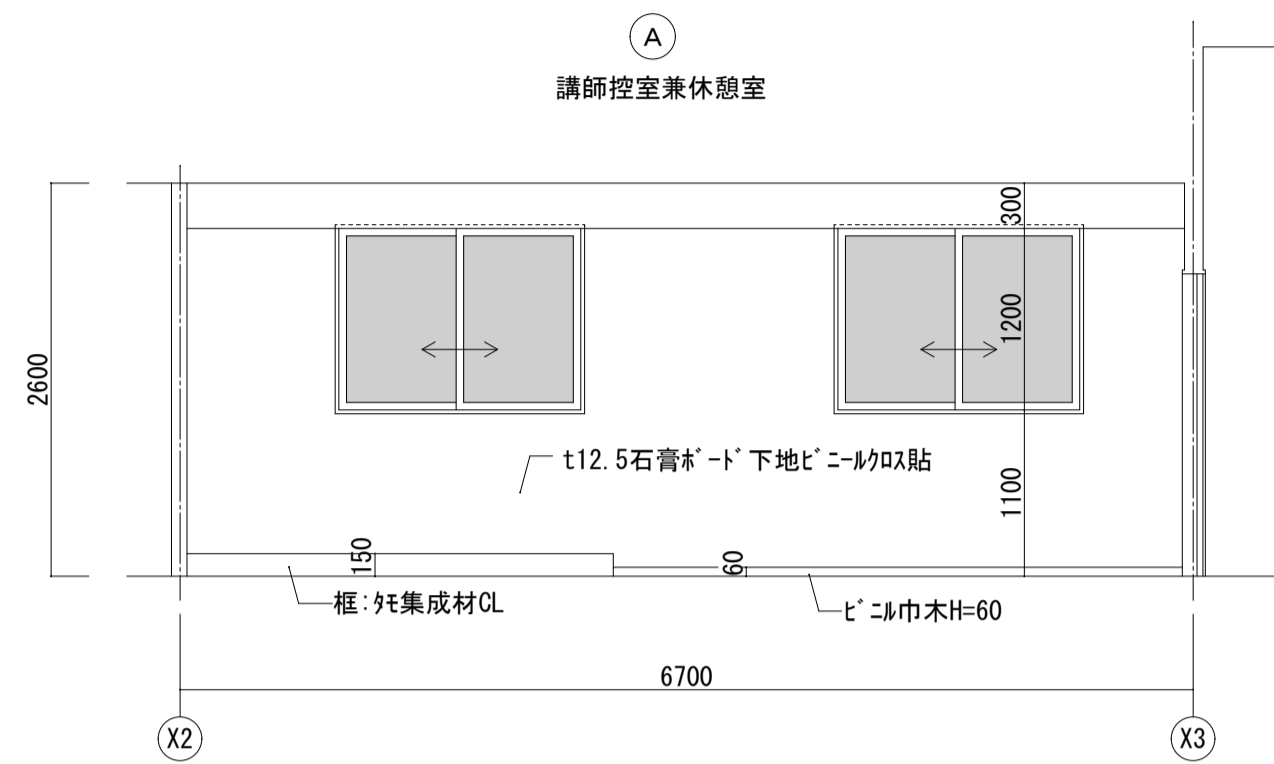


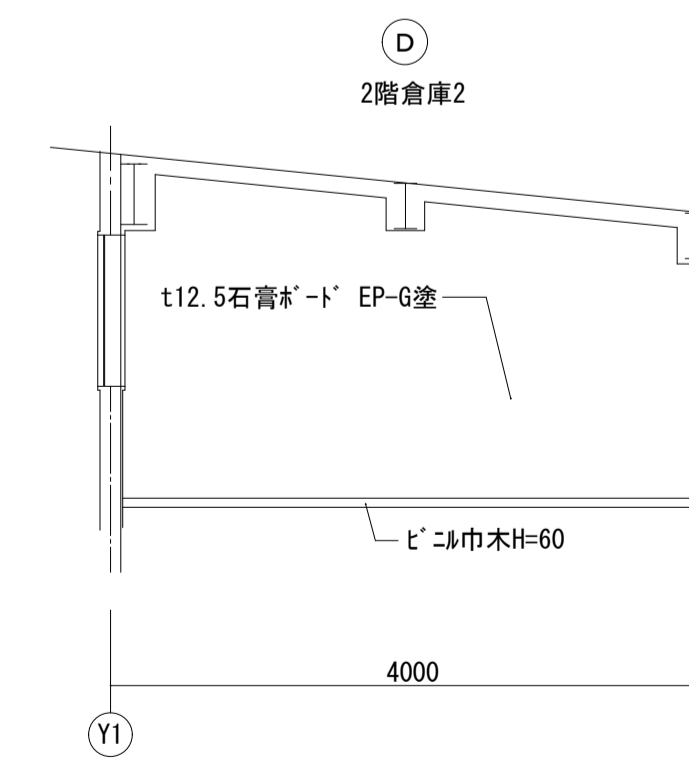
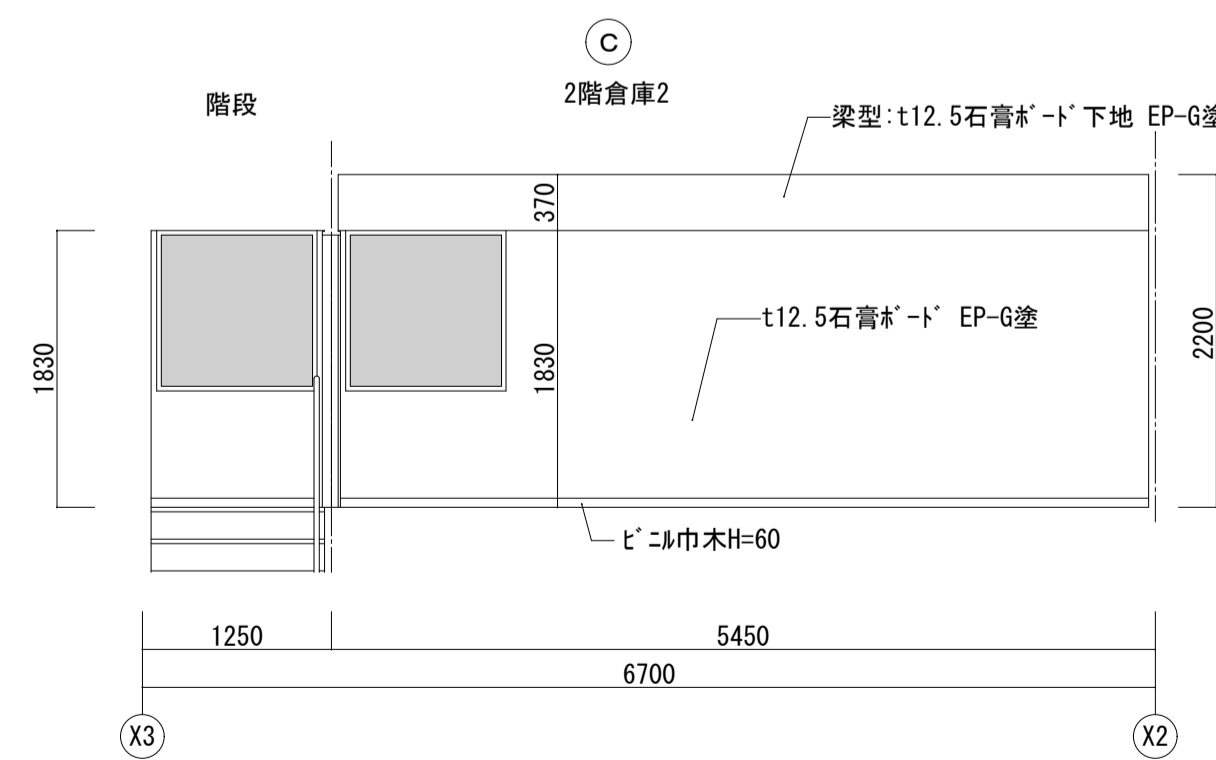
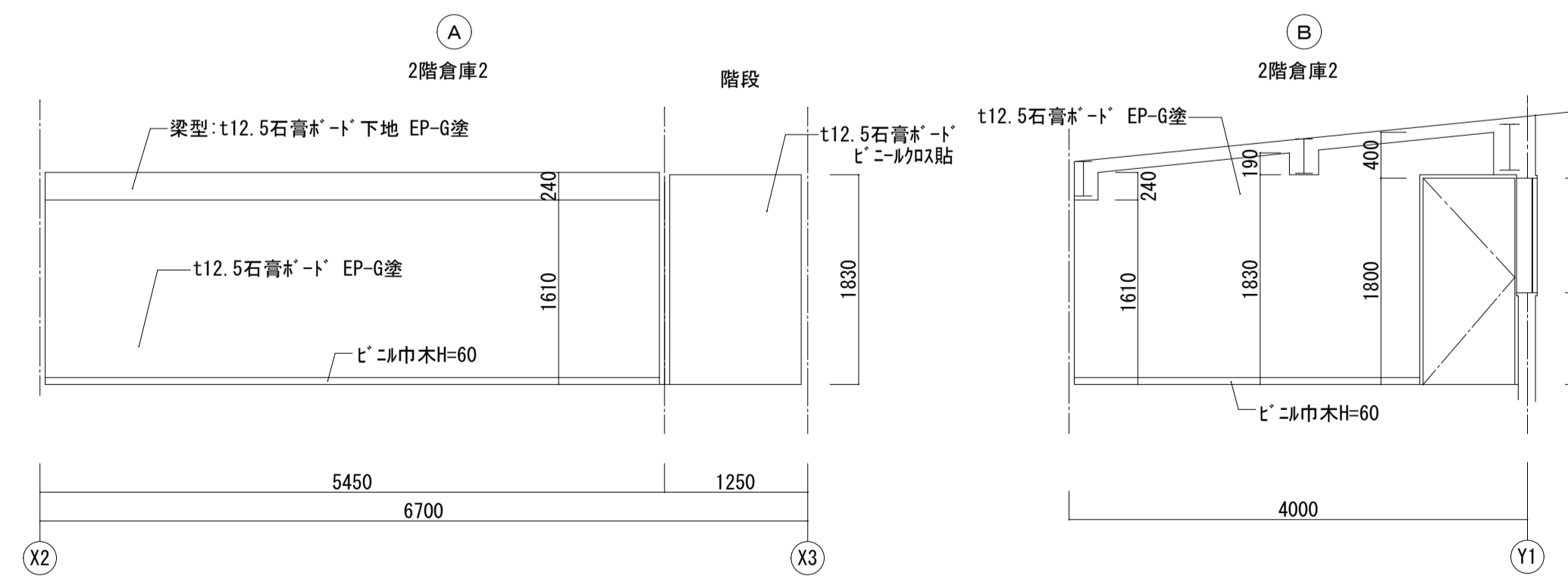
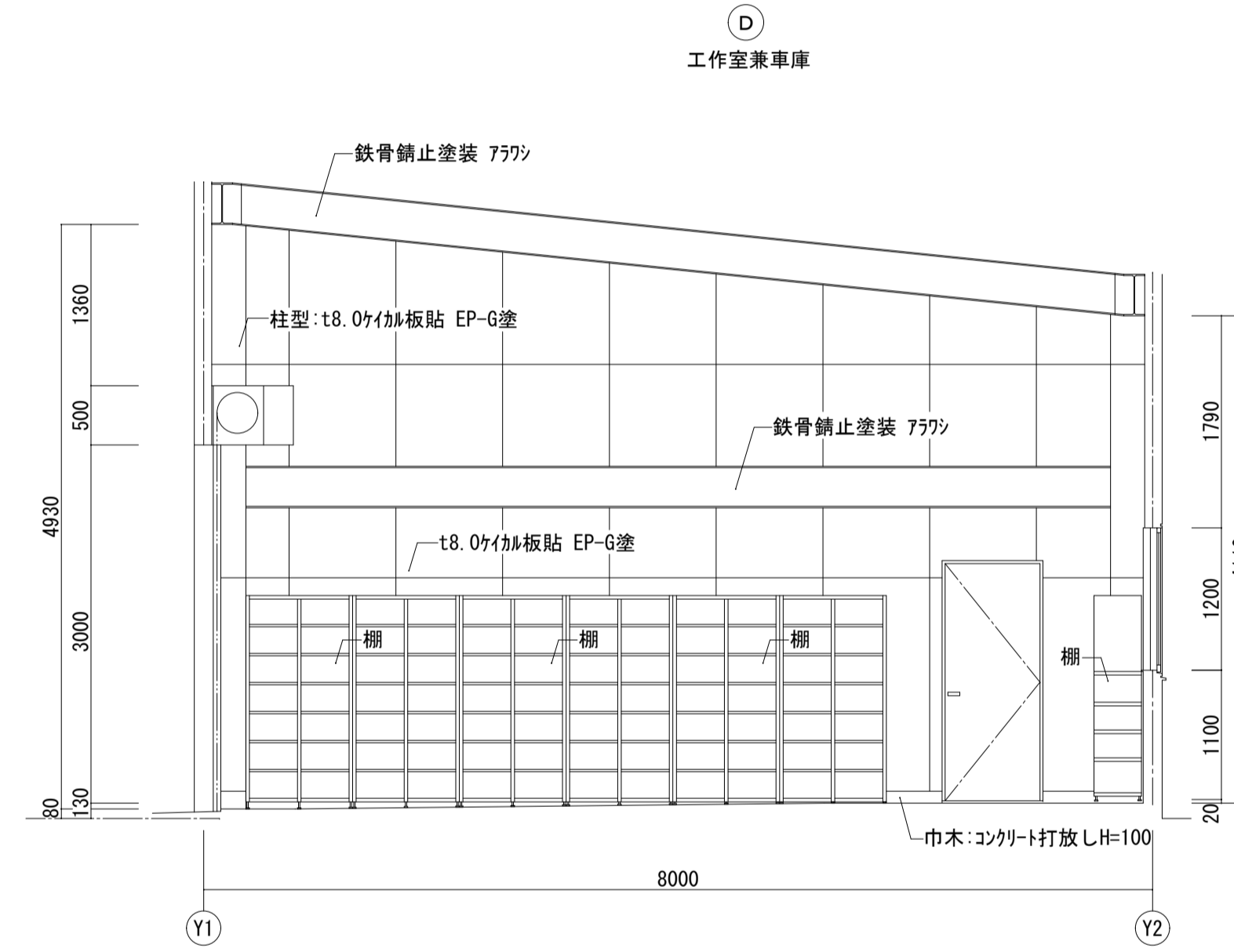
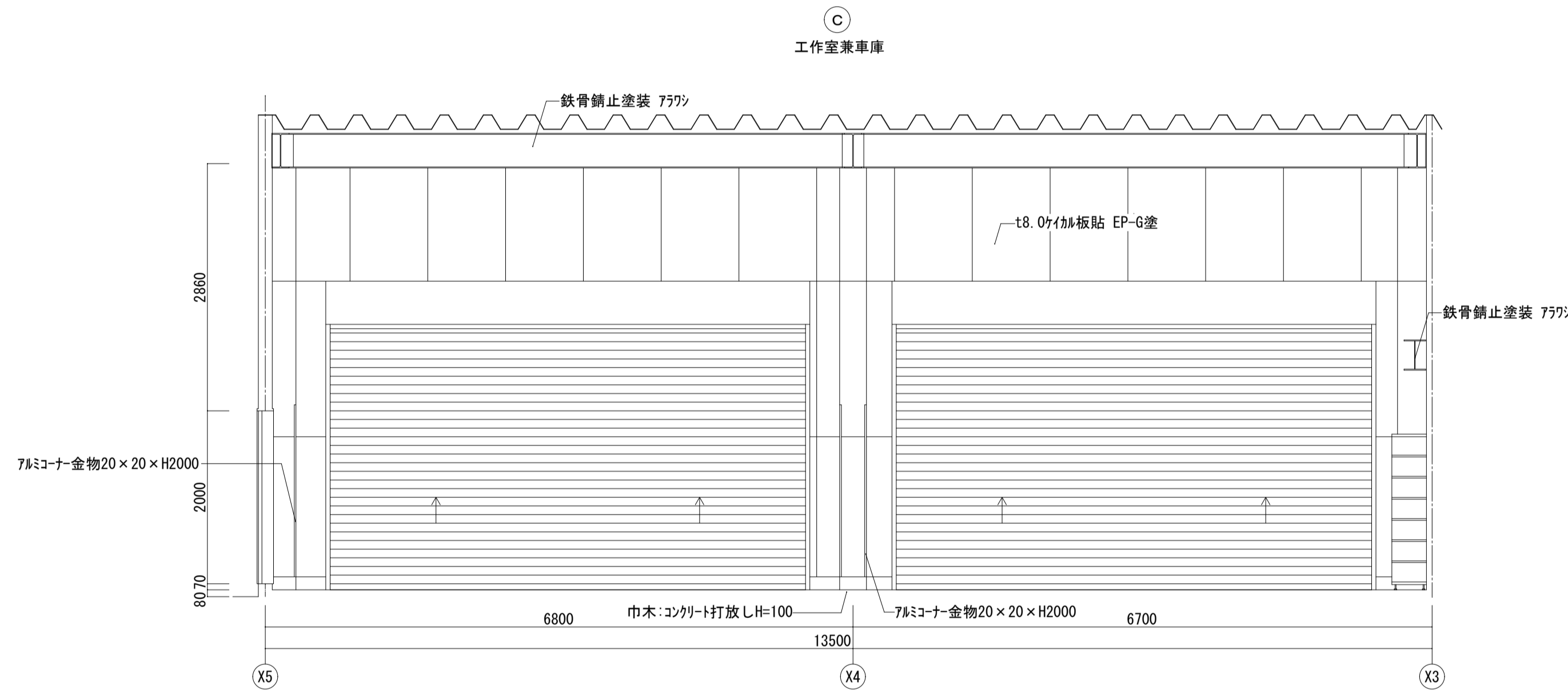
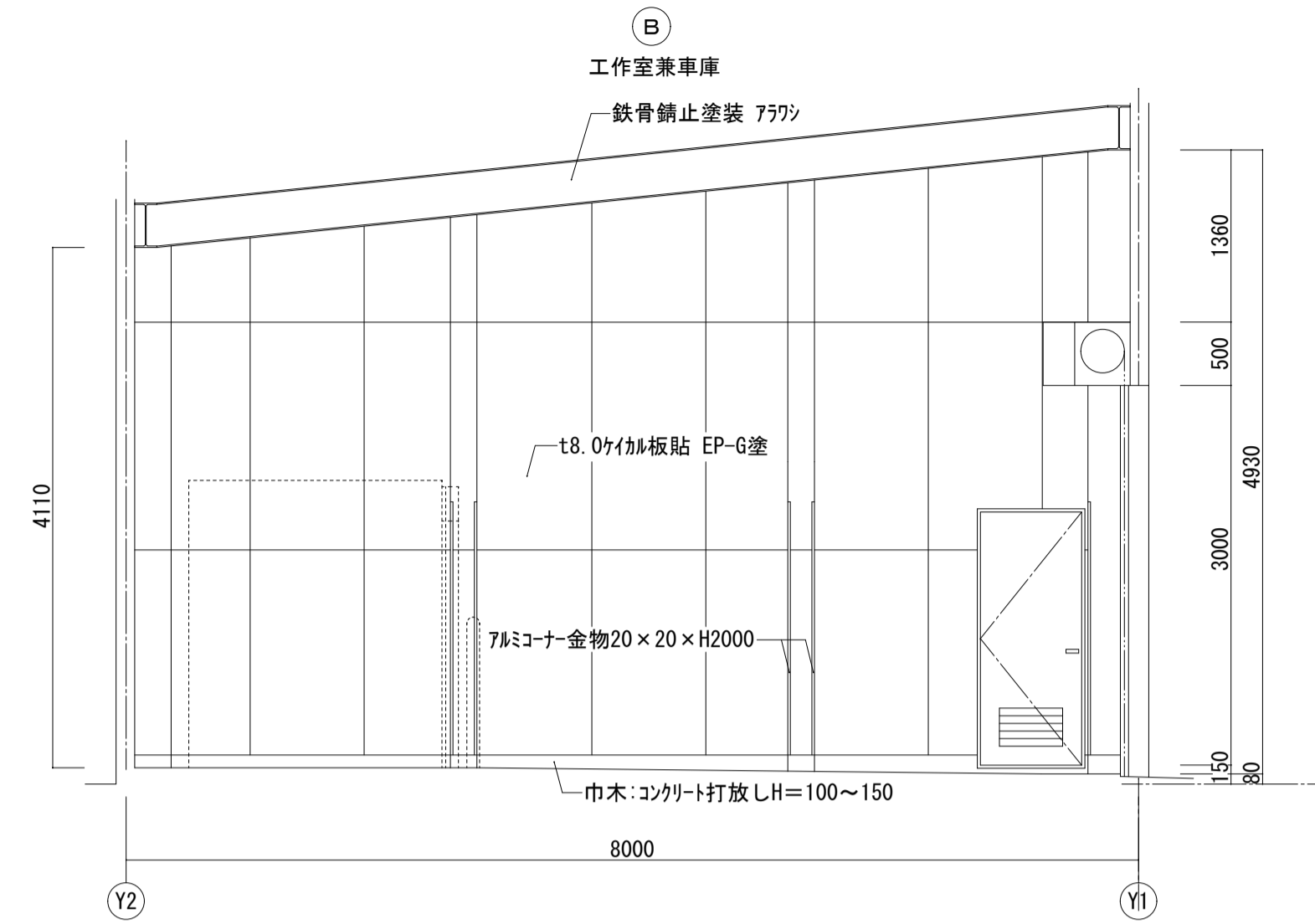
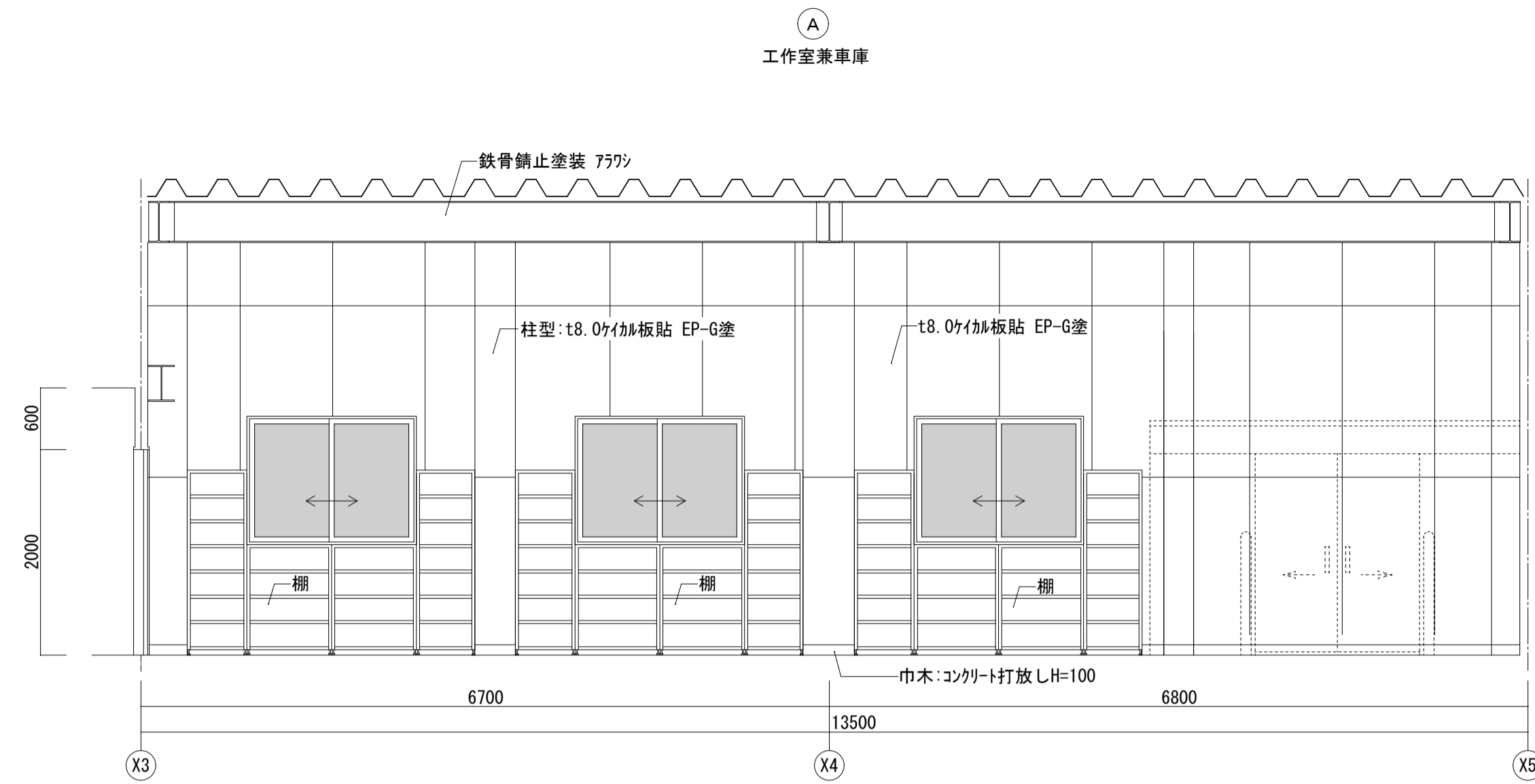
2階平面詳細図

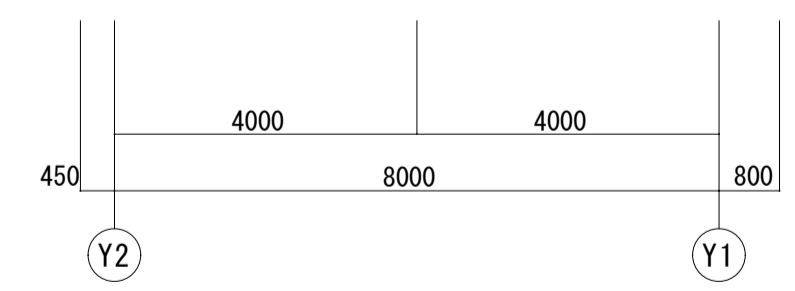
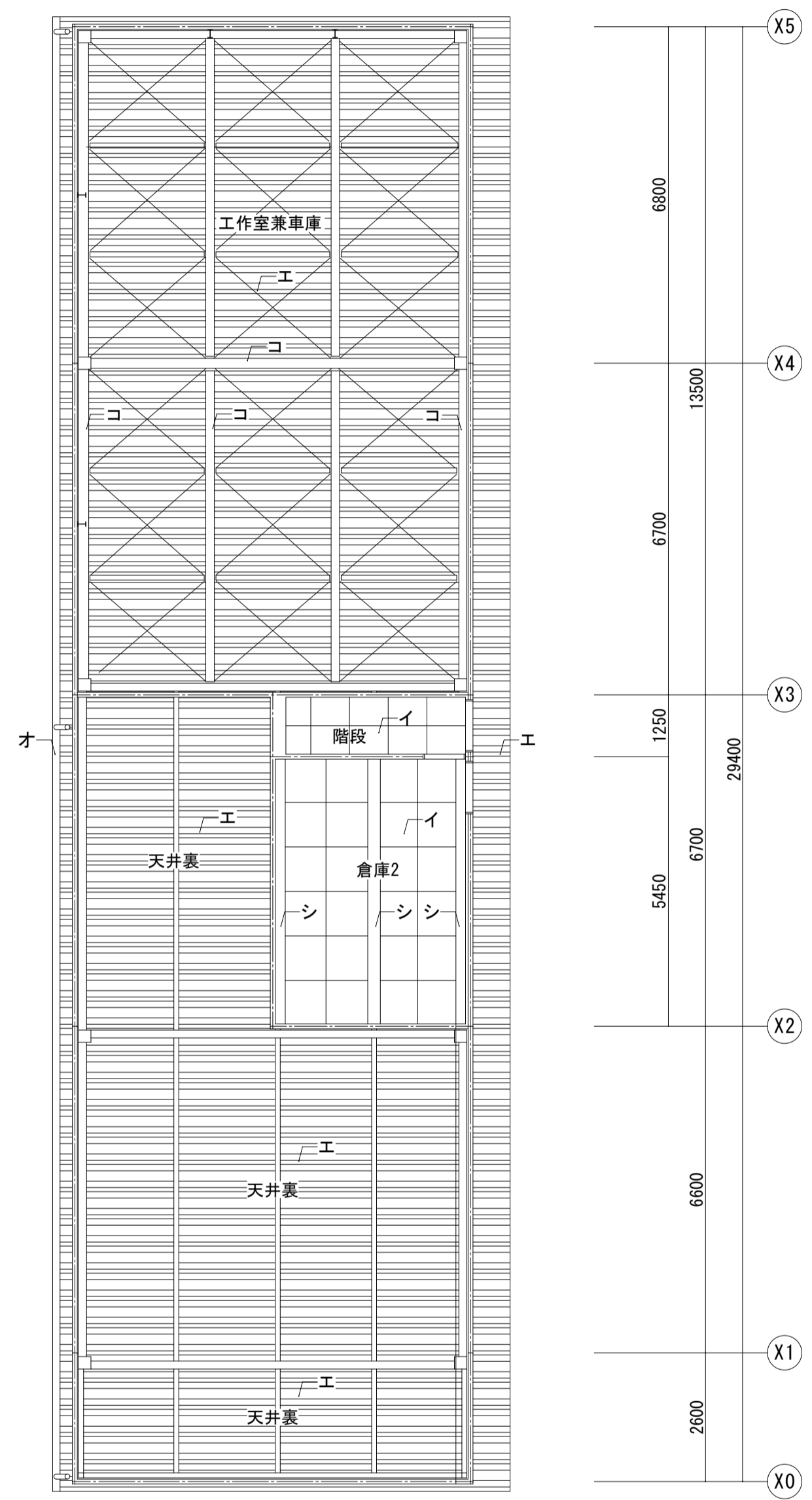
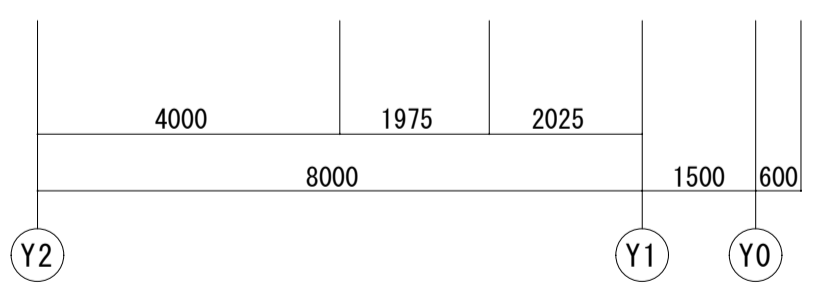
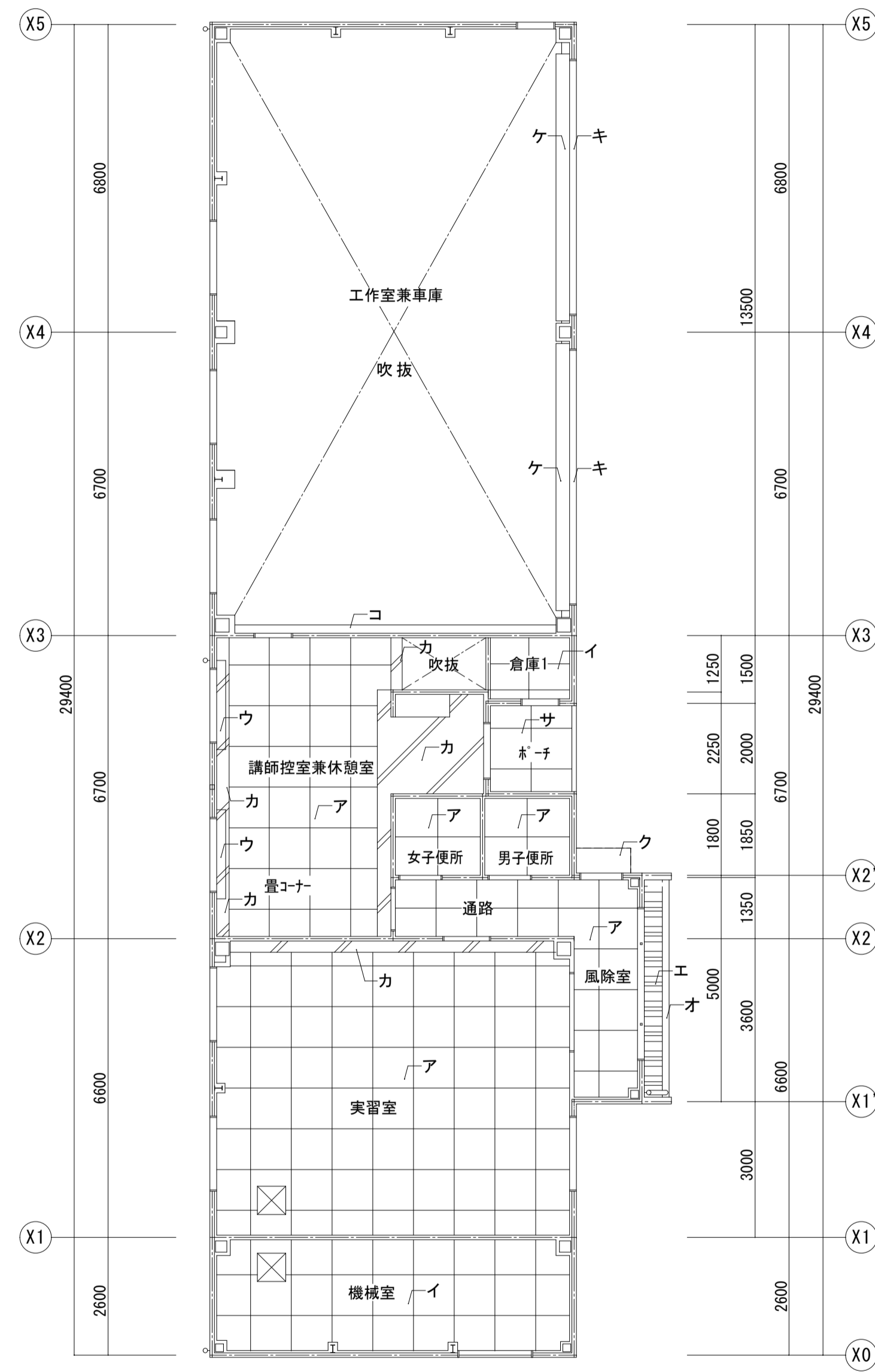
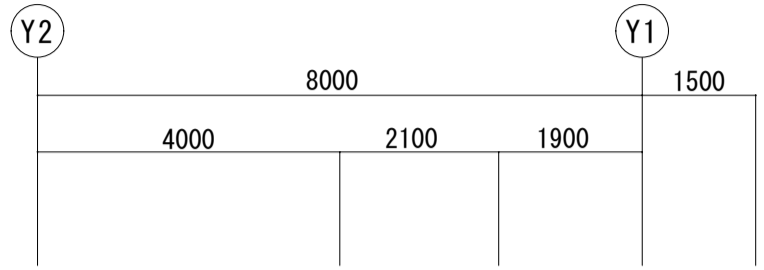
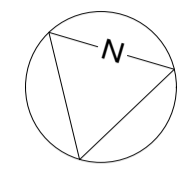


1階平面詳細図

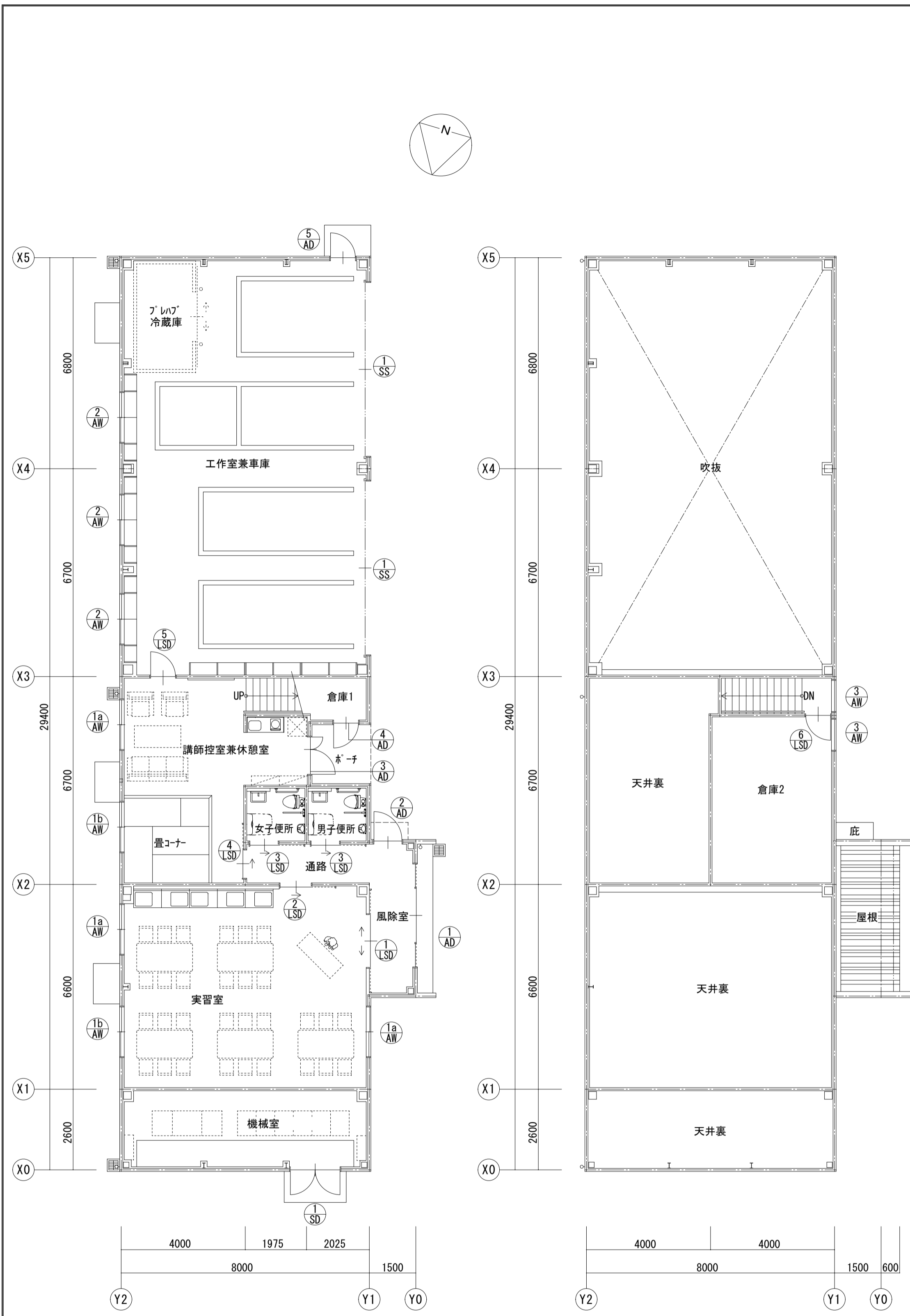








凡例	
ア	t9.5化粧吸音石膏ボード貼
イ	t9.5化粧石膏ボード貼
ウ	t12.5合板下地ビニルクロス貼
エ	折版あらわし
オ	塩ビカー箱樋
カ	t12.5石膏ボード下地ビニルクロス貼
キ	三方枠t0.8鋼板曲げ加工DP塗
ク	底：7既製品D=600
ケ	シャッターボックス
コ	鉄骨錆止め塗
サ	t6ケイカル板貼EP-G塗
シ	t12.5石膏ボード下地EP-G塗
☒	天井点検口450×450

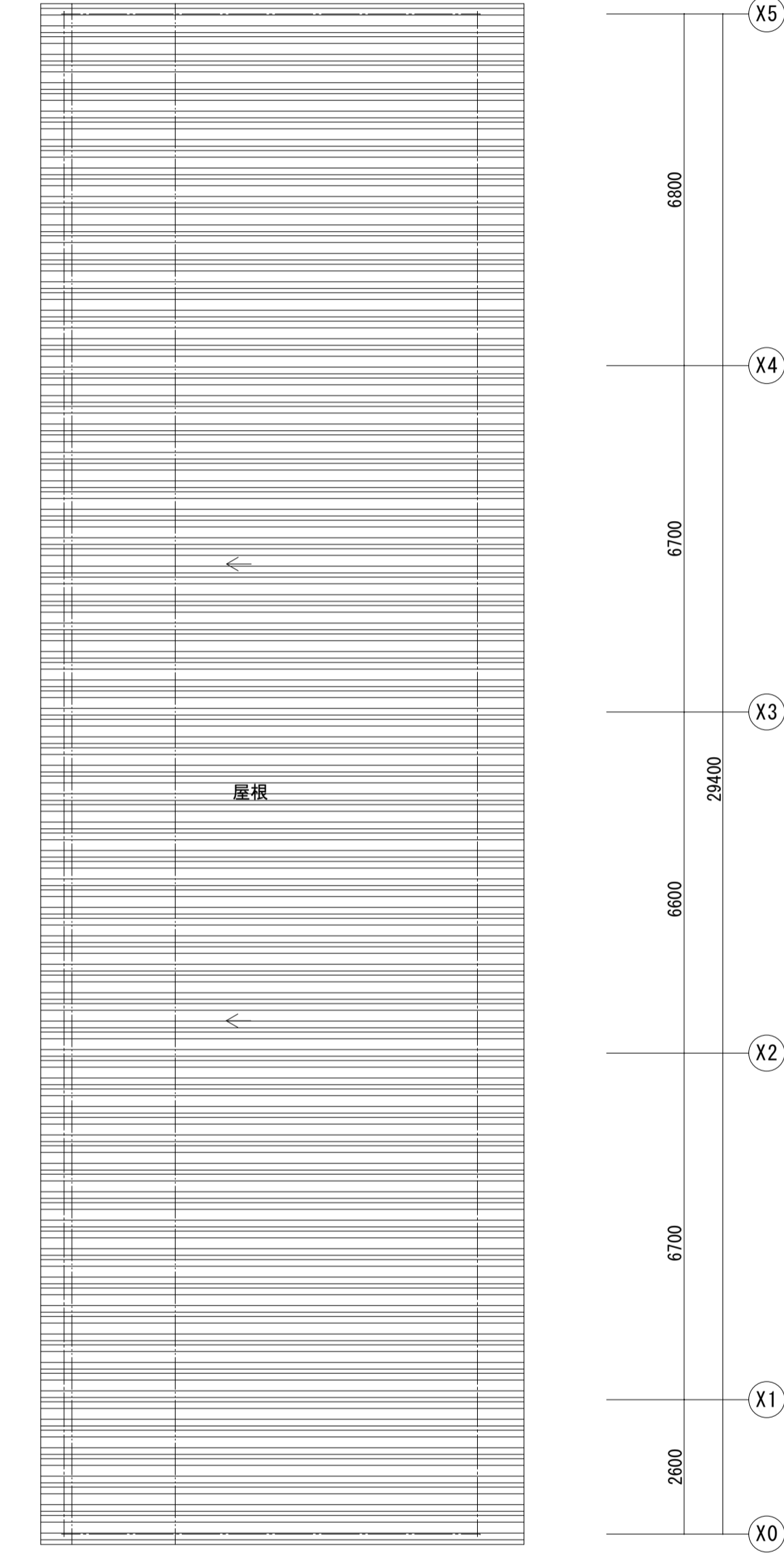
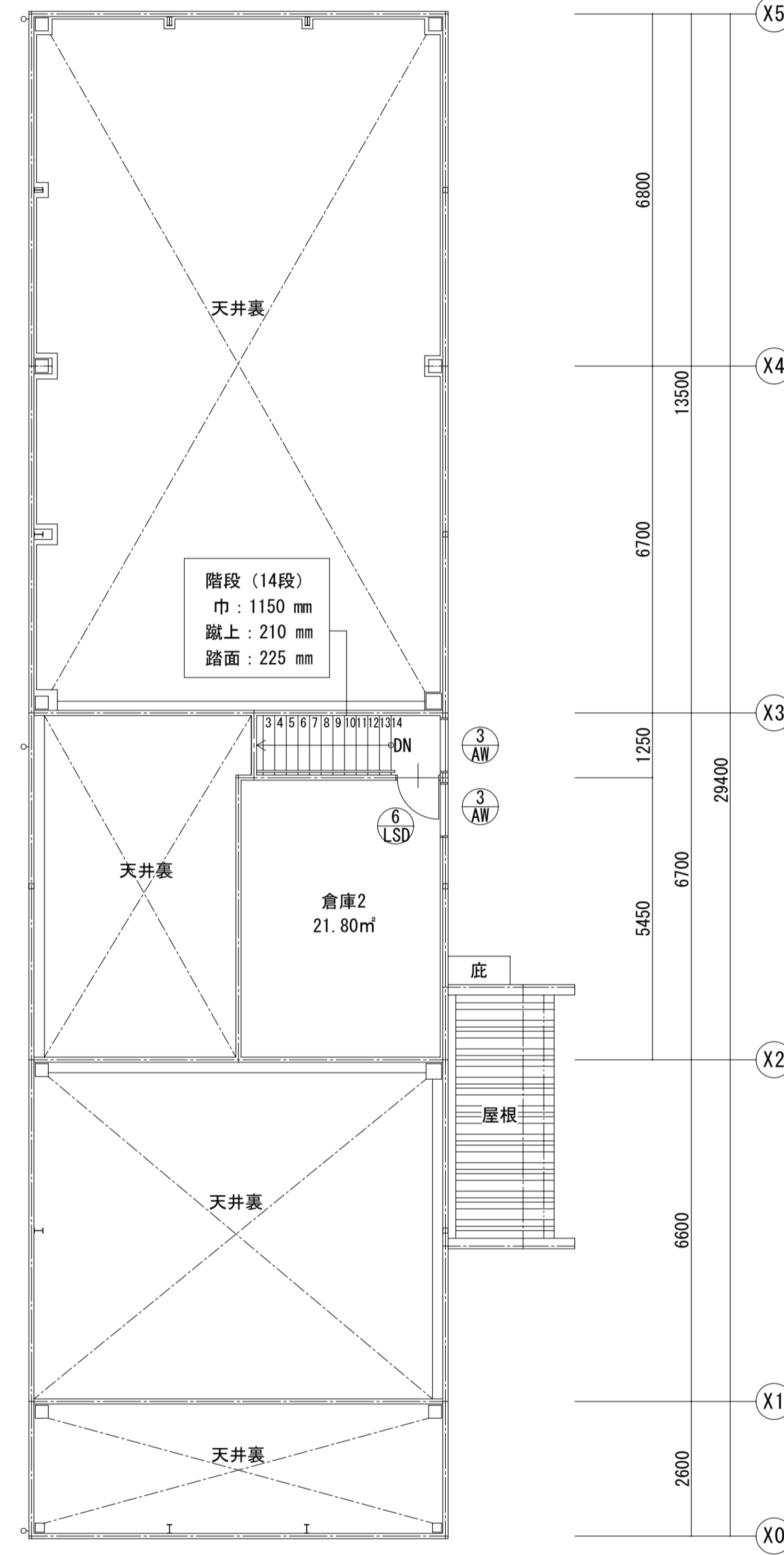
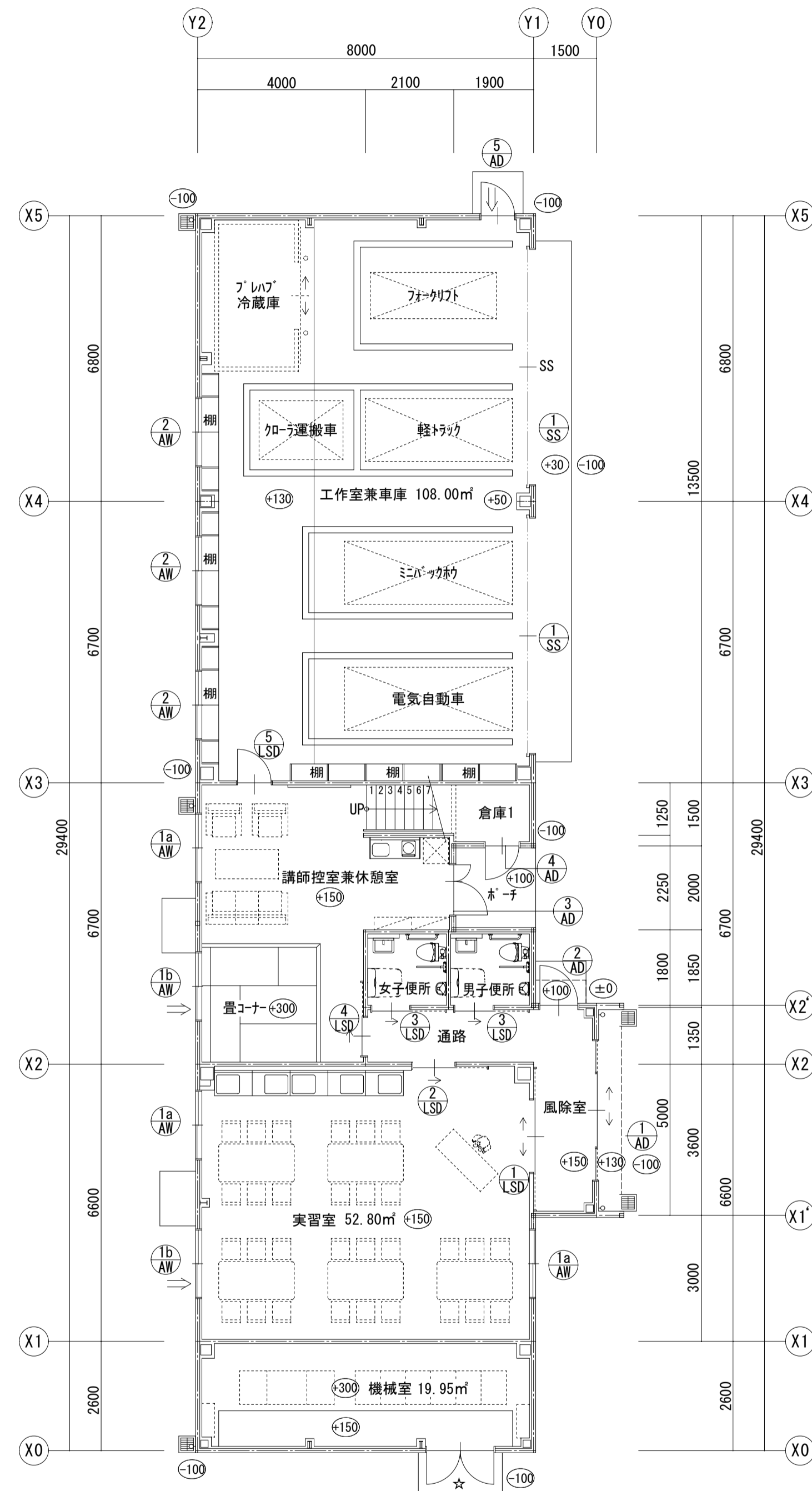
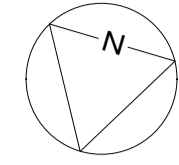


1階建具符号図

2階建具符号図

1	符号	取付箇所	風除室	1	符号	取付箇所	風除室	1	符号	取付箇所	講師控室兼休憩室				
2	形式	FIX付引き分れホトド7		2	片開きド7			2	親子開きフラットド7						
3	数量	1		3	1			3	1						
4	見込	70		4	70			4	70						
5	材料	7&シムバ(ツヤケ)		5	7&シムバ(ツヤケ)			5	7&シムバ(ツヤケ)						
6	硝子	FL5+A6+FL5 (飛散防止ガラス貼)		6	FL5+A6+FL5 (飛散防止ガラス貼)			6	F-6						
7	塗装	—		7	—			7	—						
8	附属金物	ハガネツカス ドアエンジン 検知器 4kg-ン錠 7&シムバ 戸当ゴム		8	SUSド番 レバーハンドル 7&シムバ ドアローザ 4kg-ン錠 戸当り			8	SUSド番 レバーハンドル 7&シムバ ドアローザ ガラス落し シリンダ錠 4kg-ン錠						
9	摘要			9				9							
1	符号	4 AD	取付箇所	倉庫1	1	符号	5 AD	取付箇所	工作室兼車庫	1	符号	1a AW	1b AW	取付箇所	実習室、講師控室兼休憩室
2	形式	片開きフラットド7		2	ガリ付片開きフラットド7			2	引違い窓						
3	数量	1		3	1			3	3	2					
4	見込	70		4	70			4	70						
5	材料	7&シムバ(ツヤケ)		5	7&シムバ(ツヤケ)			5	7&シムバ(ツヤケ)						
6	硝子	—		6	—			6	FL5+A6+FL5						
7	塗装	—		7	—			7	—						
8	附属金物	SUSド番 レバーハンドル 7&シムバ ドアローザ シリンダ錠		8	SUSド番 レバーハンドル 7&シムバ ドアローザ シリンダ錠 防虫網付固定ガラリ			8	クレセント 7&シムバ エアーブイ(AW-1bのみ) 塩ビメッシュ網戸 ソレノカ標準仕様ニ依ル						
9	摘要			9				9							
1	符号	2 AW	取付箇所	工作室兼車庫	1	符号	3 AW	取付箇所	階段、倉庫2	1	符号	1 SD	取付箇所	機械室	
2	形式	引違い窓		2	はめ殺し窓			2	両開きフラットド7 (常時閉鎖式防火戸)		2	防火設備			
3	数量	3		3	2			3	1						
4	見込	70		4	70			4	100						
5	材料	7&シムバ(ツヤケ)		5	7&シムバ(ツヤケ)			5	t1.6亜鉛メッキ鋼板						
6	硝子	FL5+A6+FL5		6	FL5+A6+FL5			6	—						
7	塗装	—		7	—			7	DP						
8	附属金物	クレセント 7&シムバ 塩ビメッシュ網戸 ソレノカ標準仕様ニ依ル		8	7&シムバ水切 ソレノカ標準仕様ニ依ル			8	SUSド番 ドアローザ(ストッパー無し) レバーハンドル 展開鎖位置調整器 ガラス落し 7&シムバ シリンダ錠 4kg-ン錠						
9	摘要			9				9							
1	符号	1 LSD	取付箇所	実習室	1	符号	2 LSD	取付箇所	実習室	1	符号	3 LSD	取付箇所	男子便所・女子便所	
2	形式	引き分れハガネド7 (戸袋無し)		2	片引きハガネ戸 (戸袋無し)			2	片引きハガネ戸 (戸袋無し)		2	2			
3	数量	1		3	1			3	1						
4	見込	枠:120 扉:40		4	枠:120 扉:40			4	枠:120 扉:40						
5	材料	t0.6表面処理亜鉛メッキ鋼板 (防錆塗装処理)枠:t1.6 扉:t0.6		5	t0.6表面処理亜鉛メッキ鋼板 (防錆塗装処理)枠:t1.6 扉:t0.6			5	t0.6表面処理亜鉛メッキ鋼板 (防錆塗装処理)枠:t1.6 扉:t0.6						
6	硝子	FL-5		6	FL-5			6	F-6						
7	塗装	SOP塗装		7	SOP塗装			7	SOP塗装						
8	附属金物	ハガネツカス ハガネレール(傾斜レール) SUS押棒 SUS音階 三方枠 戸当り 防虫網付固定ガラリ ソレノカ標準仕様ニ依ル		8	ハガネツカス ハガネレール(傾斜レール) SUS押棒 SUS音階 三方枠 戸当り シリンダ錠 防虫網付固定ガラリ ソレノカ標準仕様ニ依ル			8	ハガネツカス ハガネレール(傾斜レール) SUS押棒 SUS音階 鉛錠付 三方枠 戸当り 表示錠 防虫網付固定ガラリ ソレノカ標準仕様ニ依ル						
9	摘要			9				9							
1	符号	4 LSD	取付箇所	講師控室兼休憩室	1	符号	5 LSD	取付箇所	工作室兼車庫	1	符号	6 LSD	取付箇所	2階倉庫2	
2	形式	片引きハガネ戸 (戸袋無し)		2	片開きフラットド7			2	片開きフラットド7		2	片開きフラットド7			
3	数量	1		3	1			3	1		3	1			
4	見込	枠:120 扉:40		4	枠:120 扉:40			4	枠:120 扉:40		4	枠:120 扉:40			
5	材料	t0.6表面処理亜鉛メッキ鋼板 (防錆塗装処理)枠:t1.6 扉:t0.6		5	t0.6表面処理亜鉛メッキ鋼板 (防錆塗装処理)枠:t1.6 扉:t0.6			5	t0.6表面処理亜鉛メッキ鋼板 (防錆塗装処理)枠:t1.6 扉:t0.6		5	t0.6表面処理亜鉛メッキ鋼板 (防錆塗装処理)枠:t1.6 扉:t0.6			
6	硝子	F-6		6	—			6	—		6	—			
7	塗装	SOP塗装		7	SOP塗装			7	SOP塗装		7	SOP塗装			
8	附属金物	ハガネツカス ハガネレール(傾斜レール) SUS押棒 SUS音階 三方枠 戸当り 防虫網付固定ガラリ ソレノカ標準仕様ニ依ル		8	SUSド番 レバーハンドル ドアローザ シリンダ錠 SUS音階			8	SUSド番 レバーハンドル ドアローザ シリンダ錠 SUS音階		8	SUSド番 レバーハンドル ドアローザ シリンダ錠 SUS音階			
9	摘要			9				9			9				
1	符号	1 SS	取付箇所	工作室兼車庫	1	符号	2 SS	取付箇所	工作室兼車庫	1	符号	3 SS	取付箇所	工作室兼車庫	
2	形式	電動軽量シャッター		2	電動軽量シャッター			2	電動軽量シャッター		2	電動軽量シャッター			
3	数量	2		3	2			3	2		3	2			
4	見込	—		4	—			4	—		4	—			
5	材料	カラー鋼板 スリット1.0		5	カラー鋼板 スリット1.0			5	カラー鋼板 スリット1.0		5	カラー鋼板 スリット1.0			
6	硝子	—		6	—			6	—		6	—			
7	塗装	—		7	—			7	—		7	—			
8	附属金物	ステンレスドレール ステンレス座板 シャッターボックス、シリンダ錠 手動開閉フェン		8	ステンレスドレール ステンレス座板 シャッターボックス、シリンダ錠 手動開閉フェン			8	ステンレスドレール ステンレス座板 シャッターボックス、シリンダ錠 手動開閉フェン		8	ステンレスドレール ステンレス座板 シャッターボックス、シリンダ錠 手動開閉フェン			
9	摘要			9				9			9				

<p>階段詳細図 S=1/30</p>	<p>ラインウグ S=1/20</p>	<p>壁コーナ金物 S=1/10</p>	<p>ころぼし床下地 S=1/10</p>
<p>屋内階段 詳細図 1/10</p>	<p>風除室入口前床 S=1/20</p>	<p>車庫前床 S=1/20</p>	<p>排水樹 300x300 S=1/20</p>
<p>2階階段平詳細図</p> <p>1階階段平詳細図</p>	<p>風除室前U字溝 S=1/10</p>	<p>設備用コンクリート基礎 S=1/20</p>	



凡例

建築基準法上の建物主用途： 車庫、事務所	AW 建具符号	消防法有無判定
防火対象物の用途区分： 15項	← 給気口 (建具の換気框、ガリより給気)	1階床面積 238.60m ² 必要開口面積 238.60×1/30=7.95
耐火・準耐火の区分： その他建築物とする		AW-1a, b W0.75×H1.2×5カ所=4.50
階段は鉄骨造	☆ 常時閉鎖防火設備	AD-2 W0.8×H2.0=1.60
間仕切壁は全て軽鉄壁下地	流し台はIH、電気温水器を使用、火気使用なし	AD-3 W1.20×H2.0=2.40
		合計 8.50 > 7.95 有窓
		2階床面積 26.80m ² 必要開口面積 26.80×1/30=0.89
		AD-2 W1.0×H1.0×2=2.00
		合計 2.00 > 0.89 有窓

基準	設計	
L	5.40	17.28 AW-1 1.60×1.20×3+3
V	5.40	33.30 SS-1 5.55×3.00×2
S	2.16	6.52 SS-1 5.55×0.588×2

基準	設計	
L	1.58	11.52 AW-1 1.60×1.20×3+2
V	1.58	1.92 AW-1 1.6×1.2/2×2
S	0.63	0.80 AW-1 1.6×0.5/2×2

基準	設計	
L	2.64	17.28 AW-1 1.60×1.20×3+3
V	2.64	2.88 AW-1 1.6×1.2/2×3
S	1.05	1.20 AW-1 1.6×0.5/2×3

建築面積： 245.28 m²
 1階床面積： 238.89 m²
 2階床面積： 26.80 m²
 延べ面積： 265.69 m²